

98、MS-DOS汎用、Windows、IBM、DOS/V対応ソフトウェアを満載した第2弾

秀 作

フリーソフトウェア

ネットワーカマガジン編集部
月刊アスキー編集部 編

3.5

イン
チ
ューザ
ー版

本書に付属のフロッピーディスクは
3.5インチ11枚 (2HD: 1.2Mバイ
ト4枚、1.44Mバイト1枚、2DD:
720Kバイト6枚)の構成になってい
ます。なお、お持ちのパソコンでど
れだけのソフトウェアが利用できるか、
書籍本文の付属ディスクへの収録フ
ァイル一覧の対応機種欄をご覧にな
って確認したうえでご購入ください。

PART 2

PART1に未収録の定番109本を付属ディスクに一举収録!

選

アスキー出版局



9784756105417



1913055058003

ISBN4-7561-0541-6

C3055 P5800E

付属ディスクへの 収録フリーソフトウェア一覧

★この表での対応機種は、大雑把な分類になっています。細かい対応や、動作条件(OSのバージョンなど)については、各フリーソフトウェアのアーカイブに収録されているドキュメント(または本文中の「動作条件」の項目)をご覧ください。

★付属ディスクには、MS-DOSのシステムは含まれていませんので、別途必要になります。

【対応機種】98=PC-9801シリーズ、MS-DOS=MS-DOS汎用、IBM=IBM PC、IBM/AT=IBM PC/AT、DOS/V=DOS/Vマシン、Win=Windows、J31=J-3100

フリーソフトウェア名	対応機種	フリーソフトウェア名	対応機種
3DBENCH VGA	IBM(VGA)	LSI C-86 試食版	MS-DOS
30行計画	98	Magd	98
ADDRESS	98	MAGLV	IBM/AT
ANSI.SYS拡張パッチ	DOS/V	melt	98
apath	MS-DOS	MIEL/MIELFILE	98
AWC	Win	the Mirin's Filer (MF)	98
BANDIT LOGO	98	Multi file Dump Editor MDe	98
BDIFF/BUPDATE	MS-DOS	MV/CPY	MS-DOS
BigDesk/BackMenu	Win	NAKIMAS	98
bmlay	98	NECO	98、IBM
BPLAY	98	Ngraph	98
CALPET	98	ntf	MS-DOS
CALZ	MS-DOS	PRT++	98、J31、DOS/V、IBM
CardsI	98	Resident BGPAL	98
CGL	98	Rogue-clone II	MS-DOS
cgrep	MS-DOS	rpm	MS-DOS
CINIT	98、IBM	rRegular	MS-DOS
cw/rit	98	RSWAP	MS-DOS
CPUBENCH	98、IBM、FM-R	RZ3	98
CRT SHUTter	98	SCP	98
dc	MS-DOS	Scroller/nTaskMan	Win
dcal	98	sed	MS-DOS
DCP/DCPI	98	SELAS	98
ddplus	98	SeIDC	98
DispeIII	MS-DOS	setev	DOS/V
dr	MS-DOS	SIAM	98、IBM
DRVEXEC	98	sortf	MS-DOS
DSKBENCH	98、IBM、FM-R	Super Depth	98
DSORT	MS-DOS	TAKALITH	98 (Windows3.0)
dw	MS-DOS	TITLE	98
Edit Engine	98	TODAY	MS-DOS
EMSBENCH	98、IBM	TOGGLE	DOS/V
fcolor	98	TOUCH	MS-DOS
find	MS-DOS	UNEUNE	98
fspool	98	unrm	MS-DOS
fw	98	UnZip	MS-DOS
GAS	98	VIRUSCAN/CLEAN-UP/VSHIELD /R12	IBM/AT (一部98)
gdf	MS-DOS	VTP98	98
gg	MS-DOS	VTZ	98
GUARD	98、MS-DOS	WCD	MS-DOS
GV	Win	WindSock	Win
HELP	98	wlook	98
iosysP	98	wonderful backers/WBSS	98、MS-DOS
Japan2HD	IBM/AT	WORRRRRM	98
JBACK	DOS/V	XMZ	98
JCAL	MS-DOS	yar	MS-DOS
JLD	98	ZCOPY	MS-DOS
Jperl	MS-DOS	ZMAP	MS-DOS
kbdd/kbdddtsr	98	環境変数エディタ (EE)	98、MS-DOS
KEYSP	98	低レベルソフトウェア研究所作品集I	98
KmTerm	98	風流	98
ksb	MS-DOS	ぶろくでボン	98
less	MS-DOS	美佳のタイプトレナー	MS-DOS
LHA	MS-DOS	列車発車時刻案内板 II	Win
LHT	98	六角大王	98
ls	MS-DOS		

3.5インチユーザー版 定価5,800円 (本体5,631円)

98、MS-DOS汎用、Windows、IBM、DOS/V対応ソフトウェアを満載した第2弾

秀 作

フリーソフトウェア

ネットワーカマガジン編集部
月刊アスキー編集部 編

100
PART 2
選

アスキー出版局

秀 作

フリーソフトウェア

ネットワークマガジン編集部
月刊アスキー編集部 編

100
PART 2
選

アスキー出版局

秀作 データベース

読者増くしサービスのご案内

※ 読者増くしサービスは、

1001 PARTS

商標

- MS-DOS は米国 Microsoft 社の登録商標です。
- その他、本書中に登場するシステム名、製品名は、一般に開発メーカーの登録商標です。なお、本文中では TM および®マークは明記していません。

ソフトウェアの発展を願う

本書は、'92年9月に弊社から発行された「秀作フリーソフトウェア100選」の続編としてお届けするものです。前書は、石田晴久東京大学教授を委員長に大手パソコン通信サービスとパソコン通信関連雑誌編集部が協力して行なった第1回フリーソフトウェア大賞にノミネートされた100余本の優れたソフトウェアを収録させていただきました。

ユーザーが自ら作り、おもにパソコン通信を通じて配布されるフリーソフトウェアに、非常に魅力的なプログラムが多いことは、この本を手にとられている読者の方なら、すでによくご存じのことでしょう。作者とそれを使う人が、パソコン通信を利用して、直接接触しながら、市販のアプリケーションとはまた違ったソフトウェアの世界を作り上げていることは、まさに、パソコンならではの楽しさではないかと思います。

また、広くコンピュータソフトウェア全般に目を向ければ、MS-Windowsの普及など、ソフトウェアの世界にもボーダレス化の波が押し寄せてくるのは確実と思われます。こうした時代だからこそ、フリーソフトウェアの発展が必要なのではないでしょうか。ソフトウェアの自由な流通ほど、その技術水準の向上に効果的な環境はないからです。

今回、ネットワークマガジン編集部、ならびに月刊アスキー編集部のスタッフが、「秀作フリーソフトウェア100選」とは、また違った角度から優れたソフトウェアを選ばせていただきました。ソフトウェアという性格上、前書に収録されなかったものの中にも、それと同等あるいはそれ以上の素晴らしいソフトウェアが多数あります。

本書は、こうしたフリーソフトウェアを、電話とアクセス費用を、書籍パッケージとその流通という形に置き換えて、より多くのパソコンユーザーの元にお届けしようというものです。作者の方々を尊重し、フリーソフトウェアの発展に、微力ながら貢献したいと思います。

月刊アスキー編集部
ネットワークマガジン編集部
編集長 遠藤 諭

目次

ソフトウェアの発展を願う——ネットワークーマガジン/月刊アスキー編集長 遠藤 諭 3

付属ディスクの利用法 5

フリーソフトウェアたちは何をしてくれる? 19

フリーソフトウェアとシェアウェア 22

パソコン通信でのフリーソフトウェア獲得術 25

「秀作フリーソフトウェア100選 PART2」の付属ディスクに収録されている111本の紹介 30

- | | | |
|-------------------|-----------------------------|------------------------------------|
| ●3DBENCH MARK VGA | ●gg | ●Scroller/nTaskMan |
| ●30行計画 | ●GUARD | ●sed |
| ●ADDRESS | ●GV | ●SELAS |
| ●ANSI.SYS 拡張パッチ | ●HELP | ●SelDC |
| ●apath | ●iosysP | ●setev |
| ●AWC | ●Japan2HD | ●SIAM |
| ●BANDIT LOGO | ●JBACK | ●sortf |
| ●BDIFF/BUUPDATE | ●JCAL | ●Super Depth |
| ●BigDesk/BackMenu | ●JLD | ●TAKALITH |
| ●bmlay | ●Jperl | ●TITLE |
| ●BPLAY | ●kbdd/kbddtsr | ●TODAY |
| ●CALPET | ●KEYSP | ●TOGGLE |
| ●CALZ | ●KmTerm | ●TOUCH |
| ●Cardsl | ●ksb | ●UNEUNE |
| ●CGL | ●less | ●unrm |
| ●cgrep | ●LHA | ●UnZip |
| ●CINIT | ●LHT | ●VIRUSCAN/CLEAN-UP/
VSHIELD/R12 |
| ●cw/rit | ●ls | ●VTP98 |
| ●CPUBENCH | ●LSI C-86 試食版 | ●VTZ |
| ●CRT SHUTter | ●Magd | ●WCD |
| ●dc | ●MAGLV | ●WindSock |
| ●dcal | ●melt | ●wlook |
| ●DCP/DCPI | ●MIEL/MIELFILE | ●wonderful backers/WBSS |
| ●ddplus | ●the Mirin's Filer (MF) | ●WORRRRRM |
| ●Dispell | ●Multi file Dump Editor MDe | ●XMZ |
| ●dr | ●MV/CPY | ●yar |
| ●DRVEXEC | ●NAKIMAUS | ●ZCOPY |
| ●DSKBENCH | ●NECO | ●ZMAP |
| ●DSORT | ●Ngraph | ●環境変数エディタ (EE) |
| ●dw | ●ntf | ●低レベルソフトウェア研究所作品集 1 |
| ●Edit Engine | ●PRT++ | ●風流 |
| ●EMSBENCH | ●Resident BGPAL | ●ぶろっくでボン |
| ●fcolor | ●Rogue-clone II | ●美佳のタイプトレーナー |
| ●find | ●rpm | ●列車発車時刻案内板 II |
| ●fspool | ●rRegular | ●六角大王 |
| ●fw | ●RSWAP | |
| ●GAS | ●RZ3 | |
| ●gdf | ●SCP | |

■本書の付属ディスクを利用するには、MS-DOS やお使いになっているマシンに関する最低限の知識が必要です。初心者のかたは、必ず入門書を読んで、MS-DOS や自分の使っているマシンについての基礎知識を修得したうえで利用してください。

■本書の付属ディスクには MS-DOS のシステムは付属していませんので、別途必要になります。

■本書の付属ディスクを利用する前に、必ず「付属ディスクの利用法」と「フリーソフトウェアとシェアウェア」をお読みください。

■本書の内容に関するご質問は、小社第一雑誌編集部まで、封書にてお願いいたします。

電話によるお問い合わせは、お受けしていません。また、本書の範囲を超える質問にはお答えできない場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

付属ディスクの利用法

付属ディスクの構成について

本書は付属ディスクによって、5 インチユーザー版と 3.5 インチユーザー版の 2 種類があります。自分が利用しているマシンで使えるほうをお買い求めください。

本書に付属のディスクをご利用いただく前に、必ず、以下の説明をお読みください。なお、本書付属のディスクを利用するには、MS-DOS やお使いになっているマシンに関する最低限の知識が必要です。初心者の方は、必ず使用しているマシンに付属しているマニュアル、MS-DOS 付属のマニュアルや入門書を読み、お使いになっているマシンや MS-DOS についての基礎知識を修得したうえで、以下の説明をお読みください。

なお、以下の説明は、必ず順番に手順を実行するようにしてください。

付属ディスクの構成は、次のようになっています。

5 インチユーザー版(全部で 9 枚で、以下のような構成になっています)

ディスク No.	フォーマット	対応機種	PC-9801 での読み出し	IBM PC、DOS/V での読み出し
1~4	2HD* ¹	PC-9801 用	○	× (一部可) * ⁴
5	2HC* ²	IBM PC 用* ³	○	○
6~9	2HC* ²	両機種用	○	○

※表中の記号について：○はその機種で読み出し可能、× (一部可)はその機種では読み出し不可(一部の機種では可)

・ 1 容量 1.2M バイト。1 セクタの容量は 1024 バイトで、1 トラック 8 セクタ 154 トラック

・ 2 容量 1.2M バイト。1 セクタの容量は 512 バイトで、1 トラック 15 セクタ 160 トラック

・ 3 一部、PC-9801 でも使用できるプログラムも入っています

・ 4 一部の機種を除き IBM PC 互換機では読み出すことはできません

3.5 インチユーザー版(全部で 11 枚で、以下のような構成になっています)

ディスク No.	フォーマット	対応機種	PC-9801 での読み出し	IBM PC、DOS/V での読み出し
1~4	2HD* ¹	PC-9801 用	○	× (一部可) * ⁵
5	2HD* ²	IBM PC 用	× (一部可) * ⁴	○
6~11	2DD* ³	両機種用	○	○

※表中の記号について：○はその機種で読み出し可能、× (一部可)はその機種では読み出し不可(一部の機種では可)

・ 1 容量 1.2M バイト。1 セクタの容量は 1024 バイトで 1 トラック 8 セクタ 154 トラック

・ 2 容量 1.44M バイト。1 セクタの容量は 512 バイトで 1 トラック 18 セクタ 160 トラック

・ 3 容量 720K バイト。1 セクタ容量 512 バイトで 1 トラック 9 セクタ 160 トラック

・ 4 一部の機種を除き PC-9801 で読み出すことはできません

・ 5 一部の機種を除き IBM PC 互換機で読み出すことはできません

付属ディスクのバックアップ

まず MS-DOS やハードディスクに付属のメニューは終了させる

次の点を確認してから、作業にかかってください。

ここからの解説は、MS-DOS のコマンドレベルから実行することを前提に書かれています。そのため、MS-DOS に付属のメニューやハードディスクに付属のメニューをお使いの方は、それぞれのメニューを終了させて、画面に MS-DOS のプロンプト (A>) が出て

いる状態にしてから以下の手順を実行してください。MS-DOS のメニューを終了するには、画面にメニューが表示された状態で、f・9 キーまたは STOP キーを押します。

メニューを終了すると、画面にはプロンプト (A>) が表示され、その横でカーソルが点滅しているはずです。これが「MS-DOS が起動している」状態です。この状態は、「MS-DOS のコマンドレベル」と呼ばれます。

これから説明する FORMAT コマンドや DISKCOPY コマンドなどのすべてのコマンドは、本来はコマンドレベルから実行するためのものです。なお、ハードディスクに付属のメニューの終了方法は、各ハードディスクの取扱い説明書をご覧ください。

次にバックアップ先のディスクを用意して、それをフォーマットする

初めに、万が一の場合に備えて、本書付属のオリジナルディスク (以下、単に「付属ディスク」と呼びます) を DISKCOPY コマンドを使用して、バックアップしておきましょう。

そのためには、まずバックアップをとる先のディスクをフォーマットしておかなければなりません。この場合、バックアップをとる先のディスクを、あらかじめオリジナルディスクと同じフォーマットで初期化しておく必要があります (MS-DOS Ver.5.0 の場合を除く)。未使用の (あるいは内容を消去しても構わない) ディスクを用意して、フォーマットをしてください。

- ・5 インチユーザー版では、前ページの表にもある通り、1~4 の番号が付いているディスクは 2HD で、5~9 の番号が付いているディスクは 2HC でフォーマットされています。
- ・3.5 インチユーザー版では、1~5 の番号が付いているディスクは 2HD で、6~11 の番号が付いているディスクは 2DD でフォーマットされています。

まず、表 1 を見て、自分がバックアップをとりたい付属ディスクのフォーマットと入力コマンドを確認してください。その上で、未使用のディスクをバックアップをとりたい付属ディスクと同じフォーマットで初期化を済ませ、作業を進めるようにしてください。

付属ディスクのバックアップをとる

付属のオリジナルディスクを、DISKCOPY コマンドで他のディスクにまるごとコピーする、あるいは付属ディスクに収録されているファイルを COPY コマンドで他のドライブ (の任意のディレクトリ) にコピーするだけでバックアップすることが可能です。

ここでは、フロッピーディスク同士でまるごとコピーする場合について説明します。

B ドライブにオリジナルディスクを入れて、C ドライブにフォーマット済みのディスクを入れた場合には、以下のようにします (網がかかっている部分を入力してください。☞ はリターンキーの入力を表わします：以下同様)。

```
A> diskcopy b: c:☞
```

なお、ノート型パソコンなどフロッピーディスクドライブが 1 台しかない機種の場合には、フロッピーディスクにバックアップする前に、付属ディスクの内容をいったん RAM ドライブ (またはハードディスク) にコピーしておき、フロッピーディスクを入れ替えてコピーするようにしてください。

注意 RAM ドライブに大切なファイルがある場合には、必ずそのバックアップをとったうえで、作業を進めてください。

表1 付属ディスクのフォーマット形式と、バックアップ用未使用ディスクのフォーマット方法について

PC-9801 シリーズで 2HC や 2DD (9 セクタ) でフォーマットするためには下表に示したオプションを付加して FORMAT コマンドを起動してください。なお、入力コマンドは C ドライブのディスクをフォーマットする場合です。			
■ 5 インチユーザー版			
ディスク番号	内容	フォーマット種別	入力コマンド
1~4	PC-9801 用	2HD	format c:
5	DOS/V、IBM PC 用	2HC	format c:/5
6~9	PC-9801、DOS/V、IBM PC 共用 2HC	format c:/5	
■ 3.5 インチユーザー版			
ディスク番号	内容	フォーマット種別	入力コマンド
1~4	PC-9801 用	2HD (1.2M)	format c:
5	DOS/V、IBM PC 用	2HD (1.44M)	読み取り不可
6~11	PC-9801、DOS/V、IBM PC 共用	2DD (9 セクタ)	format c:/9

ハードディスクを利用して、そこにバックアップをとる場合には、ハードディスクに専用のディレクトリを作ったうえで、そこにオリジナルディスクの内容を COPY コマンドを使ってコピーしてください。

付属ディスクの内容

本書の付属ディスクには、表2のようなファイルが入っています。使用したいフリーソフトウェアが入っているディスク番号を確認したうえで、ご利用ください。

ディスクへのプログラムの収録方法について

通常、1つのフリーソフトウェアやシェアウェアは、コマンド本体のほか、マニュアル(ドキュメント)やデータファイルなどの、いくつかのファイルから構成されています。したがって、そのままでは(複数のファイルを送らなくてはならないので)パソコン通信等で配布するのに手間がかかりますし、必要なマニュアルやデータファイルが散逸してしまう恐れもあります。そこで、フリーソフトウェアの大部分は関連するすべてのファイルを「アーカイバ」と呼ばれるプログラムで1つのファイル「アーカイブ(書庫)ファイル」(または単に「アーカイブ」)にまとめたうえで配布する習慣になっています。

アーカイバにもいろいろな種類がありますが、現在日本国内では LHA というアーカイバが主流となっており、ほとんどのフリーソフトウェアやシェアウェアは、このアーカイバで1つのファイルにまとめて配布されます(LHA については p.49 に紹介があります)。LHA で作成されたアーカイブファイルは拡張子が「LZH」となっています。

また、アメリカでは PKware 社が開発したシェアウェアである PKzip がアーカイバの主流で、PKzip で作成されたアーカイブファイルは拡張子が「ZIP」となっています。

表2でお分かりのように、本書の付属ディスクに収録されているフリーソフトウェアやシェアウェアは、一部のファイルを除いて、大半は LHA または PKzip によるアーカイブファイルの形式になっています。このアーカイブされたままの形式ではそこに含まれているプログラムは実行できません。そこで、アーカイブファイルから、実行形式のプログラムやそのプログラムの操作方法などが書いてあるドキュメントを取り出さなければなりません。この作業を「展開」と言います。このためには、前述の LHA と UnZip の実行形式のプログラムが必要です。

表2 付属ディスクへの収録ソフトウェア一覧

ソフトウェア名称	アーカイブファイル名	収録ディスクNo.		対応機種およびファイル内容
		5	3.5	
3DBENCH MARK VGA	3dbench.lzh	5	5	IBM PC(VGA)
30 行計画	30lineのディレクトリ中を参照	1	1	PC-9801
ADDRESS	adres380.lzh	1	1	PC-9801
ANSI.SYS 拡張パッチ	ansix.lzh	5	5	DOS/V
apath	apath005.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
AWC	awc201ex.lzh	8	9	Windows 3.0
BANDIT LOGO	logo200.lzh	1	1	PC-9801 (VM以降、LT/HA、ハイレン機を除く)
	blman200.lzh	1	1	マニュアル
BDIFF/BUPDATE	bdiffasc.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
BigDesk/BackMenu	desk24.zip	9	10	Windows (3.0 以上)
bmlay	bmlay092.lzh	1	1	PC-9801 (16 色表示可能機種)
BPLAY	bplay2a.lzh	1	1	PC-9801
CALPET	calp140a.lzh	1	1	PC-9801 (CPU80286 以上、MS-DOS Ver.3.3x-5.0)
CALZ	calz231.lzh	6	6	MS-DOS (Ver.3.x 以上が望ましい)
	calz226m.lzh	6	6	マニュアル
Cards!	cards140.lzh	1	1	PC-9801 (VM以降)
CGL	cgl022.lzh	1	1	PC-9801
cgrep	cgrep301.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
CINIT	cinit106.lzh	6	6	PC-9801、IBM PC
cw/rlt	cw140p1.lzh	1	1	PC-9801
CPUBENCH	cpubench.lzh	6	6	PC-9801、IBM PC、FM-R
CRT SHUTter	crtsh23.lzh	1	1	PC-9801
dc	dc012.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
dcal	dcal_100.lzh	1	1	PC-9801
DCP/DCPI	dcp324c.lzh	1	1	PC-9801
ddplus	ddpls120.lzh	1	1	PC-9801 (MS-DOS Ver.3.x 以上)
Dispell!	dspl113.exe	6	6	MS-DOS 汎用
dr	dr152.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
DRVEXEC	dx0247e.lzh	1	1	PC-9801
DSKBENCH	dskbench.lzh	6	6	PC-9801、IBM PC、FM-R
DSORT	dsort102.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
dw	dw102.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
Edit Engine	ee062.lzh	1	1	PC-9801
EMSBENCH	emsb250.lzh	6	6	PC-9801、IBM PC
fcolor	fcol19.lzh	1	1	PC-9801
find	find311.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
fspool	fspool04.lzh	1	1	PC-9801
fw	fw006.lzh	1	1	PC-9801
GAS	gas151.lzh	2	2	PC-9801 (CPU80286 以上、ノーマルモードのみ)
gdf	gdf181.lzh	6	6	MS-DOS 汎用
gg	gg.lzh	6	7	MS-DOS 汎用
GUARD	guard21c.lzh	6	6	PC-9801、MS-DOS
GV	gv059c.lzh	8	9	Windows
HELP	help120.lzh	2	2	PC-9801
iosysP	iosysp15.lzh	1	1	PC-9801
Japan2HD	japan2hd.lzh	5	5	IBM PC/AT およびその互換機
JBACK	jback15a.lzh	5	5	DOS/V
JCAL	jcal273.lzh	6	7	MS-DOS 汎用
JLD	jld008n.lzh	2	2	PC-9801

ソフトウェア名称	アーカイブファイル名	収録ディスクNo.		対応機種およびファイル内容
		5	3.5	
jperl	jperl13.lzh	6	7	MS-DOS 汎用
kbbd/kbdtstr	kbbd.lzh	2	2	PC-9801
	kbdtstr.lzh	2	2	TSR 集
KEYSP	keysp052.lzh	2	2	PC-9801 (VM 以降)
KmTerm	kt137.lzh	2	2	PC-9801
ksb	ksb010b.lzh	6	7	MS-DOS 汎用
less	less123.lzh	7	7	MS-DOS 汎用
LHA	lha255.exe	6	6	MS-DOS 汎用
LHT	lht314a.lzh	2	2	PC-9801 (MS-DOS Ver.3.1 以上、ハイレゾ可)
ls	kmls.lzh	6	7	MS-DOS 汎用
LSI C-86 試食版	lsic330.lzh	7	4,5	MS-DOS 汎用
Magd	magd124c.lzh	2	2	PC-9801
MAGLV	maglv112.lzh	5	5	IBM PC/AT およびその互換機
melt	melt21a.lzh	1	1	PC-9801 (VM 以降)
MIEL/MIELFILE	miel247.lzh	2	2	PC-9801
	mielf114.lzh	2	2	MIEL 用 MIELFILE
the Mirin's Filer (MF)	mf253.lzh	2	2	PC-9801 (ハイレゾ可)
Multi file Dump Editor MDe	mdev509n.lzh	2	2	PC-9801
MV/CPY	mvcpy.lzh	6	7	MS-DOS 汎用
NAKIMAU	nm100a.lzh	2	2	PC-9801 (要バスマウス)
NECO	neco242.lzh	2	2	PC-9801 (MS-DOS Ver.3.1 以上)
	necop242.lzh	5	5	IBM PC (IBM 英語 DOS Ver.3.x 以上)
Ngraph	nggrp531.lzh	3	3	PC-9801 (MS-DOS Ver.3.1 以上)
	addin531.lzh	3	3	ngraph 用アドイン集
	gra2p532.lzh	3	3	ngraph 用プリンタドライバ集
ntf	ntf21fix.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
PRT++	prt546p.lzh	3	3	PC-9801
	prt546j.lzh	3	3	J-3100
	prt546v.lzh	5	5	DOS/V
	prt546e.lzh	5	5	IBM PC および互換機
	prt546m.lzh	6	7	マニュアル
Resident BGPAL	rbgpal.lzh	2	2	PC-9801 (16 色表示可能機種、ハイレゾ可)
Rogue-clone II	jrog13ae.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
	jrog13as.lzh	7	8	ソースファイル
rpm	rpm132.lzh	6	7	MS-DOS (Ver.3.1 以上)
rRegular	rreg110.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
RSWAP	rswap119.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
RZ3	rz304.lzh	2	2	PC-9801 (VM 以降)
SCP	scpl20.lzh	1	1	PC-9801 (VM 以降)
Scroller/nTaskMan	scr1021.lzh	8	10	Windows
sed	sedexe.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
SELAS	selas140.lzh	2	2	PC-9801
SeIDC	seldc382.lzh	2	2	PC-9801 (ハイレゾ機を除く)
setev	setev43.lzh	5	5	DOS/V
SIAM	siamset1.lzh	8	8	PC-9801、IBM PC および互換機
	siam14.lzh	8	8	PC-9801、IBM PC および互換機
sortf	sortf07a.lzh	8	9	MS-DOS 汎用
Super Depth	depth100.lzh	3	3	PC-9801 (VM 以降、16 色表示可能機種、MS-DOS Ver.3.3 以上)
TAKALITH	taka400.lzh	3	3	PC-9801 (VM 以降)

ソフトウェア名称	アーカイブファイル名	収録ディスクNo		対応機種およびファイル内容
		5	3.5	
TAKALITH	wakataka.lzh	8	9	Windows 3.0 以上
TITLE	title50.lzh	3	3	PC-9801 (16 色表示可能機種)
	title50g.lzh	3	3	TITLE 用グラフィックデータ
	titlepi.lzh	3	3	TITLE 用グラフィックデータ
TODAY	today29a.lzh	8	9	MS-DOS (Ver.3.1 以降)
TOGGLE	toggle.lzh	5	5	DOS/V
TOUCH	touch101.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
UNEUNE	une20.lzh	2	2	PC-9801
unrm	unrm132.lzh	7	9	MS-DOS 汎用
UnZip	unz50p1.exe	6	6	MS-DOS 汎用
VIRUSCAN/CLEAN-UP/VSHIELD /R12	scanv100.zip	5	4,5	IBM PC/AT および互換機、一部 PC-9801
	clean100.zip	5	4,5	IBM PC/AT および互換機、一部 PC-9801
	vshld100.zip	5	5	IBM PC/AT および互換機、一部 PC-9801
	easymanu.lzh	5	4,11	マニュアル
	r12.lzh	4	4	IBM PC/AT および互換機、一部 PC-9801
VTP98	vtp98553.com	3	3	PC-9801
VTZ	vtz105b.lzh	2	2	PC-9801
WCD	wcd200e.lzh	7	7	MS-DOS 汎用
WindSock	wsk310.zip	9	10	Windows 3.0 以上
wlook	wlook113.lzh	3	3	PC-9801 (VM 以降、16 色表示可能機種)
wonderful backers/WBSS	wb114nw.lzh	7	9	PC-9801、MS-DOS (ANSI エスケープシーケンスが使用可能な機種)
	wbss100.lzh	7	9	PC-9801、MS-DOS (ANSI エスケープシーケンスが使用可能な機種)
WORRRRRM	worrrrrm.lzh	3	3	PC-9801
XMZ	xmz102.lzh	3	3	PC-9801 (ハイレゾ可)
yar	yar_v10.lzh	8	9	MS-DOS 汎用
ZCOPY	zcopy.lzh	7	7	MS-DOS 汎用
ZMAP	zmap104.lzh	7	8	MS-DOS 汎用
環境変数エディタ (EE)	ee112.lzh	8	8	PC-9801、MS-DOS 汎用
低レベルソフトウェア研究所作品集 1	n_work1.lzh	4	4	PC-9801
風流	furyu.lzh	3	3	PC-9801
ぶろっくでボン	brpn100.lzh	4	4	PC-9801
	kon-kon.lzh	4	4	面データ
	enperor_.lzh	4	4	面データ
	suizoku.lzh	4	4	面データ
	pon_dat2.lzh	4	4	面データ
	pon_dat3.lzh	4	4	面データ
美佳のタイプトレーナー	mikatype.lzh	8	9	MS-DOS 汎用
列車発車時刻案内板 II	wtrn309.exe	8	10	Windows (Ver.3.0)
六角大王	roku24.lzh	4	4	PC-9801
画像サンプルデータ	allofme.lzh	9	11	MAG サンプルデータ
	msblady.lzh	9	11	MAG サンプルデータ
	jazzsax.lzh	9	11	MAG サンプルデータ
	jazpiano.lzh	9	11	MAG サンプルデータ
	工房少女.lzh	9	11	MAG サンプルデータ

ファイル名と拡張子について

MS-DOS のファイルには、それぞれファイル名が付けられています。名前を付けることによってそれぞれのファイルを区別しています。MS-DOS のファイル名は次のような形になっています。

LHA255.EXE

↑ ↑
ファイル名 ファイル拡張子

ファイル名は、最高8文字までの「ファイル名」と3文字ま

での「ファイル拡張子」からできています。拡張子はなくてもかまいませんが、拡張子を付ける際にはファイル名と拡張子の間にピリオド(.)を入れなくてはなりません。ここでのファイル名は狭義のもので、通常は、ファイル名は拡張子までを含めたファイルの名前を指しています。

なお、(2 バイト文字の時を除いて)MS-DOS は大文字と小文字の区別をしていません。また、同じディレクトリに同じファイル名を持つファイルを作ることはできません。

収録ソフトウェアの展開方法

ここ以降の説明には、次のドライブ構成のマシンを例に説明しています。

A ドライブ=ハードディスク B,C ドライブ=フロッピーディスク

使用している機種のドライブ構成がこれとは違っている場合には、自分の環境にあわせてドライブ名を読みかえて作業をするようにしてください。

専用のディレクトリを作ってそこでアーカイブを展開する

本書の付属ディスクに収録されているフリーソフトウェア、シェアウェアは、アーカイブファイルの拡張子が LZH のときは LHA コマンドで、拡張子が ZIP となっている場合には UnZip コマンドを使って展開します。ソフトによっては、アーカイブファイルを展開すると 10 以上のファイルができる場合もありますので、展開するソフト用のディレクトリを作成して、展開したファイルをそこに入れることにしておくと、ファイルの整理が楽になりますので、この方法をとったほうがいいでしょう。特に、本書に付属のディスクの場合、収録ソフトウェアの数が多いので、そのソフトウェアの説明が書かれたドキュメントファイルに同じ名前のものがある可能性が高いため(実際、ソフトウェアの本体のファイル名は違うのにドキュメントファイルには README.DOC、READ.ME などという同一名のものがいくつかあります)、そのソフトウェア専用のディレクトリを作ってから作業を進めるようにすることをおすすめします。

なお、本書の付属ディスクには、拡張子 LZH のファイルが入っているディスクにはすべて LHA コマンドの実行形式のファイルが入っています。また、拡張子が ZIP というファイルが入っているディスクについても UnZip コマンドの実行形式のファイルが入っていますので、LHA と UnZip のアーカイブを展開しなくても、そのまま他の展開したいソフトウェアのアーカイブを展開できます。

LHA による展開方法

LHA コマンドでのアーカイブファイルの展開は、次の書式で行ないます。

lha x アーカイブファイル名 (展開先) 

ディレクトリの作り方

ディスク上に新たにディレクトリを作るには、MS-DOS が起動している状態でコマンドレベルから (A> のプロンプトが出ている画面で)、以下のように入力してください(ここでの例は、ABC というディレクトリを作るものです)。

```
md abc
```

これで、ABC というディレクトリが新たに作られました。DIR コマンドで確認してみると ABC というディレクトリが新たにできているのが分かります。

このディレクトリで作業をしたいときには、次のように入力してください。

```
cd abc
```

これで、そのディレクトリへ移動できました。現在自分がどのディレクトリにいるかを知りたい時は、以下のように入力してください。

```
cd
```

このように入力すると現在 A ドライブの ABC にいるなら、以下のようなメッセージが出て、自分が現在いるディレクトリが分かります。

```
a:\abc
```

ここで、展開先は、ドライブ名やディレクトリ名が指定できますが、ディレクトリ名の最後に必ず “¥” を付けておかなければなりません。展開先の指定を省略すると、カレントディレクトリ (現在作業をしているディレクトリ) が展開先になります。なお、アーカイブファイル名の拡張子 LZH は省略可能です。

ここでは、付属ディスクの 1 番に入っている FW006.LZH (このアーカイブに関しては 5 インチユーザー版も 3.5 インチユーザー版も同じ番号のディスクに収録) を以下の条件で展開する例を紹介します。

●ここでの手順と条件

A ドライブのハードディスクから MS-DOS を起動
B ドライブ (フロッピーディスクドライブ) に 1 番のディスクをバックアップしたディスクを入れる
B ドライブにカレントディレクトリを変更
B ドライブから A ドライブの FW というディレクトリに FW006.LZH を展開

以上の条件で展開するには、以下の手順をとります。

- ① A ドライブ (ハードディスク) から MS-DOS を起動
- ② B ドライブ (フロッピーディスクドライブ) に 1 番のディスクをバックアップしたディスクを入れる
- ③ B ドライブにカレントディレクトリを変更

```
A> b:
```

- ④ B ドライブから A ドライブの FW というディレクトリに FW006.LZH を展開
次のように入力してください (カレントドライブを B ドライブに変更したので、プロンプトが「A>」から「B>」に変化している点に注目してください)。

```
B> lha x fw006.lzh a:\fw¥
```

これで、A ドライブのディレクトリ FW には次のファイルが得られます。

FW	COM	2727	89-07-14	11:46
FW	DOC	6667	89-07-14	11:51

なお、一部のソフト（拡張子が“COM”や“EXE”になっているもの）はLHAコマンド（またはLHarc）の自己展開型のアーカイブファイルになっています（この展開方法については、詳しくは後述）。

UnZipによる展開方法

UnZip コマンドでのアーカイブファイルの展開は、次の書式で行ないます。

unzip アーカイブファイル名

UnZip コマンドは、展開先を指定することができず、カレントディレクトリが展開先となりますので、十分に空き容量のあるディレクトリにコピーしてから作業を行なうようにしてください。なお、アーカイブファイルの拡張子 ZIP は省略可能です。

ここでは、付属ディスクの5番に入っている SCANV100.LZH（このアーカイブに関しては5インチユーザー版も3.5インチユーザー版も同じ番号のディスクに収録）を以下の条件で展開する例を紹介します。

●ここでの手順と条件

AドライブのハードディスクからMS-DOSを起動
 AドライブにSCANV100.ZIPを展開する専用ディレクトリSCANVを作る
 Bドライブ（フロッピーディスクドライブ）に5番のディスクをバックアップしたディスクを入れる
 Bドライブにカレントディレクトリを変更
 BドライブからUnZipのプログラムとSCANV100.ZIPをAドライブのSCANVディレクトリにコピーする
 AドライブのSCANVディレクトリにカレントディレクトリを変更する
 AドライブのSCANVディレクトリにSCANV100.ZIPを展開

以上の条件で展開するには、以下の手順をとります。

- ① AドライブのハードディスクからMS-DOSを起動
- ② AドライブにSCANV100.ZIPを展開する専用ディレクトリSCANVを作る
 以下のコマンドを入力してください。

アーカイブファイルの展開は、容量の余裕があるディスク上で

LHA や UnZip の展開は付属ディスク上で、

B>lha x fw006.lzh (付属ディスクがBドライブにある場合)

B>unzip scanv100.zip (付属ディスクがBドライブにある場合)

と入力したのでは、ディスクが書き込み禁止の状態になっているため、LHA コマンドや UnZip コマンドでアーカイブファイルを展開することができません。また、たとえ書き込み禁止を解除しても、ディスクの空き容量が足りないために、エラーメッセージが出て正常に解凍することができません。

また、付属ディスクを DISKCOPY したディスク上で実行した場合にも同様にディスクの空き容量が足りないためにエラーメッセージが出てしまいます。必ず、付属ディスクやそれを DISKCOPY したディスク以外の、十分に容量のあるディスクで作業を行なうようにしてください。また、ファイルの展開先をカレントディレクトリ以外にする場合には、展開先のディスクは必ず空き容量が充分にあるディスクにしてください。

なお、自己展開型のアーカイブファイルの展開 (p.15 を参照) も、同様に充分容量のあるディスクで作業を行なうようにしてください。

A> md scanv

- ③ B ドライブ (フロッピーディスクドライブ) に 5 番のディスクをバックアップしたディスクを入れる
- ④ B ドライブにカレントディレクトリを変更

A> b:

- ⑤ B ドライブから UnZip のプログラム (UNZIP.EXE) と SCANV100.ZIP を、さきほど作った A ドライブの SCANV ディレクトリにコピー (カレントドライブを B ドライブに変更したので、プロンプトが「A>」から「B>」に変化している点に注目してください)。

B> copy unzip.exe a:%scanv

B> copy scanv100.zip a:%scanv

- ⑥ A ドライブの SCANV ディレクトリにカレントディレクトリを変更 (カレントドライブを A ドライブに変更したので、プロンプトが「B>」から「A>」に変化している点に注目してください)。

B> a:

A> cd scanv

- ⑦ A ドライブの SCANV ディレクトリで SCANV100.ZIP を展開

A> unzip scanv100.zip

以上の手順で、ディレクトリ SCANV には右ページに示すファイルが得られます。

なお、一部のソフト (拡張子が "EXE" になっているもの) は LHA コマンドと同じく自己展開型のアーカイブファイルになっています (この展開方法については、詳しくは次項で説明します)。

AGENTS	TXT	37079	93-01-18	17:19
COMPUSER	NOT	6338	92-10-16	9:14
LANGUAGE	DOC	489	93-01-19	15:25
LICENSE	DOC	22349	92-11-16	2:54
REGISTER	DOC	10118	92-11-17	15:40
README	1ST	5012	92-11-15	20:54
FRENCH	MSG	15682	93-01-18	19:05
SPANISH	MSG	15734	93-01-18	20:23
SCAN	EXE	108399	93-01-19	15:17
SCAN100	DOC	55576	93-01-19	15:21
VALIDATE	COM	12197	92-03-24	14:20
VALIDATE	DOC	2415	92-11-15	14:58
VIRLIST	TXT	71886	93-01-18	17:28

自己展開ファイルの展開方法

本書の付属ディスクには、自己展開型のアーカイブファイルがいくつか含まれています。

具体的には、DISPELL! (DSPL113.EXE)、LHA (LHA255.EXE)、UnZip (UNZ50P1.EXE)、VTP98 (VTP98553.COM)、列車発車時刻案内板II (WTRN309.EXE) がそれにあたります。このうち UnZip は PKzip による自己展開型アーカイブですが、それ以外は LHA による自己展開型アーカイブです。

ここでは、それらの自己展開型アーカイブの展開方法について、LHA と UnZip を例に解説します。他の自己展開型アーカイブの展開方法もこれらに準じます。

LHA の自己展開の具体例

LHA コマンド自体も LHA 形式のアーカイブファイルとして付属ディスクに収録されていますが、LHA のアーカイブファイルは自己展開型となっていますので、LHA コマンドを持っていなくても容易に LHA コマンドをアーカイブファイルから取り出すことができます。LHA のアーカイブファイルは 5 インチユーザー版では 7 番のディスクに、3.5 インチユーザー版では 6 番のディスクに入っています。

ここでは、LHA255.EXE の自己展開の例を、2 種類紹介します。

① LHA255.EXE を他のディスクにコピーし、そこで展開する

A ドライブのハードディスクから MS-DOS を起動し、B ドライブに LHA255.EXE の入ったディスクを入れ、C ドライブに作業用のディスク (充分に容量が残ったフォーマット済みのもの) を入れ、以下のように入力します。

```
B> copy lha255.exe c:¥
```

これで、C ドライブに LHA255.EXE がコピーされました。

ここで、次のように入力して C ドライブに移動します。

```
B> c:
```


続いて、以下のように入力します (カレントドライブを C ドライブに変更したので、プロンプト が「B>」から「C>」に変化している点に注目してください)。

C> lha255

すると、図 1 のメッセージが出ますので、Y のキーを入力します。これで、LHA が C ドライブのフロッピーディスクに展開されます。

② LHA255.EXE を他のディスクに展開する

LHA255.EXE は、展開先のディレクトリ名を引数で与えることにより、ファイルを希望したディレクトリに展開することができます。

ここでは、A ドライブのハードディスクから MS-DOS を起動し、B ドライブに LHA255.EXE の入ったディスクを入れ、C ドライブに作業用のディスク (充分に容量が残ったフォーマット済みのもの) にし、そこに展開する例を紹介します。

まず、次のように入力して B ドライブに移動し

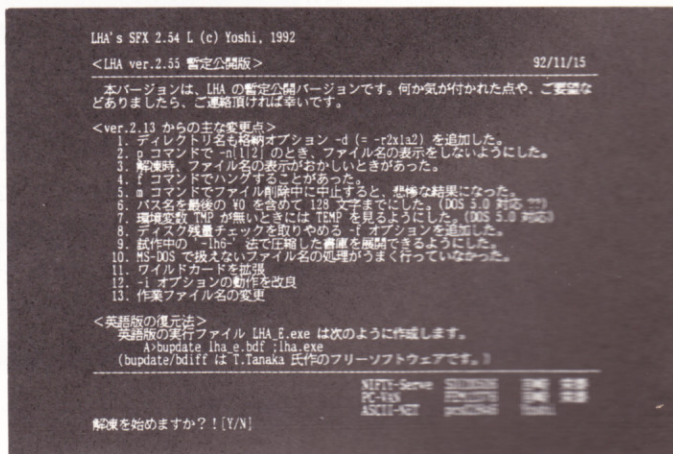
A> b:

以下のように入力します。

B> lha255 c:

すると、図 1 のメッセージが出ますので、Y のキーを入力します。これで、LHA が C ドライブのフロッピーディスクに展開されます。

図 1 LHA255.EXE の自動展開時のメッセージ



①と②の手順で、以下のファイルが入手できます (DIR コマンドで確認してみてください)。

LHA	EXE	36796	92-11-15	2:55
LHA	DOC	29951	92-11-15	2:55
HISTORY	DOC	8118	92-11-15	2:55
READ	ME	3491	92-11-15	2:55
LHA_E	BDF	9244	92-11-15	2:55

LHA.EXE が LHA のコマンド本体であり、LHA.DOC はマニュアルです。LHA.EXE をパスが設定されているディレクトリに入れておくことにより、以後、LHA コマンドを利用できるようになります (パスの設定については、MS-DOS に付属のマニュアルか MS-DOS の入門書をご覧ください)。なお、ドキュメントファイルは、使い方が分からなくなったときにいつでも読むことができるように、適当なディレクトリやディスクなどに保存しておきましょう。

UnZip の自己展開の具体例

UnZip コマンドも、LHA と同様に自己展開型のファイル (UNZ50P1.EXE) が付属ディスクに (5 インチユーザー版では 8 番、3.5 インチユーザー版では 6 番) に収録されています。これも LHA と同様に、UnZip コマンドを持っていなくても容易に UnZip コマンドをアーカイブファイルから取り出すことができます。ただし、UnZip コマンドは、展開先を指定することができず、カレントディレクトリが展開先となりますので、以下の方法に準じた方法で自己展開をしてください。

① UNZ50P1.EXE を他のディスクにコピーして展開する

A ドライブのハードディスクから MS-DOS を起動し、B ドライブに UNZ50P1.EXE の入ったディスクを入れ、C ドライブに作業用のディスク (充分に容量が残ったフォーマット済みのもの) を入れ、以下のように入力します。

```
B> copy unz50p1.exe c:¥
```

これで、C ドライブに UNZ50P1.EXE がコピーされました。

そこで、次のように入力して C ドライブに移動し

```
B> c:
```

以下のように入力します。

```
C> unz50p1
```

これで、UnZip が展開されます。

すると、展開作業が始まり C ドライブのフロッピーディスクに次のファイルが展開されます。

COPYING		5002	92-04-22	8:02
UNZIP	DOC	9737	92-08-22	12:49
UNZIP	EXE	30581	93-01-17	21:47
WHERE		6829	93-01-18	11:06

UNZIP.EXE が UnZip のコマンド本体で、UNZIP.DOC はマニュアルです。UNZIP.EXE をパスが設定されているディレクトリに入れておくことにより、以後、UNZIP コマンドを利用できるようになります(パスの設定については、MS-DOS に付属のマニュアルか MS-DOS の入門書をご覧ください)。なお、ドキュメントファイルは、使い方が分からなくなったときにいつでも読むことができるように、適当なディレクトリやディスクなどに保存しておきましょう。

フリーソフトウェアたちは何をしてくれる？

プログラムの分類

本書の付属ディスクに収録したプログラムには、いったいどんな働きがあるのでしょうか。

それらは、便宜的に次のような種類に分けることができるかもしれません。

コマンド(実行可能なプログラム)

アプリケーション

ツール(ユーティリティ)

常駐コマンド(TSR)

デバイスドライバ

さて、以下にこれらのプログラムの使い方の一例を、ごく簡単に触れておきます。

詳しくは、各々のプログラムのアーカイブファイルに含まれている、そのソフトウェアの説明が書かれたドキュメントファイル(拡張子が“DOC”となっているファイルや READ.ME といった名前のファイル)をよく読んでから利用するようにしてください。自分のマシンあるいは環境で使えるかどうか、これらのファイルをよく読んでから判断してください(フリーソフトウェアやシェアウェアの作者はすべての機種を持っていて開発しているわけではないので、対応機種に関しては完全ということは難しい点を、あらかじめご了承ください)。

コマンド(実行可能なプログラム)

APATH.EXE のように拡張子が“COM”または“EXE”となっているファイルは、実行可能なプログラム(コマンド)です。したがって、このファイルをパスの設定してあるディレクトリに置いておけば、以後、そのコマンドを自由に実行することができるようになります。

アプリケーションとツールについてはお馴染みでしょう。ここでは、実行可能なプログラムのうちでも少々馴染みのない「常駐コマンド(TSR)」について、簡単に例をあげて説明しましょう。

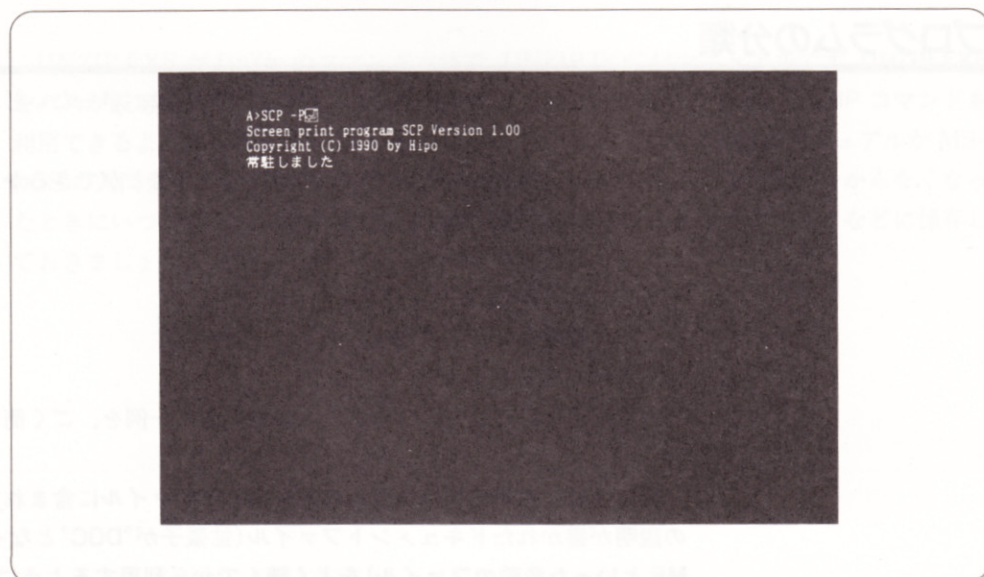
◆常駐コマンド(TSR)

「常駐コマンド」は、他のコマンドと同様にコマンドラインから実行するものですが、一般のコマンドプログラムが終了の時にメモリから消去されるのに対して、常駐コマンドは常駐を解除しない限りメモリに残って動作を続けています。

たとえば、本書の付属ディスクには SCP というプログラムが収録されています。このプログラムは PC-9801 用の画面イメージをプリントするためのプログラムです。プリンタを接続してある PC-9801 を起動し、MS-DOS のプロンプトが出ている状態で、この SCP を

組み込んでみましょう。組み込むには図2のように、このプログラムを実行すればよいのです。

図2 SCP を実行したところ(プリンタを PC-PR 系に指定)



このようにして SCP が PC-9801 のシステムに常駐すると、どういうことが起きるのでしょうか。SHIFT キーと COPY キーを押してみてください。モード選択画面が表示されますので、カーソルキーを動かして各モードの設定を行ないます。[Enter]を押すことにより、現在表示されている画面の印字を始めます ([Enter]はリターンキーの入力。以下同)。

実は、SCP が常駐することにより、現在表示されている画面を印字できる状態になっているのです (場合や条件によっては画面どおりに印字されないこともあります……)。

このように、システムに常駐して、他のプログラムの実行中も含めて常時一定の働きをしてくれるのが、常駐コマンドの特徴です。

常駐コマンドの多くは、常駐を解除することが可能となっています。SCP の場合には

```
A>scp /r [Enter]
```

のように/rを引数として入力することにより常駐を解除することができます。

なお、常駐コマンドを複数常駐させたときは、常駐と反対の順番で解除する必要があります。たとえば、A、B、C という順番で常駐させたら、C、B、A という順番で解除しなければいけません。

デバイスドライバ

「デバイスドライバ」も、常駐コマンドと同様にシステムに常駐することにより一定の働きをするプログラムです。常駐コマンドとの違いは、常駐コマンドがコマンドラインからは実行できない点です。デバイスドライバはコマンドラインから実行することができず、デバイスドライバを利用するためには起動ドライブのルートディレクトリにある CON-

FIG.SYS 中に、次のようにデバイスドライバ名を記述しておく必要があります。

device=[デバイスドライバのあるパスをフルパスで]デバイスドライバのファイル名

このような“device=”という形で、起動ドライブのルートディレクトリにある CONFIG.SYS に記述することにより、次回以降の起動時にメモリに組み込まれることになります。

なお、ドライブ名を省略した場合は、MS-DOS を起動したドライブを、パス名を省略した場合はルートディレクトリを指定したことになります。

また、キャラクタ型のデバイスドライバであれば、ADDDRV コマンドで組み込んだり、DELDRV コマンドで取り外したりすることができます。ADDDRV/DELDRV コマンドは NEC 製の MS-DOS Ver.3.1 など、一部の MS-DOS に含まれています。ADDDRV/DELDRV コマンドの使い方などの詳しいことについては MS-DOS のユーザーズマニュアルをお読みください。

たとえば、起動ドライブのルートディレクトリにある XMZ.SYS (付属ディスク No.3 <5 インチチューザー版、3.5 インチチューザー版ともに> に収録されています) を利用するためには、CONFIG.SYS に次の行を追加しておく必要があります。

device=XMZ.SYS

これで、次回以降の起動時に XMZ.SYS がメモリに組み込まれるようになります。

フリーソフトウェアとシェアウェア

「フリー」と「シェア」—どこが違うか？

本書の付属ディスクに収められているソフトウェアは「フリーソフトウェア」と「シェアウェア」と呼ばれているものです。これらはショップなどで売られている「MS-DOS」、「MS-Windows」、「一太郎」や「Lotus1-2-3」などの一般のパッケージソフトウェアとは違っています。「パッケージソフトウェア」はショップなどで購入する商品で、自分で買わないでコピーして使用することは著作権法違反となります。

一方、「フリーソフトウェア」と「シェアウェア」はパソコン通信などに「アップロード」（通信回線などを通じて登録すること）されているプログラムで、ドキュメントで制限されている場合もありますが、多くの場合には再配布が可能となっています。また、作者（権利保有者）の了承のもとに書籍・雑誌・ディスクや製品などについていることがあり、それらを通じて入手することも可能です。このうち、「フリーソフトウェア」は配布・流通・個人的な使用が自由なものです。これに対して、シェアウェアは有償のソフトウェアです。フリーソフトウェアと同様にパソコン通信や書籍などで入手することも可能で、試しに使用することは自由にできますが、継続して使用する場合にはドキュメントに示されている所定の金額などを送付しなければなりません。シェアウェアを継続して使用する場合には、必ずソフトウェアの作者（権利保有者）に所定の使用料金を支払ってください。

マナーを守ろう

フリーソフトウェアやシェアウェアを使用するとき、商品であるパッケージソフトとは違うマナーが存在します。シェアウェアを使用するのには、まず、ドキュメントに記されている使用料を支払う必要があります。

①マニュアル（アーカイブファイル内にあるドキュメントファイル）はしっかりと読みましょう。きちんとマニュアルを読まずに作者に質問や苦情の電子メールを送り付けるユーザーが増えているそうです。質問をする側は気軽ですが、作者にしてみれば些細な質問が山と押し寄せて迷惑となります。フリーソフトウェアやシェアウェアは、あくまでも使用者自身で責任の取れる範囲で使用するよう心がけてください。また、マニュアルに使用条件などが記されていることもあります。これも守る必要があります。

②勝手に改竄は加えないでください。シェアウェアやフリーソフトウェアも著作権は適用されています。勝手にプログラムや付属するドキュメントファイルなどに手を加えて再配布することは許されないことです（作者の了承を得て、改良されたものもありますが）。知人などに渡すときには、配布されたアーカイブファイルのまま再配布するのが原則です。もちろん、作者（権利保有者）の許諾なく営利行為をすることは許されません。

フリーソフトウェアとパソコン通信

本書の付属ディスクに収録されているフリーソフトウェアやシェアウェアに限らず、大

半のフリーソフトウェアやシェアウェアはパソコン通信を土壌として育ってきました。パソコン通信は公衆電話回線を介してパソコンやワープロを他のパソコンや大型コンピュータとつないでメッセージやデータなどのやりとりをするものです。

多くのフリーソフトウェアやシェアウェアがNIFTY-Serve、CompuServe、PC-VANやアスキーネットなどのBBSホスト(パソコン通信のホストシステム)にアップロード(登録)され、多くのユーザーに使われ、バグ出だしや改良の提案などが行なわれて、優れたソフトウェアに育っていきました。現在では、NIFTY-ServeのFLABOやアスキーネットのsalon.pool、testlabなどの、フリーソフトウェアの作成・評価を目的としたSIG(集まり)もあります。また、NIFTY-ServeのFGALSW1、FGALSW2、FGALSVのようなシェアウェアのサポートを目的としたSIGもあります。中にはユーザーサポートのために独自のBBSホストを開設した作者もいます。

フリーソフトウェアやシェアウェアを使用するなら、パソコン通信をするに限るでしょう。常に最新バージョンのフリーソフトウェアやシェアウェアが入手できるばかりでなく(フリーソフトウェアやシェアウェアは頻繁にバージョンアップするものが多いです)、自分の意見などを電子メールを送ることやボードに書き込むことで直接(もしくは間接的に)作者に伝えることが可能となります。

シェアウェアを継続使用する際の登録と送金について

本書の付属ディスク中のBigDesk/BackMenu、PRT++、VIRUSCAN/CLEAN-UP/VSHIELD/R12は、特に「シェアウェア」と呼ばれるものです。前述したように、シェアウェアはパソコン通信上で流通している点や、多くの場合には再配布が可能である点ではフリーソフトウェアと同様です。しかし、継続して使用する際には、無料というわけにはいきません。作者にドネーション(Donation: 寄付金)またはレジストレーションフィー(Registration fee: 登録金)を払うようにしてください。

とはいえ、大抵のものは継続使用をする場合にのみ、それらを支払えばいいという条件が付いています。つまり、一定期間(ソフトウェアによって期間はさまざまですが)試用してみたが、その先継続して使用しないということなら、ファイルを削除するなり的手段をとれば、お金を支払う必要はない、とドキュメントに明記してあるものもあります。

以上の支払いをして正規のユーザーになることで、サポート(印刷した詳しいマニュアルを送ってくれるようなケースもある)やバージョンアップのサービスが受けられるといったメリットがありますので、継続使用する場合にはその意味でも必ず登録および送金をするようにしてください。

ちなみに、本書の定価にはこの代金(ドネーションおよびレジストレーションフィー)は含まれていません。登録および送金をする場合には、アーカイブに含まれているその旨のドキュメントを読んで、指定された口座などに送金をしていただくことになります。また、株式会社アスキーで、それらの作業を代行することは一切いたしませんので、ご了承ください。

さて、送金の方法ですが、国内と海外とでは、以下の違いがあります。

●国内のシェアウェアの場合

国内シェアウェアの場合には、銀行または郵便局から、作者の指定口座に振り込みます。これ以外にも現金書留を使う手段もありますし、クレジットカードをお持ちなら、NIFTY-Serve など (NIFTY-Serve ではオンラインの状態で GO SWSOKIN と入力するとシェアウェアの送金代行に入ります) で送金のサービスをしてもらうことも可能です。

ただし、作者によってここにあげた方法のどれかを指定している場合もありますので、必ずアーカイブに同梱のドキュメントファイルで確認したうえで、指示に従って送金するようにしてください。

●海外のシェアウェアの場合

では、海外シェアウェアの場合の送金方法はどうなるのでしょうか。

ほとんどのシェアウェアでは、送金方法が書かれたドキュメントの中に、送金のためのフォームが用意されていますので、それに必要事項を記入し、そのまま電子メール (Compu-Serve など) を送るか印字したものをエアメール (航空便) で郵送することになります。

この際、支払いはクレジットカードによる引き落とし、または海外送金の形をとることになります。クレジットカードの場合、VISA、MASTER、AMERICAN EXPRESS などの、海外でも通用する国際カードでなら、作者にそのカード名と番号をフォームに記入して知らせることで引き落とししてもらうことが可能です (カードの種類によって制限を受けることもありますので、カード会社に確認してからのほうがいいでしょう)。

カードが使えない場合には、銀行あるいは郵便局から海外送金をしなければなりません。この場合、電信、普通、送金小切手による送金方法があります。詳細は、銀行、郵便局の窓口で問い合わせれば教えてもらえますので、送金をする際に、問い合わせしてみてください。

この場合にも、作者によって、ここにあげた方法のどれかを指定している場合がありますので、必ずアーカイブに同梱のドキュメントファイルで確認したうえで、指示に従って送金するようにしてください。

なお、送金方法がはっきりしない場合には、作者に問い合わせたうえで、その指定方法で送金するようにしてください。もちろん英語での手紙になりますが、海外製のシェアウェアを使おうというわけですから、これくらいの手間は惜しまないで頑張ってください。

パソコン通信でのフリーソフトウェア獲得術

最新のフリーソフトウェアを使いたいならパソコン通信です

前章で説明したように、本書の付属ディスクに収録されているフリーソフトウェアは、もともとパソコン通信上で配布されているものです。

もちろん、パソコン通信に限らずとも、友達からディスクをもらう、回覧の形で郵送する、などの手段で手に入れることができます。また、最近ではパソコン雑誌の付録ディスクにフリーソフトウェアが入ってくることも多くなりました。

それでも、フリーソフトウェアを手に入れるには、やはりパソコン通信を使うのがもっとも有利な方法です。そして、パソコン通信での配布には、フリーソフトウェアを作る側のメリットも大きいのです。

作者にもよりますが、一般にフリーソフトウェアのバージョンアップは、市販ソフトのそれと比べて早いといえます。これは、パソコン通信という双方向メディアと密接に関係しています。つまり、ソフトの作者とユーザーの間の距離が市販ソフトよりもずっと小さいのです。

ユーザーはプログラムの不具合(バグ)を見つけたり、プログラムについての要望などがあれば、電子メールを使って作者に知らせることができます。手紙より速く、電話より確実に情報が伝えられます。

バグを取り除くことができたり、新しい機能が付いたりしてソフトがバージョンアップしたら、作者はパソコン通信のフリーソフトウェアの登録場所(ライブラリ)にそれを登録(アップロード)するだけです。各ユーザーがそれを自分のパソコンに引き出します(ダウンロード)。

前のバージョンを回収したり、ユーザー1人1人に新しいバージョンを送らなくてもよいのです。このことが、パソコン通信上でのフリーソフトウェアのバージョンアップが盛んな理由です。

市販ソフトはもちろんのこと、同じフリーソフトウェアでも、ディスクで配布するときにはとてもこうはいきません。ある程度大きなバージョンアップが行なわれた段階ごとに配布するしかないでしょう。

つまり、フリーソフトウェアの最新バージョンを使いたいなら、パソコン通信で手に入れるしかないのです。

本書で紹介したもの以外にも、優れたフリーソフトウェアは数多く存在します。それらのソフトをいち早く使いたいなら、すぐにでもパソコン通信を始めることをお勧めします。

パソコン通信に必要な機器

パソコン通信を始めるにあたって必要な機器の中で、いちばん値段の高いのは

パソコン本体

ですが、本書を買った人ならすでに持っているはずです。

次に必要なのは

電話回線

です。プッシュ回線でもダイヤル回線でもよいのですが、電話機と電話線の接続が、簡単に着脱可能な「モジュージャック」という方式になっていなければなりません。違う場合はNTTに頼んで工事してもらいましょう。

本格的にパソコン通信をしている人は、最終的にはもう1本パソコン通信専用の回線を引いてしまうようですが、最初からそうする必要はないでしょう。

さて、パソコンと電話回線をつなぐのが「モデム」という機器です。これは、パソコンの通信ポート(RS-232C)を介して接続します。

現在では通信速度が2400bps、MNP4(または5)サポートのモデムが一般的です(写真1)。ほとんどのパソコン通信サービスに接続することができますし、値段も4万円程度と手頃なので、最初を買うならこのクラスのモデムにしましょう。

また、かなり高価になりますが、より高速な通信(9600~19200bps程度)を行なうことができるモデムもあります(写真2)。ただし、接続先のパソコン通信サービスがそのモデムに対応している必要があります。

写真1

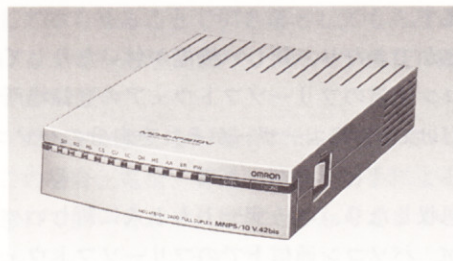


写真2



パソコン通信に必要なソフト

パソコン通信に必要なソフトは、まず

通信ソフト

です。これは、パソコン通信に必要なほとんどの処理をしてくれるソフトです(通信ソフトも他のジャンルのソフトと同様、市販品もあれば、本書の付属ディスクに収録されているKmTermのような優秀なフリーソフトウェアもあります。

フリーソフトウェアをダウンロードするには、このほかに

ish コマンド

各種プロトコル対応プログラム

が必要です。

通常、パソコン通信で読み書きしている電子メールなどのデータはテキストデータで、実行ファイルなどのバイナリデータはそのままでは扱えません。ところが、フリーソフトウェアとして配布される実行ファイル(拡張子“EXE”や“COM”のファイル)やアーカイブファイル(複数のファイルがまとめられたもの。拡張子“LZH”など)は、バイナリデータからなるバイナリファイルなのです。

バイナリファイルをパソコン通信でやりとりするためには、2つの方法があります。

1つは、バイナリファイルをいったんテキストファイルに変換してしまう方法です。テキストファイルならば、ほとんどのパソコン通信サービスで受け渡しが可能です。テキストファイルを受け取ったら、元のバイナリファイルに変換してやればよいのです。このテキスト-バイナリの変換に使われるのが *ish* というフリーソフトウェアです。

もう1つは、パソコン通信サービスが特別にバイナリファイルを受け渡しする手段を用意する方法です。これが XMODEM、YMODEM など「プロトコル」と呼ばれるものです。

プロトコルを使ってファイルの受け渡しをするときには、それぞれのプロトコルに対応したソフトが必要となります。XMODEM というプロトコルならば、わざわざ専用のソフトを用意しなくても、たいていの通信ソフトに初めから備わっています。ただし、このプロトコルは効率が悪いので、最近では他のもっと効率的なプロトコルが普及しつつあります。大手のパソコン通信サービスでは、Quick-VAN、B Plus、ZMODEM、Kermit などの高機能なプロトコルをサポートしており、それぞれのプロトコルに対応したフリーソフトウェアも用意されています。

パソコン通信サービスにもいろいろある

パソコン通信サービス(主なサービスである電子掲示板の略称から「BBS」とも呼ばれる)といっても、10万人規模の会員を抱え、一度に何百人もアクセスできる大手のBBSから、個人が趣味で運営する1回線のBBSまで、その形態はさまざまです。

(1) 個人運営のBBS

このタイプのBBSは、小規模なサークルや人情味豊かな小さな町のイメージに近いものがあります。会員同士のコミュニケーションを大切にしているところが多いので、単にフリーソフトウェアを手に入れるためだけに入るのは問題です。

また、自分の使っているフリーソフトウェアの作者がそのBBSの会員でないときには(小さなBBSならたいていそのはずですが)、転載という形で配布されてくるのを待つしかありません。

しかし、個人のボランティアで運営されているようなものなので、入会金や使用料は無料のことが多く、有料だとしてもわずかな金額です。コミュニケーションも楽しみたい人なら、1つくらいは自分の故郷のようなBBSを持つとよいでしょう。

(2) 大手のBBS

ビジネスライクに欲しいものだけを手に入れるのだという人は、大手のBBSに加入すべきです。大手のBBSはいわば都会ですから、こちらから積極的にアプローチしなければ誰もあなたのことを気にしません。

フリーソフトウェアの作者も、大手のBBSのどれかに入っていることが多いので、作者が直接アップロードしたフリーソフトウェアを手に入れることができます。作者がそのBBSにいなくとも、複数のBBSの会員であるユーザーが転載してくれることが多いので

す。

一方、入会金や使用料はもちろん有料です。特に使用料が時間に比例して加算される BBS では、いい気になってフリーソフトウェアをダウンロードしていると、電話料金と BBS 使用料の請求金額に泣くはめになるので注意してください。

フリーソフトウェアはどこで手に入る?

それでは、大手のパソコン通信サービスで、MS-DOS マシンの情報やフリーソフトウェアが集まっている場所を紹介しましょう。

● NIFTY-Serve

MS-DOS マシン用のフリーソフトウェアは「ソフトウェアギャラリー」(FGAL)に蓄積されています。PC-9801 シリーズ向けのソフトは「NEC-PC フォーラム」(FNEC)に、また、ノート F/A など PC-286/386 シリーズ向けのソフトは「エプソンユーザーズフォーラム」(FEPSON)に、IBM PC および互換機向けや J-3100 用のフリーソフトウェアは「IBM Professionals Forum」(FIBMPRO)に集められています。フリーソフトウェアに関する疑問点などがあれば、これらのフォーラムで尋ねてみるとよいでしょう。

● PC-VAN

「NEC98 by チアリ」(NEC98)や「パソコンクラブ」(SPASOCOM)などの SIG で、活発な書き込みやアップロードが行なわれています。登録されているソフトウェアの数を合計すると膨大なものになりますが、検索機能が弱いのが難点です。

● 日経 MIX

フリーソフトウェアは、listings や long2 に多数アップロードされています。マシン別や分野別、ベンダー別の会議が充実しており、ノート型に限らず、パソコン関連の情報に強い BBS です。

● アスキーネット

フリーソフトウェアは pool というメニューに集中的に登録・管理されています。pool は目的とするフリーソフトウェアの検索や、まとめたダウンロードが容易にできるよう工夫されています。MS-DOS マシン用ソフトや PC-9801 および互換機用ソフトは pool.msos、IBM PC および互換機、そして J-3100 や DOS/V 用ソフトは pool.ibm に登録されています。

MS-DOS マシンや各機種に関する情報は comp.msos、comp.pc98、comp.ibm、comp.j3100 などに取り交わされています。

各ネットワークの問い合わせ先の電話番号は次のとおりです。

NIFTY-Serve	03-5471-5806
PC-VAN	03-3454-6909
日経 MIX	03-5696-1111
アスキーネット	03-3486-9661

ソフトウェア解説編

本章では、本書の付属ディスクに収録してあるフリーソフトウェア&シェアウェア——111本について解説してあります（111本中「秀作フリーソフトウェア100選」と重複するものが2本<LHAとBDIFF/BUUPDATE>ありますが、この2本はフリーソフトウェアを使う上で必須の基本ソフトですので、今回のPART2にも収録してあります）。

ここでの解説は、そのソフトウェアの内容をできるだけ簡潔にまとめてありますので、あくまでもそのソフトウェアがどのようなものであるかを判断するための参考にしてください。自分の使いたいソフトウェアのアーカイブを展開した段階で、そこに含まれている作者が書いたドキュメント（README.DOCあるいは拡張子がDOCになっていることが多い）を必ず読んだうえで利用してください。

なお、各ソフトウェアの名称、作者名表記、登録先、収録バージョンにつきましては、作者の方に確認をとったうえでのものであります。

付属ディスクに収録されている111本の紹介

「内容」「バージョン」「登録先」について

本章では、本書で紹介および付属ディスクに収録させていただいた 112 本の作者名、内容、登録先等を紹介します（「登録先」は、1993 年 3 月時点でのものです）。

「内容」の部分は、基本的にそのソフトウェアの概要です。

しかし、ここでの紹介文だけでは、そのフリーソフトウェアを使いこなすことはできません。詳しい使用方法については、各アーカイブに含まれている（あるいは別のアーカイブにある）、そのソフトウェアについての説明が書かれたドキュメントファイル（拡張子「DOC」を持ったファイルや READ.ME といった名前のファイル）をよく読んでから利用するようにしてください（アーカイブを展開したうえで、MS-DOS のタイプコマンドあるいはエディタソフトやワープロソフト等で直接見る、あるいはそのファイルをワープロ等で印刷して読んでください）。

ドキュメントファイルが本体のアーカイブと別のアーカイブになっている場合については、p. 8～p.10にある「付属ディスクへの収録フリーソフトウェア一覧」の表の「対応機種およびファイル内容」の欄をご覧ください。

各ソフトウェアの「バージョン」については、本書の付属ディスクに収録した時点のバージョンになっています。

ものによっては、本書に収録するために作者の方に作っていただいた特別のバージョンのものもありますので、登録先にそのバージョンが登録されていない（あるいは登録されない）場合もあります。

「動作条件」は各アーカイブ内のドキュメントで確認

「動作条件」の項目は、あくまでも目安であり、完全には紹介できていないケースもあります。自分のマシンあるいは動作環境で使えるかどうかは、各アーカイブに含まれている（あるいは別のアーカイブにある）、そのソフトウェアについての説明が書かれたドキュメントファイルをよく読んでから利用するようにしてください。

なお、フリーソフトウェアの作者はすべての機種を持って開発しているわけではないので、対応機種に関しては、完全ということが難しいことは、あらかじめご了承ください。

次ページに凡例を示しますので、それに従ってお読みください。

収録ディスク番号を示すマークの見方

上半分は、以下に示す対応機種種の略号です。

98 = PC-9801 シリーズ、MS-DOS = MS-DOS 汎用(一部制限のあるものもあるので、詳しくは動作条件および、各ソフトウェアのアーカイブに含まれているドキュメントファイルを参照してください)、IBM = IBM PC、DOS/V = DOS/V 対応、Windows = MS-Windows 対応、Manual = ソフトウェア本体のアーカイブとドキュメントファイルのアーカイブが別になっている場合

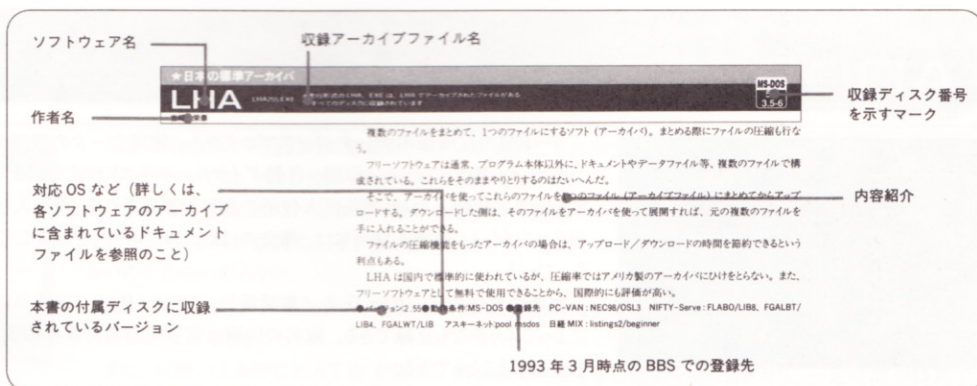


下の部分は、上が5インチユーザー版の何番のディスクに入っているかと3.5インチユーザー版の何番のディスクに入っているかを示します。

つまり、①の例では、PC-9801 シリーズ対応のソフトウェアのアーカイブが、5インチユーザー版では1番のディスクに、3.5インチユーザー版では2番のディスクに入っていることを示します。

なお、これらのマークが②-Aの例のように & でつながれている場合には、一本のプログラムでその両機種に対応していることを表わします(この場合、下半分の収録ディスク番号は5インチユーザー版、3.5インチユーザー版ともに同一です)。

次に、& でつながれていない場合には、別々のプログラムが対応機種ごとに必要になります。②-Bの例では、PC-9801用のソフトウェアのアーカイブが、5インチユーザー版では1番のディスクに、3.5インチユーザー版では2番のディスクに、IBM用のソフトウェアのアーカイブが5インチユーザー版では3番のディスクに、3.5インチユーザー版では4番のディスクに入っていることを表わしています。どのソフトウェアがどのように対応しているかは、p.8～p.10の「付属ディスクへの収録フリーソフトウェア」の「対応機種およびファイル内容」の欄をご覧ください。



★3次元アニメーション表示でマシンのスピードを計測

3D BENCHMARK VGA

3DBENCH.LZH

IBM
5-5
3.5-5

Dimension International



「HAL」という文字やパソコン本体を3次元のアニメーションで表示することによって、マシンのスピードを計ろうとするベンチマークプログラム。

アニメーションはいつまでもループしているが、ひと通りのアクションを終えると、1秒間に何フレーム(何コマ)表示できたかを示す数字が画面右下に表示される。これがこのベンチマークテストの結果であり、主にCPU、キャッシュメモリ、バス、VGA表示の速度や性能が反映されている。特にVGAカードのメモリのアクセス速度で結果が大きく左右されるので、Windowsを使うよりも、ゲームを楽しむ場合の目安として考えるべきだろう。

見ただけでマシンのスピードがわかるというだけあって、秋葉原などのDOS/Vパソコンを扱ったショップでは、マシンのデモ用にこのプログラムを走らせていることが多い。また、パソコン雑誌の記事でもベンチマークテストによく使われている。

ベンチマークテストという実利を離れて、ほーっと見ているだけでいつまでも飽きないのも、3DBENCHの魅力だ。

●バージョン:1.0C ●動作条件:IBM PCおよびその互換機(VGA表示可能機) ●登録先 NIFTY-Serve:FDEVICE/LIB4

★98の画面を30行に拡張

30行計画

各アーカイブファイルはディレクトリ「30LINE」にまとめて収録されています

Hironon、紳ちゃん、masakun、Tobimoi、ARGON、Pururun、Sam、rk、cancer、anti-top

98
5-1
3.5-1

PC-9801のいわゆるノーマルモードでは1画面に25行の文字を表示するが、これを30行表示にする環境を構築しようというのが「30行計画」。

実際には、CRT BIOSを制御して画面分割を再設定し、GDCの再設定により画面表示用ワークエリアを広くして縦方向の表示領域を拡大する。この際、増加分のデータが画面からはみ出ることのないようにCRTの同期信号の周波数を変えるため、CRTによっては垂直同期が乱れて画面が流れたりすることがある。中核となるプログラムは「EE115.LZH」にアーカイブされている「EE.COM」と「EXTS.EXE」であるが、この他にもグラフィック画面を640×480ドットで利用したり、ファンクションキー表示を30行表示で利用するなどのプログラムが同梱されている。ただし、これらのプログラムで30行表示の環境を実現した場合、MS-DOSのdirコマンドで30行にわたるディレクトリ表示などが可能になるが、一般のアプリケーションがそのまま実行できるわけではない。この環境に対応できるようなバッチあてが個々のアプリケーションに必要であり、そのためのいくつかのソフトに対応するプログラムも収録されている。

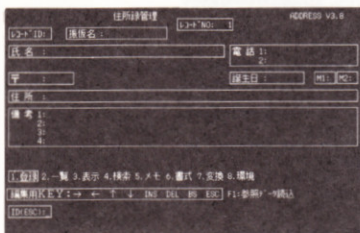
●バージョン:●動作条件:PC-9801●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB8 *30行計画の各ファイルは、No.1(5インチ、3.5インチ共)のディスクのディレクトリ「30LINE」に収録されています。個々のファイルの紹介等は30行計画.DOCにあります。

★カード型住所録データベース

ADDRESS

ADRES380.LZH

石川 英明

98
5-1
3.5-1

カード型の住所録用データベースプログラム。住所データの登録/修正の他に、データ検索、データの個別/一覧での表示/印刷、自動ダイヤル、テキスト形式でのデータ交換などの機能を有する。起動すると、まず初期入力として差出人住所の登録が要求される。差出人住所を一度登録すると初期画面は表示されなくなる。差出人住所には、邦文のほかにエアメールを想定して英文での住所登録も行なえるようになっている。

住所の登録では、ID/氏名/電話番号(2件)/住所/誕生日/備考が登録でき、さらに環境設定によってふりがなも登録できる。宛名の印刷は葉書や封筒に直接印刷可能、またラベル印刷時はフォームを変更することもできる。

なお、プリンタへ出力する場合には事前にプリンタドライバを登録しておくこと。

さらに、ヘイズ互換モデム(ATコマンドが使えるモデム)を使用して、登録した電話番号宛に自動ダイヤルを行なうことも可能。

また、メモ機能を使用すれば電話中にメモを取ることもできる。

●バージョン:3.80 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAP/LIB4 コンピュータネットワーク:茶房テクニカ

★ DOS/V 用 ANSI エスケープシーケンス機能拡張パッチ

ANSI.SYS 拡張パッチ

ANSIX.LZH

DOS/V
5-5
3.5-5

しのはらたし

IBM DOS J5.0/V 付属の ANSI.SYS に、ANSI エスケープシーケンスの機能を追加するパッチ情報。対象とする ANSI.SYS は、タイムスタンプが

ANSI.SYS 9308 91-10-25 5:00

のもので、付属の ANSL.BDF と ANSI.SYS をカレントディレクトリに置き、bupdate を実行してパッチを施す。このパッチを施すことによって、(1) n 行の挿入と削除、(2) 日本語モードにおけるシステムライン(最下行)の ON/OFF 切り替え、(3) 99 桁を超えるテキスト解像度への対応、(4) V-Text 用ビデオモード 70h/71h への対応、(5) 行頭で BS を入力したとき直前の行の最終桁に移動 (/PC98 のオプション指定時) の機能が追加される。

vi や demacs (スクリーンエディタ) や less (ファイルビューア) などは、termcap というファイルからエスケープシーケンスを情報を読みだして画面の制御を行なうが、このパッチを当てた ANSI.SYS を使うことで、より効率の良い画面の制御ができるようになる。本パッケージにも 2 種類の termcap が付属してくる。

●バージョン: 第2版 ●動作条件: DOS/V ●登録先 アスキーネット: pool msdos 日経 MIX: ibm.pc/data

★ 環境変数 PATH へのパス名の新規追加と削除

apath

APATH005.LZH

MS-DOS
5-6
3.5-6

North (鷺北 賢)

環境変数 PATH (コマンド検索パス) に新たなパス名を追加したり、削除したりするユーティリティ。

MS-DOS では、ユーザーが実行しようとした実行ファイルがカレントディレクトリに存在しない場合、環境変数 PATH にセットされたディレクトリ (パス名) から探し出す。PATH の中身をセットするには「PATH パス名」や「SET PATH =パス名」と実行すればよい。以上は MS-DOS の基本知識であるが、PATH や SET といった MS-DOS の標準コマンドでは、あとから環境変数 PATH にパス名を追加したり削除したりできないところが不便だ。

apath では、例えば「APATH C:¥ETC」と実行すればパス名を追加してくれるし、「APATH -d C:¥ETC」でパス名を削除してくれる。その他にも、オプション指定で、追加するパスを環境変数 PATH の先頭/最後/n 番目に持ってくることもできる。

また、apath を使えば、環境変数の領域がある限り、通常の PATH コマンドでは設定が不可能な長いコマンド検索パスを設定できるので、大容量のハードディスクを使って、たくさんのソフトウェアをインストールしている人にはたいへんありがたい。

●バージョン: 0.05 ●動作条件: MS-DOS ●登録先 アスキーネット: pool msdos

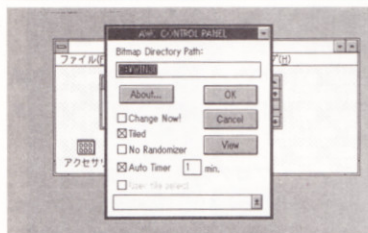
★ Windows の「壁紙」データを起動時にランダムに表示

AWC (Automatic Wallpaper Changer)

AWC201EX.LZH

Windows
5-8
3.5-9

sazaby (怡土 昌彦)



MS-Windows の起動時に壁紙をランダムに選択して表示する Windows アプリケーション。

Windows では、ウィンドウの背景に「壁紙」としてビットマップのパターンを表示することができる。通常、表示させる壁紙は 1 つしか選べないので、別の壁紙に貼り替えるにはいちいちユーザーが切り替える必要がある。これが面倒で、何十枚と壁紙を持っているのについつい同じ壁紙をずっと表示させている人も多いのではないだろうか。

AWC を使えば、Windows が起動するたびに自動的に複数の壁紙から 1 つをランダムに選択して表示させることができる。

また、付属の LAWC と ATW を使うと、Windows 実行中に壁紙を貼り替えたり、一定時間が経過するたびに壁紙を自動的に切り換えることも可能になる。

今回収録したのはフリーソフトウェア版だが、Windows 3.1 用のシェアウェア版 (Ver.3.01) も作られており、パレットの変更 (256 色の壁紙を表示する際に有効) にも対応している。

●バージョン: 2.01 ●動作条件: Windows 3.0 ●登録先 日経 MIX: windows NIFTY-Serve: FWINF/LIB5

*壁紙のサンプルは、5 インチでは No.9、3.5 インチでは No.11 のディスクに入っています

★プログラミング言語 Logo の処理プログラム

BANDIT LOGO

LOGO200.LZH/BLMAN200.LZH

98
5-1
3.5-1Manual
5-1
3.5-1

Bandit

プログラミング言語 Logo の処理プログラム。言語仕様としては、Common Lisp や Smalltalk-80 の文法を取り入れた拡張や、機能の絞り込みが行なわれており、また MS-DOS で使われるテキストファイルを Logo 上で処理できるよう機能が強化されている。

プログラムを起動すると、コンソール画面／グラフィックス画面／行入力画面の3分割された画面が表示される。コンソール画面は、Logo 命令の入力やワードやリストなどの出力が行なわれる画面である。グラフィックス画面には中央にタートルが表示されており、そのタートルを動かしたり、絵を書いたりする。行入力画面は、画面の最下行に位置し、エラーメッセージの出力や行入力を行なったりするのに使用される。また、ヘルプ、ファイル操作、検索などはファンクションキーに登録されている。

Logo 手続きはテキストファイルとして作成することが可能で、Logo に付属しているエディタや市販のエディタなどで作成することが可能。

●バージョン:2.00 ●動作条件:PC-9801 (VM 以降、LT/HA、ハイレゾリューション機を除く)

●登録先 アスキーネット:pool msdos

* LOGO200.LZH は本体、BLMAN200.LZH は LaTeX で書かれたマニュアルです。

★バージョンアップ用差分ファイル作成&更新

BDIFF/BUUPDATE

BDIFFASC.LZH

MS-DOS
5-6
3.5-6

T.Tanaka

2つのファイルの差分を作成したり、差分ファイルを使ってファイルの更新を行なうツール。

フリーソフトウェアのバージョンアップは、その性格上かなり頻繁に行なわれることが多い。ソフトが巨大な場合は、バージョンアップのたびにすべてのファイルをまるごとアップロード／ダウンロードしていたのでは電話代がかさんでしまう。そこで、旧バージョンからの変更点を抜き出した差分ファイルを作成し、そのファイルを使って旧バージョンを新バージョンに更新する。この方法は、やりとりするファイルのサイズが小さくてすむという利点がある。

BDIFF は2つのファイルの違いを抜き出し、BDF という拡張子をもつ差分ファイルを作成する。作者はこれを BBS にアップロードする。この差分ファイルをダウンロードしたユーザーは、BUUPDATE を使って旧バージョンを新バージョンに更新する。もちろん、このためにはユーザーは旧バージョンをもっている必要がある。

●バージョン:1.26 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN: NEC98/OSL3 NIFTY-Serve: FLABO/LIB8, FGALBT/LIB6, FGALWT/LIB6 アスキーネット:pool msdos 日経 MIX: long2/pds2

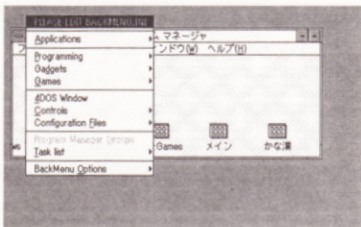
★ Windows で仮想デスクトップ画面を実現／アプリケーションをメニューから起動

BigDesk/BackMenu

DESK24.ZIP

Windows
5-9
3.5-10

I.Health



SHARE WARE

Windows の操作環境を改善する2つの有名なソフトウェア(シェアウェア)。

BigDesk は、3×3=9倍の仮想的なデスクトップ画面を実現するプログラム。

実際に表示される画面は9区画のうちのひとつであるが、BigDesk 自身のウィンドウで表示したい区画の上で右クリックすることによって簡単に画面を切り替えることができる。BigDesk を使うと、狭い画面で多くのアプリケーションを起動しても、画面がゴチャゴチャしなくてすむ。

BackMenu は、決められたアプリケーションを簡単に起動するメニュープログラム。

実行すると、アプリケーションが存在していない領域でマウスを右クリックしたときに、BackMenu のメニューが出現し、メニュー内のアプリケーションを起動することができる。

メニューは、階層化が可能で、テキストファイルで簡単に記述することができる。

BackMenu を使えば、プログラムマネージャを経由せずにアプリケーションを実行できるので、よく使うものは BackMenu に登録しておくとう便利である。

●バージョン:2.40 ●動作条件:Windows (3.0以上) ●登録先 CompuServe: UKSHARE

★ Windows の「壁紙」を MS-DOS の画面で表示

bmlay (BitMap Lay)

BMLAY092.LZH

98
5-1
3.5-1

八丁堀 (村木 正和)



Windows の壁紙 (ビットマップファイル) を MS-DOS の画面に表示するツール。

Windows では、ウィンドウの背景に壁紙を表示することができる。このビットマップファイル (拡張子 BMP) のフォーマットは公開されているため、Windows 付属のもの以外にもさまざまな壁紙が作られており、パソコン通信で配布されたり、壁紙データ集として市販されたりしている。

bmlay を使えば、こうしたビットマップファイルの壁紙を Windows を持っていない (あるいはわざわざ起動しなくても)、通常の MS-DOS の画面に表示させることができる。

対応しているビットマップファイルのフォーマットは2色/16色/256色のもの。ただし、256色のビットマップ (16色以上使われているもの) はグレースケール16階調で表示される。また、実際の明るさより暗めに表示してテキスト画面の背景として使うことも可能だ。このようなビットマップファイルのロードとしての機能の他に、ビットマップファイルの情報を表示する機能も持っている。

●バージョン:0.92A ●動作条件:PC-9801 (16色表示可能機種)

●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAV/LIB5 U8FC-BBS:pool msdos

*壁紙のサンプルは、5 インチでは No.9、3.5 インチでは No.11 のディスクに入っています

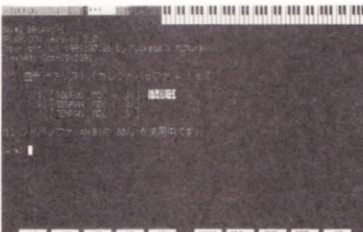
★98の内蔵スピーカーで音楽演奏

BPLAY

BPLAY2A.LZH

98
5-1
3.5-1

うっぱち屋・うっぱち屋・うっぱち屋・八丁堀



BPLAY.COM は、PC-9801の内蔵スピーカーを駆使し音楽演奏を行なうプログラムである。このプログラムは TSR (常駐) プログラムなので一度起動すればシステムに常駐し、他のプログラム実行中も BGM をながし続けることができる。また常駐後もプログラムとのやり取りが可能となっているため、たとえば演奏の中止/再開、早送り/巻き戻し、テンポ/スピードの変更、曲の入れ換えなど、いろいろな操作を行なうことができる。さらに、画面上に鍵盤を表示させて、演奏中の音符の表示を行ったり、カラオケのようにメロディーにあわせて歌詞を表示させることもできる。

EMS (拡張メモリ) 領域がある場合には、その部分に曲データを格納することができるので、一度に多くの曲を登録することができる。また、鍵盤などの表示色や表示位置、キー操作などがユーザーの好みにあわせて変更することができるようになっている。

また、常駐している BPLAY.COM とのデータなどのやり取りの方法が公開されているので他のプログラムから BPLAY.COM を制御することが可能となっている。

●バージョン:2.0A (所沢 Edition) ●動作条件:PC-9801

●登録先 アスキーネット:pool msdos PC-VAN:98CLUB/フォーラム 3

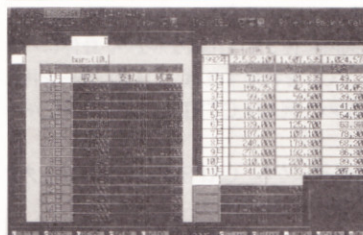
★3次元スプレッドシートによる表計算

CALPET

CALP140A.LZH

98
5-1
3.5-1

MILK/BrainStorm (陳 章末)



本格的な表計算ソフトで、複数の2次元シートを「ページ」という概念で管理することで、3次元スプレッドシートを実現している。

1 ページは999行×701列で構成され、最大で701ページのシートを1ファイルとして管理することが可能。同時に8個のウィンドウを開くことができ、その大きさと位置はキー操作で任意に指定できる。ファイルとして保存されたデータを読み込む際、保存時のウィンドウ配置が再現されるので使いやすい。実用的なセル関数が多数用意され、ページにまたがる「串刺し計算」が可能。また、他ファイルのデータを、セル関数を利用して現在のシート上に呼び出すことができる。セル単位で表示色や罫線などの書式を変えることが可能で、カラフルなシートは眼を楽しませる。グラフの種類は限定されるが、立体グラフを思わせる棒グラフは一見に値する。グラフを作成する場合、任意のセルにグラフ作成関数を入力し、NFER キーを押すことで一時的に画面表示することになる。マクロ機能と印刷機能がサポートされれば、市販の表計算ソフトも顔負け。

●バージョン:1.40A ●動作条件:PC-9801 (CPU80286以上、MS-DOS Ver.3.3x-5.0)

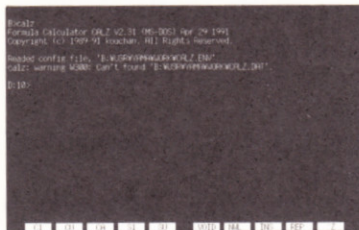
●登録先 NIFTY-Serve:FGALAP/LIB7 PC-VAN:NEC98/OSL6

★パソコンが関数電卓に変身

CALZ

CALZ231.LZH/CALZ226M.LZH

松坂 晃太郎

MS-DOS
5-6
3.5-6Manual
5-6
3.5-6

パソコンをちょっとした(5000円クラスの)関数電卓に変身させるソフト。

起動後のプロンプトに対して数式をキー入力する会話モードだけでなく、コマンドラインに直接数式を書いたり、テキストファイルに書かれた数式を次々に処理するバッチ的な処理も可能になっている。

26個(a~z)のストアメモリを持っているほか、代数式そのものを記憶する機能、円周率などの定数を記憶しておく機能、統計演算機能などを備えているため、レポートに追われる理系の学生には必須のソフトだろう。

また、2/8/10/16進数の変換や、AND/OR/XORなどの論理演算、“a”などの文字定数もサポートしているので、プログラマがちょっとした計算をするのにも便利だ。

こうした目的のために、四則演算や基数変換、論理演算に機能を限定し、ファイルサイズを1/3程度に抑えたサブセット版(CZM)も用意されている。

●バージョン:2.31 ●動作条件:MS-DOS(Ver.3.x以降が望ましい)

●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAP/LIB4

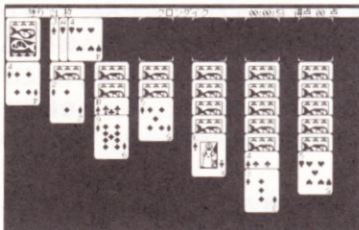
* CALZ231.LZHは本体、CALZ226M.LZHはマニュアルです。

★一人用カードゲーム7本パック

Cards!

CARDS140.LZH

Daichi (大池 浩一)

98
5-1
3.5-1

7つのゲームをまとめた一人用カードゲーム。

一人用カードゲーム(ソリティア)として古い歴史を持つものから最近出てきたものまで、「カルキュー」「クロンダイク」「ピラミッド」「ゴルフ」「カドリール」「タワーズ」「キャンフィールド」の7つが用意されている。

各ゲームのルールは付属のドキュメントやゲーム中のヘルプで参照することができる。また、動かせるカードを示してくれるアドバイス機能や、ユーザーに代わってゲームを進めるオートパイロット機能もルールの把握に役立つだろう。

カーソルキー、テンキー、マウスなどさまざまな操作方法が用意されており、ユーザーの好みに合わせた操作が可能だ。また、伏せられたカードをめくったり移動したりする処理は、可能な限り自動化されている。ゲームが終了したかどうかの判断も自動的に行なわれるが、こちらは人間が判断するように設定することも可能だ。

●バージョン:1.40 ●動作条件:PC-9801(VM以降) ●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAM/LIB5

★CTRLキー操作などを2ストロークで可能にする

CGL

CGL022.LZH

クラッシャーシロちゃん(川上 雅之)

98
5-1
3.5-1

CTRLキー操作などを2ストロークで可能にする常駐ソフト兼デバイスドライバ。

CTRLキーを使った操作は、通常CTRLキーと他のキーを同時に押さなければならない。身体にハンディキャップを持つ人の中には、こうした操作が難しい人もいる。CGLを利用すれば、CTRLキーを押した状態が次のキーを入力するまで保持(ラッチ)されるようになるため、例えばCTRL-ZならCTRLキーを押して、離してからZキーを押せばいい。

CTRLキーを2回押すと、以後ずっとCTRLキーが押された状態になる。CAPSキーのようにロックするわけだ。再度CTRLキーを押すか、ESCキーを押せばこの状態は解除される。

SHIFTキーやGRPHキーに対しても、同様のラッチ/ロック動作が行なわれる。ラッチ/ロック動作を組み合わせたことも可能なので、CTRL-SHIFT-GRPH-1文字のようなキー操作が必要なときには、それぞれのキーを続けて押していけばいい。

現在のどのキーがラッチされた状態になっているかは、画面最下行の左端に表示される。

●バージョン:0.22 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FEPSON/LIB6

★複雑な検索が可能なデータ検索/表示プログラム

cgrep(context grep) CGREP301.LZH

AssistantIO

MS-DOS
5-6
3.5-6

cgrep は、テキストファイルの中から、指定した検索パターンに従って、データを検索/表示するプログラムである。検索パターンには正規表現が利用できる。正規表現とは、MS-DOS のワイルドカードをはるかに強力にしたもので、例えば「A で始まって数字で終わる文字列」といった複雑なパターンを簡単に表現できる。しかし、単に正規表現が使えるだけでなく、さらに複数の検索パターンを使って OR/AND 検索が可能となっている。

また、パターンにマッチした行をマークを付けて表示、マッチした前後の行を表示、指定した行数分の改行や空白を無視、複数行にまたがったパターンの検索など、その名のとおり文脈(コンテキスト:context)を意識した検索を可能にしている点で、1行単位でしか検索のできない他の文字列検索ソフトと一線を画している。

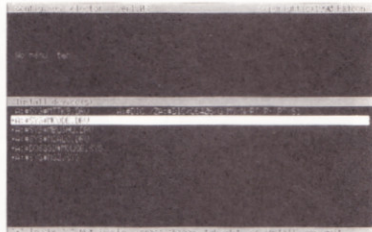
またユニークな機能として、英字/数字/カナ/句読点の大小文字の区別、1バイト/2バイト文字の区別、カタカナ/ひらがなの区別を行わない、ファジーな検索をすることもできる。

●バージョン:3.01 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★MS-DOSの起動時に最大20種類のシステム設定を可能にする

CINIT CINIT106.LZH

Falcon (広野 忠敏)

98
5-6
3.5-6IBM
5-6
3.5-6

CONFIG.SYS の先頭にデバイスドライバとして登録し、MS-DOS の起動時に最大20通りのシステム設定 (FILES、BUFFERS、SHELL、DEVICE、DEVICEHIGH、INSTALL) を選択できるようにするユーティリティ。

各設定は CONFIG.SYS の中で、LASTDRIVE コマンド (DOS 5.0以降は REM 文) を使ってブロックごとに分割する。そして CINIT.SYS の組み込み時には、ブロックの選択メニューが起動し、これらのブロックをユーザーがファンクションキーの F1~F10、Shift+F1~F10を押して選択できるようになる。この際に、各ブロックに記述されているデバイスドライバをそれぞれ組み込むかどうか選択でき、さらに各種設定のパラメータ等を修正することができる (ただしこの変更結果は保存されない)。

デフォルトでは CINIT.SYS の組み込み時に必ずメニューが起動するようになっているが、オプション指定で特定のキーが押されていた時にのみ、メニューを起動させることができる。メニュー起動状態のときに一定時間何も入力がない場合は、強制的に処理を継続させて、システムを自動起動させることもできる。

●バージョン:1.06B ●動作条件:PC-9801、IBM PC ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★通信状態/通信時間/現在時間を通信中表示

Communication Watcher(cw)/rlt CW140PL.LZH

Appne. (あばね) [cw]、びん [rlt]

98
5-1
3.5-1

cw は、プログラムを起動するとシステムに常駐し、RS-232C ポートの状態をリアルタイムにレポートする。通常は、画面最下行にステータス表示行が現われ、通信制御ライン状態、送/受信データの状況およびそれぞれの実質ボーレートなどが表示される。それぞれの表示色はオプション指定で好みの色に設定が可能。ボーレートは、数値表示の他に bargraph による表示も可能であり、常駐後もキー操作により変更が可能。また、常時受信データを監視し、ZMODEM 送信開始文字列を受信した場合に自動的に指定したコマンドの起動も可能。この機能も常駐後のキー操作により自動起動の ON/OFF が切り替えられる。

rlt は、現在時間/通信時間を表示する常駐プログラムであり、cw により拡張された表示領域に時刻表示を行なうことができる。

●バージョン:(cw) 1.40/(rlt) 1.20 ●動作条件:PC-9801

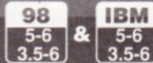
●登録先 (cw)NIFTY-Serve:FLABO/LIB1 (rlt)アスキーネット:pool msdos

*本書に掲載されている CW140PL.LZH は、CW140.LZH に同梱されている RLT111P3.LZH を最新版の RLT120CW.LZH に差し替えて再梱包したものです。CW140PL.LZH を LHA で解凍すると、RLT120CW.LZH が得られますので、それをさらに LHA で解凍すると rlt の実行プログラムが得られます。

CPU BENCH

CPUBENCH.LZH

Hayami (速水 祐)



```

Tuxpurcher
8086 CPU Speed 1437 -0.940 Cpu-Load 1992 Zlibplus Harvard
Div3Time 30000 LOOPS
Executable memory area: 4000-0000 ->4000-1235
CPU Types: 12864K FPU 14870K Virtual86 mode
Ratio to the first 8086M : 12.74
Execute time : 05.40 sec.

```

80x86系のCPU搭載マシンのスピードを測定するプログラム。

実行すると、まず測定ルーチンの存在するアドレスとCPUタイプを表示し、次に DHRYSTONE によるベンチマークテストを30000回行なって、初代 PC-9801に対するスピード比と実行時間を表示する。表示するCPUタイプはCPU種別 (8086/V30/80186/80286/i386SX/i386DX/i486SX/i486DX/Cx486 SLC/Cx486DLC)、FPU種別 (8087/80287/80287XL/i387SX/i387DX)、仮想86状態の3つの情報からなる。PC-9801とIBM PC系 (DOS/V、J-3100、AX)、FM-R系 (FMR、FM-TOWNS、松下製マシン) の3機種対応で、PC-9801とIBM PC系のマシンでは自動的にマシンの種別を判定する。

付属の CPURACE.TXT というファイルには、さまざまな機種でこの CPUBENCH を実行したベンチマークの結果が記録されている。また、このベンチマークテストは CPU の性能だけを計測するものであり、マシンの総合的な処理速度を測定するものではないことに注意したい。

●バージョン:0.980●動作条件:PC-9801,IBM PC,FM-R ●登録先 ZOB station BBS アスキーネット:pool msdos

* ZOB Station BBS ●回線番号:0466-42-1066●入会方法:オンラインサインアップ (ゲスト利用:guest<パスワード無し>)●料

金:無料

CRT SHUTter

CRTSHT23.LZH

志村 拓



マウスにも対応している常駐型のスクリーンセーバー。

ファンクションキー表示のように、画面の同じ場所に同じ文字が長時間表示されていると、CRT の性質上その文字が焼き付いてしまうことがある。

これを防ぐのがスクリーンセーバー（CRT シャッター、スクリーンシャッターなどとも呼ばれる）で、一定時間イベント（キー入力や、画面出力、マウス操作など）がなかったときに、自動的に現在の画面表示を一時停止するというものだ。

表示を停止しているときには、画面は真っ黒でもいいわけだが、それではつまらないので、いろいろな動きのある（焼き付かないような）画面を表示するスクリーンセーバーが作られている。

CRT SHUTter では、5 分間イベントがないと、まずグラフィックの表示を停止してテキスト画面の白い文字をすべて青くする。さらに 2 分間待って、CRT へのすべての出力を完全に停止するようになっている。これらの時間設定はユーザーが変更することも可能だ。

何かキーを押すか、画面に文字が表示されるか、マウスを動かせば元の画面に戻る。

●バージョン:2.3●動作条件:PC-9801●登録先 アスキーネット:pool msdos

dc (Driver Independent Disk Cache)

DC012, LZH

taQ



EMS メモリを利用する MS-DOS 汎用ディスクキャッシュドライバ。常駐プログラムとしてシステムに組み込まれる。

機種への依存性がなく、MS-DOS でドライブとして見えるものであれば、どんなドライブでもキャッシュできるのが特徴。たとえば、光磁気ディスクや CD-ROM ドライブといった大容量ドライブなど、市販のメモリーマネージャで対応していないことが多いメディアでも OK である。また、ハードディスクをパーティションで分割している場合には、パーティションごとのキャッシュが可能となる。

キャッシュのモードには、(1)ディスクから読み込んだデータをキャッシュに追加する Read-Append モード、(2)書き込みデータもキャッシュに追加する Write-Append モード、(3)キャッシュの追加をしない No-Append モードの3種類があり、ドライブごとに選択できる。

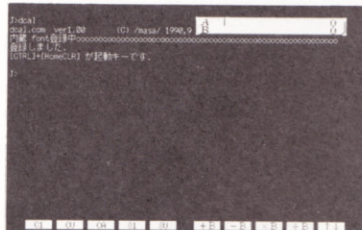
付属の cdc.exe を使うことによって、キャッシュの状態を見たり、各種設定を変更することができる。また、ページフレームを VRAM と共有する PC-9801 特有の EMS ドライバにも対応し、i386 以上の CPU の 32 bit 命令を利用した高速版が付属する。

●バージョン:0.12●動作条件:MS-DOS ●登録先 JIN-NET アスキーネット:pool msdos

★常駐型の簡易実数電卓

dcal DCAL_100.LZH

/masa/ (木村 雅弘)

98
5-1
3.5-1

常駐型の簡易実数電卓。

アプリケーション使用中に、挙げられている数値の合計や平均をとりたいとか、10進数で書かれた数値を16進数に直したい、といったほんのちょっとした計算が必要になることがある。

この程度の計算にわざわざ表計算ソフトを起動するのはバカげているし、現在の作業を一時中断しなければならない。しかし、コンピュータを使っているというのに、かたわらに電卓を置いておくというのも情けない話だ。

dcal をメモリに常駐させると、簡単なキー操作 (CTRL-HOME/CLR など) で、いつでも電卓が画面の一部に表示され、計算を行なうことができる。

また、計算結果をキーボードから入力されたかのように貼りつけることも可能だ。常駐させないでアプリとして使うこともできる。

dcal の特徴は、計算を行なう窓が2つ用意されていて、値の交換や加算が可能になっていること。数字や枠の表示には外字 (ユーザー定義文字) を利用している。

●バージョン:1.00 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★多彩な拡張機能を持つディスクコピー

DCP/DCPI DCP324C.LZH

Messiah (谷口 典生)

98
5-1
3.5-1

多くの拡張機能を持つディスクコピープログラム。ディスクコピーの際、コピー先ディスクが未フォーマットの場合はフォーマットを行ないながらコピーを行なう。コピー元ディスクが MS-DOS フォーマットの場合は、管理領域を調べて使用していない部分のコピーは行なわない (フォーマットは行なわれる) ため、必要最小限の時間でコピーを行なえる。また、コピー用のバッファとしてメインメモリ、EMS (拡張) メモリ、グラフィック VRAM メモリなどを使用することも可能で、可能な限り連続的に読み出し/書き込みが行なわれる。このため、コピーに十分なメモリ容量がある場合には、読み出し/書き込みがそれぞれ一度で終了するので、動作が非常に高速である。

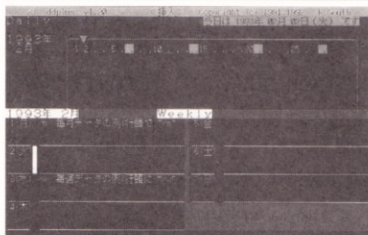
また、ディスクイメージをファイルにすることも可能で、この機能は1枚のフロッピーディスクから複数枚のコピーを取る場合に有効である。DCPI.EXE は、オプションの設定をメニュー形式で行なえるようにしたもので、カーソルキー (または CTRL-E/S/D/X)、スペースキー、リターンキー、ESC キーによって各種オプションを設定することができる。

●バージョン:3.24c ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★スケジュール&データ管理ツール

ddplus DDPLS120.LZH

K.South

98
5-1
3.5-1

スケジュールと簡単なデータベースを手軽に管理できるツール。

日・週・年という3つのモードでスケジュールを管理し、各モードはワンタッチで切り替え可能。「定期的なデータの登録」「任意の年月日へのジャンプ」「カレンダー表示」などの機能があり、登録内容の検索はワンタッチでできる。

Daily モードからはファンクションキーでデータベースが利用でき、スケジュールとデータベースの間でのデータ共有が可能。最大で17項目を設定することが可能で、最後の項目に限り可変長項目となる。固定長項目は内蔵のラインエディタで編集し、可変長項目は外部エディタを起動して編集する。最大で16個のデータベースが管理でき、画面ではカード型表示と一覧表示が可能。検索によって抽出したデータは、CSV 形式 (項目がカンマで区切られた形式) ファイルとして出力でき、他の表計算ソフトやデータベースソフトとのデータ共有ができる。

また、画面設定などを定義ファイルに記述してカスタマイズすることができるので、モノクロ画面のノート型パソコンでは重宝する。

●バージョン:1.20 ●動作条件:PC-9801 (MS-DOS Ver.3.x 以上) ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAP/LIB4

Dispell!

DSPL113.EXE

OS/悟 (大場 悟)

8086/8088 上で 8086 check 解除も可能
 Dispell! Version 1.12 Copyright(C) 1990 by O.S. 信 post2004
 G10-373
 65536 2011-11-08
 よろしいですか? [Y/N] Y
 解除しました。

プログラムファイルから EPSON チェックのコードを見つけだし、解除をしてくれるユーティリティ。

NEC PC-9800用の MS-DOS を買ってきて、EPSON の互換機で起動させると、途中でリセットがかかってしまう。

これは NEC が EPSON の互換機対策として、MS-DOS の中に現在使用しているマシンが NEC のものであるかどうかをチェックするコードを入れているためである。

このほかにも、MS-DOS 用の N88-BASIC (86) などに EPSON のチェックコードが入っている。Dispall!を実行すると、こうしたソフトウェアからチェックコードを見つけだし、EPSON マシンで動作するようにプログラムを書き換えてくれる。

なお、EPSON が配布しているソフトウェアインストールプログラム(S.I.P.)を使えばチェックを解除することができるが、入手に手間が掛かるほか、ソフトウェアの発売された直後では、それに対応したS.I.P.が存在していないこともある。

こんな時に Dispell! が手元にあると大変便利である。

●バージョン:1.13●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

dr

DR152.LZH

TACCHA (石黒 達也)

[illegible]

ディレクトリごとのディスク使用率や使用量をグラフ表示するツール。

指定したディレクトリとその下のサブディレクトリのディスク使用率をグラフ表示すると同時に、使用率や使用量(ファイルの合計サイズ)、ファイルやサブディレクトリの数などを文字で表示する。使用率の代わりに使用量をグラフ表示することも可能だ。

どのディレクトリがどれだけディスクを使っているかがわかるので、ファイルの整理を行なうときに重宝する。

また、ファイル名(ワイルドカード使用)を指定して、それにマッチするファイルだけに関する使用率や合計サイズを表示させることもできる。例えば、実行ファイル(拡張子が COM か EXE)に関する使用率やファイル数などを知ることができるわけだ。

MS-DOS 汎用のため、通常は#などの記号を使って表示を行なうが、98では-g オプションを指定するとグラフ文字を使ったより美しい表示になる。

●バージョン:1.52●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN:PIG/フォーラム12

DRVEXEC

DX0247E.LZH

Masao

98

5-1

3.5-

CONFIG.SYS 内部で、デバイスドライバでない通常のプログラムを起動させるプログラム。単にプログラムを起動させるだけでなく常駐プログラムを常駐させることも可能で、UMB 領域に常駐プログラムを格納することも可能。オプション指定によりメモリ上のどの位置に配置するかを指定したり、環境変数領域を切り離したりもできる。

起動できるのは、コマンド形式ファイル（拡張子がCOM か EXE）だけでなく、バッチファイル（拡張子が、BAT）も起動することができる。ただし、バッチファイルの場合にはCOMMAND.COM を起動して、その上で動作する。

また、起動する条件の設定が可能で、SHIFT キーの状態や動作モードなどを条件として指定可能。起動プログラムとオプション指定をファイルに記述しておき、一括指定で起動したり、デバイス組み込み時の情報を表示したりすることもできる。

なお、CONFIG.SYS 内部でのシステム状態は、通常のコマンドラインでの状態とかなり異なるので、起動できないプログラムもあることに注意。

●バージョン:2.47●動作条件:PC-9801●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB8 PC-VAN:98CLUB/OSL2

★ディスクドライブのスピードを測定

DSKBENCH

DSKBENCH.LZH

98
5-6
3.5-6 & IBM
5-6
3.5-6

Hayami (速水 祐)



ディスクドライブのスピードを測定するプログラム。

実行すると512K バイトのデータファイルをディスク上に作成し、シーケンシャルリード(5120バイト単位で100回リードする)、シーケンシャルライト(5120バイト単位で100回ライトする)、ランダムリード(データファイル上のランダムな位置から2048バイト単位で250回リードする)、ランダムライト(データファイル上のランダムな位置から2048バイト単位で250回ライトする)の4つの処理に要した時間をそれぞれ表示する。

PC-9801とIBM PC系(DOS/V、J-3100,AX)、FM-R系(FMR、FM-TOWNS、松下製マシン)の3機種に対応しており、PC-9801とIBM PC系のマシンでは自動的にマシンの種別を判定する。ただし、FMR系のマシンやマシンの判定に失敗した場合には、起動時のオプションで機種を指定しなければならない。また、測定の前には、BUFFERSは標準の20に設定しておき、フロッピーディスクやラムディスク等ではすべてのファイルを削除し、ハードディスク等では「ノストラダムス」などのソフトを利用して連続したディスクスペースを確保する、キャッシュドライブは外すこと、などとドキュメントに指示されている。

●バージョン:0.03 ●動作条件:PC-9801,IBM PC,FMR ●登録先 ZOB station BBS *ZOB Station BBS ●回線番号:0466-42-1066 ●入会方法:オンラインサインアップ(ゲスト利用:guest<パスワード無し>) ●料金:無料

★ディレクトリのソート(並べ替え)を行なう

DSORT

DSORT102.LZH

MS-DOS
5-6
3.5-6

Angie (水居 浄)

ディレクトリのソート(並べ替え)を行なうプログラム。

MS-DOSでファイルやディレクトリを作成したり削除したりを繰り返すと、DIRコマンドなどによるディレクトリの表示がまとまりつかず、非常に見苦しくなる。DSORTコマンドは、指定した条件によって、このディレクトリのソートをするプログラムである。

ソートの条件には、ファイル名、拡張子名、ファイルサイズ、タイムスタンプなどが指定できる。これらは、それぞれに昇順/降順の指示ができ、ソートの条件を複数個組み合わせ指定することも可能である。また、サブディレクトリをディレクトリの先頭・末尾に集めることもできる。

面白いのは、ファイル名が数字を含んでいる場合に、その数字の大小によってソートすることができる点である。また、DIRコマンドの出力をファイルにセーブし、そのファイルをエディタで編集して好きなようにディレクトリを並べ替え、再びそのファイルの内容に従ってディレクトリを並べ替えるといったことも可能である。

これまでも同種のフリーソフトウェアが存在したが、このDSORTはMS-DOS 4.01/5.0、DR DOS 6.0などの大容量ドライブでもきちんと処理できるところが、決定的な違いとなっている。

●バージョン:1.02 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos 日経 MIX:long3/6soft

★ディスク上のファイルの検索と所在の出力

dw(Daichi's whereis)

DW102.LZH

MS-DOS
5-6
3.5-6

Daichi (大池 浩一)

ディスク上のファイルを検索し、その所在を出力するツール。

通常、dwによる検索結果は画面に出力されるが、出力先をファイルやプリンタにリダイレクト(行く先変更)すれば、検索結果を有効に活用できる。検索対象とするファイル名にはMS-DOSのワイルドカードが使える、複数のファイル名を引数にできる。各種の起動時オプションを指定することで、いろいろな形式で結果を出力したり、特定の範囲での検索を行なうことも可能。一般のファイル以外に、LHAやLHarcでアーカイブされた書庫の中にあるファイル、さらにはディレクトリ名を検索対象とすることができる。また、MS-DOSのJOINコマンドで設定された仮想ドライブにも対応しており、フロッピーディスクのセットされていないドライブをスキップする機能が付いている。

常時指定する起動時オプションは、環境変数%DW%に定義しておくことで、これを省略して起動できる。一方、特定の書式で記述された「カタログ」というテキストファイルを用意し、その内容にしたがったファイル検索をする「カタログ機能」がある。

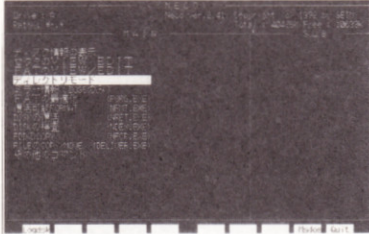
●バージョン:1.02 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★市販エディタ並みの機能を持つ高速エディタ

Edit Engine

EE062.LZH

T.Gaito

98
5-1
3.5-1

市販エディタ並みの機能を持った高速エディタ。

編集ウィンドウは1つだが、同時に8個のファイルをメモリ上にオープンし、ワンタッチでこれらを切り替えることができる。C言語に準じた記述による定義ファイルを利用して、Edit Engineのカスタマイズが可能。定義ファイルは、起動時に必要に応じてオブジェクトファイルにコンパイルされる。また、各機能を制御する多くの起動時オプションが用意されている。

キー操作を記録して実行する「キーマクロ」は2種類定義でき、C言語に準じた記述によるマクロファイルを用意すれば、「外部マクロ」を実行することができる。外部マクロも、実行時に必要に応じてオブジェクトファイルにコンパイルされる。

バイナリファイルの編集はできないが、制御コードなどの入力が可能である。特徴的な編集機能としては、「オートインデント」「ワード検索」「ブロック編集」などがある。また、検索文字列などの入力時には、過去の入力履歴を簡単に呼び出すことができる「履歴機能」を利用できる。

●バージョン:0.62 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAP/LIB5

★EMS/XMS/通常メモリのスピードを測定

EMSBENCH

EMSB250.LZH

junk.35

98
5-1
3.5-1IBM
5-6
3.5-6

EMSやXMS、通常メモリのスピードを測定するプログラム。

測定する項目は、EMS関連では、(1)論理ページの物理ページへの割り当て、(2)ページマップのセーブ&リストア、(3)複数の論理/物理ページの割り当て、(4)部分ページマップの取得/設定、(5)EMSメモリのアクセスなどに要する時間。XMS関連では、(1)EMBの割り当て/開放、(2)EMB-EMB間のデータ移動、(3)EMB-メインメモリ間のデータ移動、(4)メインメモリ-メインメモリ間のデータ移動、に要する時間がある。その他にも、参考データとして通常メモリ、ROM、GVRAM、GVRAM(裏)、バンクメモリのアクセス速度を表示する。

当初はEMSドライバのスピードを測定するのが目的であったのが、機能アップによってメモリ環境の性能テスターのような位置付けになった経緯をもつ。各社のメモリ管理ソフトの性能を比較するだけでなく、アクセスの際に多数のウェイトがかかるといわれるノートパソコンのRAMカードのスピードを測ったり、マシン間のメモリのアクセス速度を比較するなど、多彩な用途に使用できる。付属のマニュアルには、各種メモリの測定結果の読み方が詳細に説明されている。

●バージョン:2.50 ●動作条件:PC-9801、IBM PC ●登録先 NIFTY-Serve:FAISWX/LIB3, FGALST/LIB8

★98のファンクションキーの表示色変更

fcolor

FCOL19.LZH

serow (田中 良知) [原作]、tmasu [改良]、suzum [改良]、s.kasai [改良]

98
5-1
3.5-1

PC-9801シリーズのファンクションキーの表示色を変更するプログラム。通常、PC-9801のファンクションキーの表示は白リバースで表示されており、非常に目障りであり、また画面の焼き付きの原因ともなりかねない(実際、企業で使用されているPC-9801などに接続されているディスプレイには、くっきりとファンクションキーの痕が残っていることが多い)。

fcolorは、このファンクションキーの表示をアンダーラインとバーティカルラインにより表示し、また同時に表示色を指定することも可能である。このプログラムでは、直接メモリ上のIO.SYSのファンクションキー表示部分を書き換えているので、ほとんどのプログラムで表示が変更される。ただし、そのためMS-DOSのバージョンに強く依存している。

現在対応しているMS-DOSのバージョンはNEC MS-DOS 2.11/3.1/3.3/5.0、EPSON MS-DOS 2.11/3.1/3.3/4.01/5.0となっている。

なお、このプログラムはserow氏の原作によるもので、s.kasai氏、suzum氏、tmasu氏などの手で改良が加えられ、現在のバージョンに至っている。

●バージョン:1.9 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★条件指定でのファイル検索&処理

find

FIND311.LZH

t.k. (川村 尚生)

MS-DOS
5-6
3.5-6

指定した条件に合うファイルを検索し、それに対する処理を行なうツール。

dw (Daichi 氏作) などの whereis 系のツールを使えば、目的のファイルをディスク上からすばやく探し出すことができるが、見つかったファイルに対して何らかの処理を行なうときには find を使ったほうがいい。

find では、さまざまなオプションを指定することによって、ファイル名だけでなく、ファイル属性や日付、ファイルサイズなどの条件を指定することができる。

また、これらの条件を組み合わせ、すべての条件にマッチするもの (AND 検索) や、いずれかの条件にマッチするもの (OR 検索) を探すことも可能だ。

また、検索されたファイルに対してファイル名を表示するだけでなく、任意のコマンドを実行することができる。

そのため、バックアップファイル (拡張子が BAK のもの) を探して DEL コマンドで削除するとか、1週間以内に作成/変更したファイルだけをアーカイブする、といった処理が可能だ。

●バージョン:3.1.1 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN:PIG/フォーラム3

★プリンタ BIOS への出力をファイル化

fspool

FSPOOL04.LZH

kodakoda

98
5-1
3.5-1

プリンタ BIOS への出力をファイル化するユーティリティ。

プリンタ BIOS に出力されるデータをファイルに書き込ませるプログラムであり、ワープロなどのアプリケーションのプリンタ出力をファイル化する場合に利用すると便利である。

なお、MS-DOS のファンクションを使ったりプリンタの I/O ポートを操作するアプリケーションでは利用できない。

fspool は常駐プログラムではなく、パラメータにセーブするファイル名と、アプリケーション名を指定することによって実行する。

そして、fspool の内部からアプリケーションが起動されるようになる。

ファイル化されたプリンタ出力データは、付属の FSPRN.BAT を使うことによってプリンタに出力することができる。

アプリケーションが出力するデータを解析したり、プリンタ出力をファイルに落として、他の場所にあるプリンタで出力するといった用途に利用できる。

●バージョン:0.4 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos 日経 MIX:long3

★グラフィック画面に花火を表示

fw

FW006.LZH

Heiwa-Rappa (太田 正人)

98
5-1
3.5-1

グラフィック画面に綺麗な花火を表示する常駐ソフト。

普通に常駐させると、いつでも画面に花火が表示されるようになるが、かなり処理が遅くなってしまう。そこで、fw をスクリーンセーバーとして使うことをお勧めする。

ファンクションキー表示のように、画面の同じ場所に同じ文字が長時間表示されていると、CRT の性質上その文字が焼き付いてしまうことがある。

これを防ぐのがスクリーンセーバー (CRT シャッター、スクリーンシャッターなどとも呼ばれる) で、一定時間キーボードからの入力や、画面への出力が行なわれなかったときに、自動的に現在の画面表示を一時停止するというものだ。

表示を停止しているときには、画面は真っ黒でもいいわけだが、それではつまらないので、いろいろな動きのある (焼き付かないような) 画面を表示するスクリーンセーバーが作られている。fw の場合は花火を表示するわけだ。

何かキーを押したり、画面に文字が表示されたりすると花火は消え、元の画面が表示される。

●バージョン:0.06 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★多彩な機能を誇るグラフィック・メニュープログラム

GAS GAS151.LZH

KOBA (小林 裕之)

98

5-2

3.5-2

グラフィックによるビジュアルな表示、マウスによる操作の容易さ、多彩な機能などが自慢のメニュープログラム。操作はマウスだけでなくキーボードでも行なえ、液晶表示対応用に白黒8階調表示もサポートしている。

一覧メニュー表示から各種アプリケーションを起動するメニューの機能として、定義ファイル (GAS.INI) 内に最大2000件までの起動メニューを登録できる。起動メニューではそれぞれにつき最大10コマンドを指定でき、1件のメニューに登録した複数コマンドはバッチ処理される。また、起動コマンドを編集してから起動することも可能で、その変更を定義ファイルに書き戻すこともできる。メニュー機能以外の機能として、スクリーンシャッター、時報、最大6個のアラーム、SASI HDDのオートリトラクト、ソフトウェアリセットなどがサポートされている。また、ADDRV などを利用した日本語入力 FP (フロントプロセッサ) の組み替えが指定できる。これはデバイスドライバ定義ファイル (GAS.DRV) にあらかじめ10種類定義しておくことができる。

●バージョン:1.51 ●動作条件:PC-9801 (CPU 80286以上、ノーマルモードのみ) ●登録先 NIFTY-Serve:FGALBT/LIB7

★ディスク使用量をグラフ表示

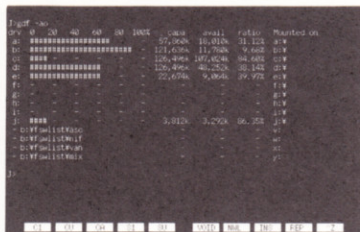
gdf GDF181.LZH

TACCHA (石黒 達也)

MS-DOS

5-6

3.5-6



ディスクをどれだけ使ったかをグラフで表示するツール。

UNIX には、ディスクの使用率などを表示する df というコマンドがあり、MS-DOS にも同名のフリーソフトウェアがいくつか作られている。しかし、df では使用率や残り容量を数字で示すだけだ。

gdf の場合、ディスクの全容量、残り容量、残りの割合などが文字で表示されると同時に、ディスク使用率が棒グラフで画面に表示される。

グラフの70%を超える部分は黄色で、さらに90%を超えると赤く表示されるため、より視覚に訴えかけるものになっている。

残り容量の少ないディスクはソフトの異常動作の原因となりやすいので、作業を行なっているディスクの使用率が90%を超えていたら、いらないファイルを消すなどの対策が必要だ。

MS-DOS 汎用のため、通常は#などの記号を使って表示を行なうが、98では-g オプションを指定するとグラフ文字を使ったより美しい表示になる。

また、JOIN/SUBST などの仮想ドライブや、ネットワークドライブにも対応している。

●バージョン:1.81 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN:PIG/フォーラム12

★データの暗号化?!

gg GG.LZH

佐々木 太良

MS-DOS

5-6

3.5-7

データを暗号化するためのプログラム。

暗号化されたデータというと、無意味な数字の羅列や不可読文字などに変換されたものを考えがちだが、このプログラムはすべてのコードを暗号化した後、可読文字に変換してまったく別な文章を作成する。実際には、データを1バイトずつ読み込んで、指定した鍵となるデータと XOR をとった後、ある規則で適当に変換データファイルによりデータを単語または短文に変換し出力する。変換用データファイル内には、複数の単語や短文をテキストデータとして登録しておくが、その登録語数により暗号化単位が変更される。最低登録単語数は32だが、登録単語数が多いほど暗号の解読が難しくなる。変換されたデータは、変換時に使用した鍵データと変換データファイルを用いることで元のデータに復元することができる。

機能は堅いが、実際にこのプログラムで暗号化されたデータを見れば、このプログラムが実用可能なジョークプログラムであることがわかるだろう。つまり、暗号化することが目的ではなく、暗号化されたデータを得ることが目的なのである。

●バージョン:1.1 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★ウイルスの侵入からの保護など

GUARD

GUARD21C.LZH

Libra

98
5-6
3.5-6MS-DOS
5-6
3.5-6

MS-DOS のファイルをコンピュータウイルスの侵入やユーザーの操作ミスから保護するためのツール。メモリに常駐してディスクへの書き込みを監視するチェッカープログラムだ。

実行ファイルやシステムファイルなど、通常は読み出されるだけのファイルを書き換えようとした場合に警告を発してくれる。

チェックの対象となるファイルはユーザーが自由に指定することができる。

ファイルだけでなく、フォーマットのようなディスクに対する特殊な書き込みもチェックできるので安全装置としても有効だろう。

また、ファイルにパスワードを設定してアクセスできるユーザーを制限するという、簡単なセキュリティシステムとしての機能もある。

EMSを利用するため、常駐サイズもコンパクトでメモリを圧迫する心配もない。

Windows 上でも利用できる PC-9801シリーズ用のフル機能版のほかに、スモール版、MS-DOS 汎用版が用意されている。

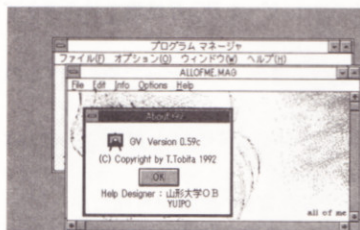
●バージョン:2.1C ●動作条件:PC-9801、MS-DOS ●登録先 Jupiter-Net NIFTY-Serve:FGALBT/LIB8

★さまざまなデータ形式に対応する Windows 用画像ローダー

GV

GV059C.LZH

とびた (飛田 方)

Windows
5-8
3.5-9

Windows 用の画像ローダー。

MAG, MAKI, Q4, JPEG, GIF, XBM, X, BMP と数多くのデータフォーマットに対応する。

機能も多彩であり、クリップボードとのコピー/ペースト、BMP 形式でのデータのセーブ、画像データの回転、複数画像データの連結、ウィンドウサイズの自動変更、コメント表示などを可能にしている。ドキュメントファイルを表示する機能を持ち、画像データファイルと同じディレクトリに同じファイル名で拡張子が TXT のものが存在する場合には、そのファイルをメモ帳などでオープンさせられる。ドラッグ&ドロップにも対応し、ファイルマネージャなどから画像ファイルを GV の上に落とすと、その画像を表示してくれる。

面白いのは、16色を利用したデータの場合に、PC-9801や VGA 搭載機のパレットを変更して、GV のウィンドウがアクティブになっている間は、本来の色情報で画像を表示させ、GV が非アクティブになったときは Windows 本来のパレットに変更するようになっている。このため、使用機種を指定するためのオプション設定が用意されている。

●バージョン:0.59c ●動作条件:Windows ●登録先 NIFTY-Serve:FWNIF/LIB8,FGALAV/LIB12,FQLD1/LIB1

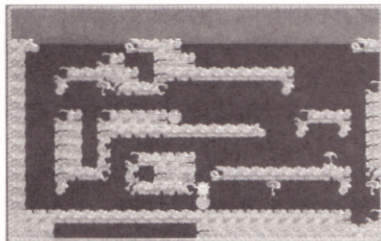
* MAG, JPEG, BMP (windows の壁紙) のサンプルは、5 インチでは No.9、3.5 インチでは No.11 のディスクに入っています

★98のグラフィック使用のバズルゲーム

HELP

HELP120.LZH

蓬

98
5-2
3.5-2

PC-9801シリーズのグラフィックを使用したバズルゲーム。海の中でたまごから生まれた主人公「ガボガボ」は、基本的には左右にしか移動することができない。岩に穴が開いている場合には、そこから下に行ることができる。海中にはクラゲとヒトデが棲息しており、クラゲをつかむと上にのぼることができ、つかんでいる手を離すと落下する。ヒトデは平らな岩の上を移動させることができ、下に落とすこともできる。ただし、クラゲとクラゲが接すると1つのヒトデに変身し、ヒトデとヒトデが接すると爆発して1つのクラゲとなる。その際、下の岩を破壊する。これらの性質を利用して、岩が迷路状になっている海底から地上へ主人公を移動させる。

ただし、主人公は海の中ではあまり息が続かないので、一定時間内に地上面に移動できなければタイムオーバーになる。

主人公のキャラクターが可愛く、動きもコミカル。たまごからかえる部分の動作もなかなか楽しい。オリジナルでは全40面が用意されているが、ゲームマップはテキストファイルで提供されているので、オリジナルマップも楽しめるようになっている。

●バージョン:1.20 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4

★98で xscript の利用時に8ビットコードが化けないようにする

iosysP

IOSYSP15.LZH

NCC-1701A (向笠 弘二)

98
5-1
3.5-1

PC-9801用のフリーソフトウェアである xscript (Oka [岡俊行] 氏原作) (『秀作フリーソフトウェア100選』「PC-9801版 MS-DOS 定番フリーソフトウェア集」<共にアスキー出版局刊>に収録)を用いて、データを入力行にカット&ペーストする場合、NECのMS-DOSはキーボードから8ビットコードを入力することができないため漢字データなどが化けてしまう。そこで、本プログラムではメモリ上の該当処理部分を探し、以後8ビットコードが化けないようにパッチを行なう。

最新版では、MS-DOS Ver.5.0にも対応しており、CONFIG.SYSでDOS=HIGH指定することによりMS-DOSシステムをHMA(ハイメモリ)領域に追い出している場合にも正常にパッチすることができる。このバージョンでは、MS-DOS Ver.2.11からVer.5.0までに対応している。

なお、本プログラムはTSR(常駐プログラム)ではない。また、パッチはメモリ上のデータに対して行なわれるので、オリジナルファイル(IO.SYS)を書き換えることはないが、システム起動ごとにプログラムを起動する必要があるので、AUTOEXEC.BAT等でプログラムが起動するようにしておけば良いだろう。

●バージョン:1.05 ●動作条件:PC-9801

●登録先 アスキーネット:pool msdos PC-VAN:NEC98 NIFTY-Serve:FNEC/LIB1

★2HDフォーマットのフロッピーをIBM PC 互換機で読めるようにする

Japan2HD

JAPAN2HD.LZH

橋家 鶴蔵 [原作]、renfor [高速化]

IBM
5-5
3.5-5

98などの日本製パソコンで広く使われている2HDフォーマットのフロッピーをPC互換機で読み書き可能にするデバイスドライバ。

DOS/VパソコンなどのPC互換機と98との間でデータをやりとりする場合、フロッピーでやりとりするのが手軽で安価な方法だ。

しかし、5.25インチ2HDフロッピーの場合、PC互換機では「1.2Mバイト/15セクタ」(2HC)、98では「1.2Mバイト/8セクタ」という異なるフォーマットが使われている。

ハード的には、どちらのフォーマットのフロッピーも1台のFDDで読み書きすることが可能だが、MS-DOSの制約などから、そのままでは98のフロッピーはPC互換機では読み書きできない。これを可能にするのがJapan2HDだ。

なお、3.5インチ2HDの場合、PC互換機は「1.44Mバイト/18セクタ」、従来の98は「1.2Mバイト/8セクタ」で、ディスクの回転速度自体異なるため、ソフト的な工夫で読み書きすることは不可能だ(98の最新機種だけは1.44Mバイトの読み書き可能なFDDを装備している)。

●バージョン:1.31 ●動作条件:IBM PC/AT およびその互換機 ●登録先 NIFTY-Serve:FDEVICE/LIB2

★DOS/V用・画面出力の記憶/参照/ファイル化など

JBACK

JBACK15A.LZH

なるい

DOS/V
5-5
3.5-5

プログラムを起動するとメモリ上に常駐し、それ以後の画面出力を記憶する。この状態でALT+↑/↓(変更可)を入力するとバックスクロールモードに入ることができる。バックスクロールモードでは、記憶したデータをさかのぼって閲覧したり、特定の文字列を検索したりすることが可能である。また、記憶したデータの参照だけでなく、カーソルを移動させて範囲を指定し、その部分をデータとして取り込むことができるようになっている。

取り込んだデータはテキストデータとして標準入力に入力されるので、それをファイルに書き込んだり、入力行にしたりすることができる。付属のJBCUST.EXEを使用することで、キー割り当てをカスタマイズすることも可能であり、サンプルとしてPC-9801シリーズ用のバックスクロールプログラムxscriptと同等のキー操作になるXSC.DEFが付属されている。

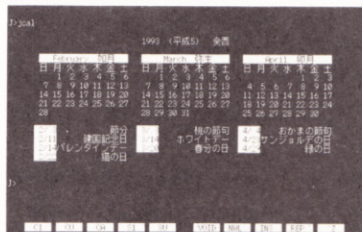
なお、画面データを取り込む場合には付属のWCDAT.SYSをCONFIG.SYSに記述して、あらかじめデバイスドライバとして登録しておくことが必要。

●バージョン:1.5 ●動作条件:DOS/V ●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB7, FIBMPRO/LIB6

★日本語表示のカレンダー

JCAL JCAL273.LZH

佐々木 太良

MS-DOS
5-6
3.5-7

日本語表示のカレンダーを表示するツール。

コマンドラインに何も指定しないで起動すると、今月を中心に前後3カ月分のカレンダーを表示する。点滅しているのが今日の日付だ。

もちろん、コマンドラインで年/月を指定することにより、万年カレンダーとして使うこともできる。具体的には、1901年3月～2099年末までが有効だ。

年（西暦または年号）と月（数字または英名）の両方を指定すると、その前後3カ月分のカレンダーが表示される。年だけを指定した場合は1年分、月だけを指定した場合は今年のその月の前後3カ月分のカレンダーがそれぞれ表示されるようになっている。

また、祝日などのテーブルを JCALTAB というファイルから読み込み、カレンダーとともに表示する。付属の JCALTAB には、すでに祝日/休日のデータが登録済みだが、自分の誕生日や給料日などの個人的なデータを追加することも可能だ。

●バージョン2.7 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★JPEG 圧縮によるフルカラー画像を表示

JLD JLD008N.LZH

西嶋 一哉

98
5-2
3.5-2

JPEG 圧縮によるフルカラー画像を表示するローダー。

JPEG はフルカラー画像のための国際的な圧縮方式で、元の画像の情報を完全には復元できない非可逆圧縮を行なうのが特徴。JPEG が主な対象としている自然画（写真など）では、このような圧縮を行なっても、展開された画像はオリジナルの画像とそう遜色はない。圧縮率を上げるとファイルのサイズは小さくなるが画質のクオリティは徐々に落ちていく。

JLD は、JPEG の実装方式として標準的な JFIF フォーマットの画像ファイルを扱うことができる。画面表示に関しては、98のグラフィック表裏2画面を切り替えることによって63色表示を行なうほか、各種フレームバッファへの出力、256色表示が可能な PC-386M/P への出力をサポートしている。また、GIF など他の画像フォーマットのファイルを作成することも可能だ。

逆に、GIF など他の画像フォーマットのファイルから JPEG ファイルを作成するサーバー（JSV）も同梱されている。

●バージョン0.08 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 CAT-NET: CGL NIFTY-Serve: FQLD1/LIB2, FSKY2/LIB6

* JPEG のサンプル画像は、5 インチでは No. 9、3.5 インチでは No.11 のディスクに入っています

★強力な簡易プログラミング言語

jperl JPERL13.LZH

Larry Wall [原作]、serow (田中 良知) [移植]

MS-DOS
5-6
3.5-7

UNIX などで使われている強力な簡易プログラミング言語。

テキストデータを処理する簡易プログラム言語として awk が有名であるが、Perl は awk や UNIX の標準コマンドである sed や grep、tr、sh コマンドの良いところを寄せ集めた言語仕様を備えており、awk よりもさらに強力なデータ処理が可能になっている。単なるテキストデータ以外にもバイナリデータも扱うことができ、UNIX のシステム管理者向けのファンクションが用意されているなど、単純なフィルタ処理をはるかに超えたプログラミング能力を備えている。

awk を使っていてよく感じる「ああ、こういう機能があれば完璧なのになあ」と不満に思っていた事柄が、すべて Perl には備わっているために、Perl はこれまで玄人筋の間では密かな人気を博していた。この春に Perl のバイブルである「Programming Perl」の邦訳が出版されたので、今後は Perl はパソコンユーザーにも広く認知されていくことだろう。

なお、jperl は JGawk でお馴染みの serow 氏が、Perl を日本語化したものだ。当然のことながら 2 バイト文字をサポートし、安心して日本語処理ができる。

●4.019 + 1.3 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

kbdd/kbddtsr

KBDD.LZH/KBDDTSR.LZH

taO

98

5-2

3.5-2

キーボードまわりの機能を拡張・変更するデバイスドライバ。

kbdd は、中心的な役割を果たす本体ドライバと、kbdd 用の TSR によって構成される。

本体ドライバの機能には、(1)キーバッファを16文字から116文字に拡大、(2)クリック音を出せるようにする、(3)キーボードロックを可能にする、(4)CTRL+数字などでファンクションキーの代わりをさせる、「」文字をSHIFTキーを押さずに入力できるようにする、などがある。

KBDD 用 TSR は、本来ドライバにさらに機能を追加する常駐プログラム群であり、DVORAK 配列を実現する dsk.exe、ASCII 配列を実現する asc.exe、XFER キーを CTRL キーに替える x2c.exe、GRPH キーを NFER キーに変更する g2n.exe、シフトキー (CTRL、SHIFT、GRPH、KANA、CAPS、ALT) の配置を変更する shc.exe、シフトキーの押下状態を画面でモニタする shm.exe などからなる。また、付属の cfg.exe という TSR では、テキストファイルで各キーの機能を自由に定義することができ、キー配列などを自由に設定することができる。このように kbdd はユーザーインターフェイスの基本であるキーボードを使い易くするためのさまざまな機能を提供している。

●バージョン:0.20.00+5●動作条件:PC-9801●登録先 JIN-NET アスキーネット:pool msdos

KEYSP

KEYSP052.LZH

ts1 (曾根 剛)

98

5-2

3.5-2

```

Usage:
  @(#) Microsoft Speed Controller Version 0.52 Copyright (C) 1st, 1992

使用法:
  最初の実行で実行し、以降の実行では常駐型の制御、は監視も行います
  プログラムオプション
  -c          リバート値を1秒あたりのミリ秒に設定
  -d          ディレイを1秒あたりのミリ秒に設定
  -m          基本モードを指定
  -o          オプションを指定
  -p          設定を保存
  -r          実行を中止
  -s          実行を再開
  -t          実行を中止
  -v          ヘルプメッセージを表示
  -x          プログラムを終了
  @(#) 100番まで指定、xxxは、42444
  0

```

キーボードのリピート速度をコントロールする常駐ソフト。

エディタやワープロでのカーソル移動にカーソルキーだけを使っていると、自分の修正したい箇所までカーソルがなかなか移動しなくて、もどかしい思いをすることになる。本来ならば、単語単位のようにカーソルを効率よく移動させるキー操作を覚えなくては行けないのだが、ソフトごとにキーバインドが異なっていたりして、なかなか覚えられないという人もいだろう。

KEYSPを常駐させることで、同じキーを押しつづけたときの文字入力（リピート）が高速化されるため、カーソルキーによるカーソル移動だけでもある程度快適に編集作業を行なうことができる。具体的には、2文字めのリピートが始まるまでの時間が従来の約半分、そしてその後のリピート速度が従来の約2倍に設定される。これらの設定はユーザーが変更することも可能だ。

また、キー入力に比べて動作の遅いソフトを使っている場合、キーを余計に入力してしまってカーソルが行きすぎてしまう、という現象も改善される。

●バージョン:0.52●動作条件:PC-9801 (VM 以降) ●登録先 アスキーネット:pool.msdos NIFTY-Serve:FAISWX/LIB3

KmTerm

KT137 LZH

CYN-Project./kim, Kazz, RONIN

98

5-2

3.5-2

The screenshot shows the 'EXPLORE' screen of the game 'THE EXPLORE'. At the top, the title 'EXPLORE' is displayed in a stylized font. Below the title, there is a large, dark, textured area representing the game world. In the center, a small, bright, glowing object is visible. The bottom of the screen features a status bar with various icons and text. On the left, it says 'EXPLORE' and 'EXPLORE'. In the center, it says 'EXPLORE' and 'EXPLORE'. On the right, it says 'EXPLORE' and 'EXPLORE'. The overall aesthetic is that of a classic adventure game.

かの WTERM を意識して開発されたという高速、高機能な通信ソフト。ファンクションキーによるポップアップメニューを中心としたビジュアルな操作体系に、C 言語風の記述が可能な本格的マクロ機能を搭載している。

80件まで登録できるホストメニューには簡易オートログイン機能も含まれており、マクロを作成しなくてもある程度の自動運転が可能。

エディタやファイラーは内蔵されていないが、外部ユーティリティをメニュー操作で起動する機能があるため、愛用のソフトを自由に組み合わせて使うことができる。

プロトコルは xmodem、ymodem (bat)、zmodem をサポート。ほかの外部プログラムを呼び出せば B-Plus などでも利用できる。

画面表示色を変更するためのユーティリティが付属しているほか、CRT 画面の焼き付きを防止するスクリーンセーバー機能もある。

●バージョン:1.37●動作条件:PC-9801●登録先 NIFTY-Serve:FGALTM/LIB5

★ハードディスクなどのバックアップを自動化

ksb

KSB010B.LZH

North

MS-DOS
5-6
3.5-7

ハードディスクなどのバックアップ作業を支援し、人間の苦労を軽減するツール。

大容量ディスクの内容をフロッピーにバックアップする場合、多数のフロッピーが必要なので、どのファイルがどのフロッピーに入っているかを管理する必要がある。さらに、数 M バイトもあるような巨大なファイルの場合は、いくつかに分割してから保存しなければならない。

ksb を使ったバックアップでは、こうした作業は自動的に行なわれるため、ユーザーが意識する必要はない。ファイルを復元する際にも、必要なフロッピーの番号を ksb が指示してくれるし、分割したファイルの併合も自動的に行なわれる。

2回目以降のバックアップでは、前回のバックアップ以後に作成／変更されたファイルだけが選択されるため、短時間でバックアップが終了する。

また、対象となるディレクトリを指定することができるため、バックアップの不必要なファイルと必要なファイルをディレクトリで分けられれば、フロッピーの枚数を抑えることができる。

●バージョン:0.10b ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★多機能ページャー

less

LESS123.LZH

Mark Nudelman [原作]、serow (田中 良知) [移植]

MS-DOS
5-7
3.5-7

```

less version 123 + 6(MSDOS, SJIS)
less - Copyright (c) Mark Nudelman
      Copyright (c) Free Software Foundation, Inc.
      termcap - Copyright (c) Free Software Foundation, Inc.

less version 123 の実行方法の要約です。
pool.msdos に含まれている version 2.0 の変更点は 'changes' に
記述されています。また、100% 実行方法については主として以下の点が変更されました。

● less 2.094i 以降の less により less.man, lesskey.man, less.hlp の
  日本語版が作成されています。
  名や less.man, lesskey.man, less.hlp となっています。
  termcap の日本語版も同様に作成されています。

● less 及び termcap ライブラリには 68000 のものを組み込みました。

● 環境変数 LESS により less 123 は使用しなくなりました。
  ファイル名が 123 であることによって LESS が指定できるよう
  になったのです。詳細は less.man を参照してください。
  参考: 6 の使い方は

```

MS-DOS の標準コマンドである more コマンドを拡張したもので、ファイル表示を一画面毎に停止するだけでなく、さまざまな機能が用意されている。たとえば、逆方向にファイル内容をスクロールしたり、指定行／指定位置へのジャンプ、表示位置のマークおよびマーク箇所へのジャンプ、指定文字列の検索(前／後方向)、対応する括弧の検索など機能は非常に多彩。また、エディタを起動して現在表示しているファイルを編集することも可能である。

画面スクロールは、デフォルトでは 1 行、半画面、全画面が基本となっているが、スクロール行数などはオプション指定やコマンド指定で変更することができる。その他、多くのプログラム起動時のオプションが用意されているが、それらは環境変数 LESS に設定しておくことが可能であるため、複雑なオプション指定は登録しておけば良い。なお、termcap (または terminfo) という端末属性設定ファイルを利用することで、表示できる行数や桁数を指定したり、画面表示シーケンスを指定し、それによりマシンの違いに依存しないプログラムとなっている。

●バージョン:123 + 6(MSDOS, SJIS) ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★日本の標準アーカイバ

LHA

LHA255.EXE

*実行形式の LHA、EXE は、LHA でアーカイブされたファイルがある
すべてのディスクに収録されています

吉崎 栄泰

MS-DOS
5-6
3.5-6

複数のファイルをまとめて、1つのファイルにするソフト(アーカイバ)。まとめる際にファイルの圧縮も行なう。

フリーソフトウェアは通常、プログラム本体以外に、ドキュメントやデータファイル等、複数のファイルで構成されている。これらをそのままやりとりするのはたいへんだ。

そこで、アーカイバを使ってこれらのファイルを1つのファイル(アーカイブファイル)にまとめてからアップロードする。ダウンロードした側は、そのファイルをアーカイバを使って展開すれば、元の複数のファイルを手に入れることができる。

ファイルの圧縮機能をもったアーカイバの場合は、アップロード／ダウンロードの時間を節約できるという利点もある。

LHA は国内で標準的に使われているが、圧縮率ではアメリカ製のアーカイバにひけをとらない。また、フリーソフトウェアとして無料で使用できることから、国際的にも評価が高い。

●バージョン:2.55 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN: NEC98/OSL3 NIFTY-Serve: FLABO/LIB8, FGALBT/LIB4, FGALWT/LIB アスキーネット:pool msdos 日経 MIX: listings2/beginner

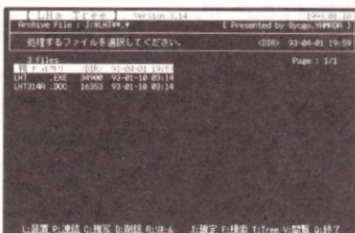
★ LHA アーカイブ内のファイルのツリー表示&各種操作

LHT (LHA 書庫内 Tree 表示)

LHT314A.LZH

98
5-2
3.5-2

YY.しよ (山田 省吾)



LHA のアーカイブ内のファイルのツリー表示し、各種操作を行なう支援ツール。

LHA のアーカイブファイル (拡張子 LZH) 内に含まれるファイルの名前、サイズ、タイムスタンプなどを表示し、簡単なキー操作で各ファイルの閲覧/展開/削除などを行なうことができる。こうした操作は内部で LHA を起動して行なわれるため、LHA.EXE が必要だ。また、通常のファイルに対して、コピーや削除、アーカイブなどのファイル操作を行なうこともできる。

ふつう、フリーソフトウェアのアーカイブを展開する際には、どのようなファイルが含まれているか、何をやるソフトなのか、実行に必要なファイルはどれか……などを調べてから展開する。LHT を使えば、こうした操作を画面上で会話的に行なうことができる。

同種のツールはいくつかあるが、LHT の特徴はファイル名をツリー表示すること。

これにより、ディレクトリ付きでアーカイブされたファイルが画面上でわかりやすく分類され、各種の作業を容易にしている。

●バージョン:3.14A ●動作条件:PC-9801 (MS-DOS Ver.3.1以降、ハイレゾ可) ●登録先 NIFTY-Serve:FGALBT/LIB4

★ファイル名の一覧をリスト表示

ls KMLS.LZH

MS-DOS
5-6
3.5-7

kmori

ファイル名の一覧をリスト表示するツール。

MS-DOS の内部コマンドである DIR コマンドを使っている人も多いだろうが、あの出力は余計な情報が含まれていていかにも野暮ったい。そこで、UNIX の ls コマンドをモデルにしたファイル一覧表示ツールが数多く作られている。

ここで紹介するのは kmori 氏作の、通称「kmls」と呼ばれるものだ。

ls では、カレントディレクトリのファイルの一覧だけが表示される。ファイル名は判別しやすい小文字で表示され、ベース名と拡張子の間にはちゃんとピリオドがついている。

表示順はファイル名のアルファベット順だが、オプション指定によってサイズ順/時刻順/拡張子順などにもすることもできる。また、ファイル名だけでなく、ファイルサイズや作成時間も知りたいときには、-l というオプションを指定する。

このほか、LHA などで作成したアーカイブの内容を一覧表示することも可能だ。

●バージョン:2.12 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 日経 MIX アスキーネット:pool msdos

★国産 C コンパイラの評価版

LSI C-86 試食版

LSIC330.LZH

MS-DOS
5-7
3.5-4&5

エル・エス・アイ ジャパン株式会社

国産 C コンパイラの評価版。

4、5年前から C 言語がブームになって以来、いまだにその人気は衰えていないが、現在 C コンパイラと言えば、Microsoft の MS-C と Borland の Borland C++ が市場をほぼ独占している。そんななかであって、ひととき異彩を放っているのが、日本生まれの C コンパイラである LSI C-86だ。もともと LSI C は、かつての 8 ビットパソコンの OS である CP/M 用に開発された C コンパイラである。強力な最適化で定評があり、人間がアセンブラでコードを書くよりも高速で能率のいいコードを出力するとさえ言われていた。LSI C-86は、その LSI-C の 8086CPU 用 MS-DOS 版の C コンパイラである。

LSI C-86試食版は、商品の LSI C-86をよく知ってもらうために、機能や使用条件を制限した上で配布されているサブセット版である。機能的には、コンパイルに必要な最低限のファイルだけが添付され、小さなプログラムだけしか作成できないよう、スモールモデルでしかコンパイルができない。また、マニュアル類もファイルだけで提供される。使用条件として最も重要なことは、この試食版に役に立つフリーソフトウェアの作成に利用してほしいということだ。あの LHA もこの試食版を用いて作成されている。

●バージョン:3.30 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 日経 MIX:lsi.j アスキーネット:pool msdos

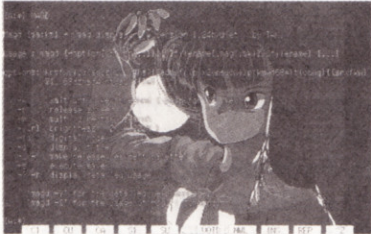
★ MAG/MAKI 形式データの画像を98で表示

Magd

MAGD124C.LZH

98
5-2
3.5-2

ったく☆ (Tak.)



現在通信上で主流となりつつある画像データフォーマットである MAG 形式、MAKI 形式対応のグラフィックデータローダープログラム。MAG 形式フォーマットは PC-9801 シリーズや X68000 シリーズ用のグラフィックデータフォーマットとして定評のあった MAKI 形式フォーマットの改良版で、MAKI 形式に比べデータ圧縮率の向上などを目的として開発され、MAKI 形式と比較して 20% 近くデータ圧縮が行なわれる。

Magd は、その MAG 形式フォーマットのデータの表示を行なうもので、他のグラフィックローダーに比べて、表示の高速化が著しい。データの表示では、画面サイズよりも大きいサイズのグラフィック画像も 1/2 や 1/4 に縮小表示したり、画面スクロールや切り替えで表示することができるようになっている。また、表示画像の明るさを指定することも可能である。また、256 色画像にも対応しており、アナログモードの場合にはカラー 16 色またはモノクロ 16 階調に変換して、デジタルモードの場合にはカラー 8 色またはモノクロ 2 色に変換して表示される。

●バージョン:1.24c ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAV/LIB5 アスキーネット:pool msdos

* MAG のサンプル画像は、5 インチでは No. 9、3.5 インチでは No.11 のディスクに入っています

★ MAG/MAKI 形式データの画像を IBM PC 互換機で表示

MAGLV

MAGLV112.LZH

IBM
5-5
3.5-5

高田 秀典



Magd と同様に MAG 形式、MAKI 形式に対応したグラフィックデータローダープログラムで、それらの画像を IBM PC (および互換機) 上で表示することができ、画面解像度は EGA/VGA/S-VGA に対応している。S-VGA 搭載機では最大 800×600 ドットの表示が可能。

また、表示したい画像の縦方向が画面サイズよりも大きい場合には、画面をスクロールさせながら表示させることもできる。その他、オプション指定で表示後のキー入力待ちの有無や表示の明るさ、S-VGA のモードの指定なども行なえ、これらの設定は環境変数 MAGLV に登録しておくことで、いちいち指定する必要がなくなる。

表示を指定するファイル名にワイルドカード (*や?) を指定することもでき、この場合には該当するファイルを順次表示する。また、複数ファイルを表示する際に、1 データごとに画面を消去しないように指定することもできるので、部分データファイル (画面全体のうち一部分だけをセーブしたデータ) を表示したい場合には、この指定をすればよい。LCD マシン用にカラー反転して表示することも可能となっている。

●バージョン:1.12 ●動作条件:IBM PC/AT およびその互換機 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAV/LIB5, FIBMPRO/LIB3

* MAG のサンプル画像は、5 インチでは No. 9、3.5 インチでは No.11 のディスクに入っています

★ 画面表示をメルトダウンしてクリア

melt

MELT21A.LZH

98
5-1
3.5-1

Daichi (大池 浩一)



溶け落ちる (メルトダウン) ように画面消去を行なうジョークソフト。

MS-DOS の CLS コマンドは単に画面を一瞬のうちに消去 (クリア) させるだけだが、melt は、これを楽しく見せてくれる。機能としては CLS コマンドとまったく同じなので、たとえば AUTOEXEC.BAT の最後に melt と記述しておけば、起動画面の最後で、表示されている画面がみるみるメルトダウンしていき、MS-DOS の初期画面に戻るというような使い方ができるわけだ。

通常は、テキスト画面の内容がメルトダウンするが、-g オプションを指定した場合はグラフィック画面がメルトダウンする。最終的には、テキスト/グラフィックとも画面クリアされる。

テキスト画面をメルトダウンする場合、いったんテキスト画面の文字フォントをグラフィック画面にコピーするため、グラフィック画面をメルトダウンする場合と比べて少々時間がかかる。

また、20 行モードや「30 行計画」による 30 行表示、ハイレゾモードには対応していない。

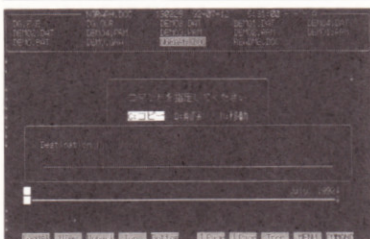
●バージョン:2.1a ●動作条件:PC-9801 (VM 以降) ●登録先 アスキーネット:pool msdos

ファイラー機能を有したテキストファイル高速ページャ

MIEL/MIELFILE

MIEL247.LZH/MIELF114.LZH

A.Idei (出射 厚) [MIEL], Paci (清水 洋平) [MIELFILE]

98
5-2
3.5-2

ファイラー機能を有したテキストファイル高速ページャ。起動時に1つのファイル名を指定すると、ページャとして起動する。ファイル内容の表示中にバックグラウンドでファイルを読み込むため非常に高速であり、検索/指定行ジャンプ/マーク&ジャンプなどの基本機能も用意されている。起動時に複数ファイル名やディレクトリ名を指定すると、ファイラーとして起動し該当するファイル一覧を表示する。ファイル一覧モードでは、カーソルキーでファイルを選択できるが、その際カーソル上のファイルの先頭部分を表示するので内容の確認が容易である。また、LHAで作成したアーカイブファイルの内容を表示することができ、アーカイブファイルを選択した場合には解凍せずに直接その内容を閲覧できる。MIELFILEは、MIELのファイラー部分の機能を拡張するもので、MIEL内部から自動的に起動され、ファイルの複写/移動/削除/改名/アーカイブファイル(.LZH)解凍などの処理が拡張される。たとえば、複写機能では同名ファイルが存在する場合の動作を「日付で更新/名前変更/上書き/同名スキップ」の中から選択することができる。

●バージョン:(MIEL)2.47/(MIELFILE)1.14●動作条件:PC-9801●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALBT/LIB5 日経 MIX:long3/7soft

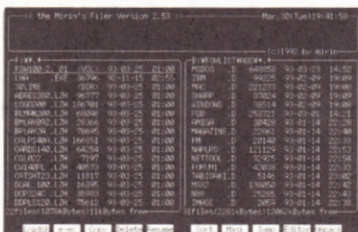
* MIELFILEは、MIEL 2.47以降へのみの対応となっています。

★ツインウィンドウで移動、削除ができるファイル管理ツール

the Mirin's Filer(MF)

MF253.LZH

mirin

98
5-2
3.5-2

ファイル一覧を画面に表示して移動や削除などを行なうファイル管理ツール(ファイラー)。

この種のツールは、FDをはじめ数多く作られている。MFの最大の特徴は、2つのディレクトリの内容を同時に画面表示するツインウィンドウを採用していること。ファイルのコピーや移動などの操作は、ウィンドウに表示されているディレクトリ間で行なわれる。操作の結果が即座に画面表示に反映されるので、コピーや移動が正しく行なわれたかの確認がしやすい。

また、定義ファイル(mf.def)の内容を変更することによって、キーへのコマンドの割り当て、外部コマンドの設定、拡張子別の処理、画面表示色、各種オプションの設定などを柔軟にカスタマイズすることができる。カスタマイズ用コマンドで実行ファイルを書き換える必要はない。

さらに、JOIN/SUBSTを使った仮想ドライブや、ネットワークドライブにも対応しており、FDが使えない状況にも対処できる。ハイレゾモードでの31行表示や、「30行計画」の30行表示にも対応しており、より多くの情報を1画面に表示することが可能だ。

●バージョン:2.53●動作条件:PC-9801(ハイレゾ可)●登録先 NIFTY-Serve:FGALBT/LIB6

★バイナリ・ファイルの内容を表示/修正

Multi file Dump Editor MDe

MDEV509N.LZH

柴崎 忠生

98
5-2
3.5-2

ファイルを読み込み、その内容をバイナリデータとして表示するプログラム。

表示されたデータは、同時に修正することも可能であり、16進データまたは文字データとして入力することでエディットが可能。操作方法はファンクションキーによるメニュー選択方式と、CTRLキーとアルファベットキーを使用した直接入力方式がサポートされており、初心者にも、上級者にも使いやすいつくりになっている。また、短縮キー(ESCキーと組み合わせて使用する)を登録することも可能であり、これは短縮キー定義ファイル(ファイル名:SHORTCUT.INF)に記述しておくので、ユーザーの好みに合わせて修正できる。さらに範囲を指定して逆アセンブルリストを生成することも可能となっており、このリストはファイルに出力される。出力される逆アセンブルリストはデータやラベルが詳細に表示され、読みやすいものとなっており、割り込み命令にコメントを付加することも可能である。

この付加されるコメントは、定義ファイル(ファイル名:MDEDIS.INF)内に記述してある情報を使用しているので、自分で拡張することもできる。

●バージョン:5.09n●動作条件:PC-9801●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB4

★ファイル/ディレクトリの移動&コピー

MV/CPY MVCY.LZH

T.Tanaka

MS-DOS
5-6
3.5-7

ファイル/ディレクトリの移動やコピーを行なう2つの小粋なツール。コピー元のファイル/ディレクトリを複数個、指定できるなど、MS-DOSの標準コマンドのCOPY/XCOPYコマンドと比べて、かゆいところに手が届く仕様となっている。

MVでは、ファイル/ディレクトリの移動を行なう。ディスク間にまたがったファイル/ディレクトリの移動が可能であり、同一ドライブ間の場合は、ディレクトリエントリを書き換えるだけなので、ファイルをコピーする必要がなく、高速に移動が行なわれる。このため、ディレクトリの名前を変更するという目的にも利用できる。

CPYでは、ファイルのコピーを行なう。サブディレクトリ以下のファイルも自動的にコピーされる。また、コピー元のファイルをメモリ上に一気に読み出して一気に書き出すので、コピーは高速である。オプション指定によって、1ドライブを使ったコピーも可能である。

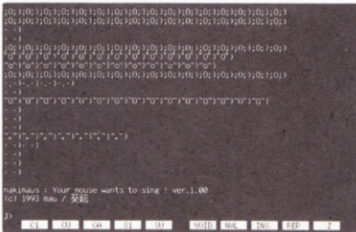
アーカイブファイルにはドキュメントが付属していないが、MV/CPYともに“-?”オプションをつけて実行すると簡単な英語で説明が表示される。

●バージョン:(MV)1.18/(CPY)1.13 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★マウスを操作して音楽を楽しむ

NAKIM AUS NM100A.LZH

mau (平野 正喜)/葵館

98
5-2
3.5-2

マウスを操作して音楽を楽しむジョークプログラム。本プログラムを起動するとPC-9801の内蔵スピーカから一定の音が流れ始め、以後マウスの動作にあわせて音が変化する。

基本となる音楽データは、femy氏作のbgm.lib対応の音楽/効果音データで、これらは起動時に指定することで変更ができる。演奏中にマウスの左右のボタンでテンポを変更できる。音の変化は、マウスの移動量により変化の度合が変わるが、マウスのカウント数の指定も可能なので手持ちのマウスにあわせることができる。マウスの移動にともない、音の変化だけでなく表示される顔データが10種類に変化して表示される。また自動演奏モードも用意されており、このときはマウスの移動に関係なく一定パターンの演奏を繰り返す。この場合はマウスの左右ボタンでテンポと演奏パターンを変更することができる。

マウスドライバは内蔵されているので、とくに用意する必要はない。慣れればマウスによって即興の音楽を奏でることができるようになるかもしれない。

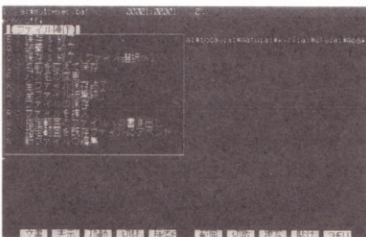
●バージョン:1.00 ●動作条件:PC-9801(要バスマウス)

●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAM/LIB7

★本格的なディスクメンテナンスを可能にする

NECO NECO242.LZH/NECOP242.LZH

SEIN



本格的なディスクメンテナンスを可能にする汎用ユーティリティ。

ディスク上のファイルを簡単に操作できるディレクトリモードの他、セクタやFATを直接編集するモードがある。FATはディスク全体を管理している重要な領域なので、慎重に編集する必要がある。誤操作によるファイルの削除や突然のディスク破壊などの場合、NECOを利用してFATやディレクトリエントリを編集して復旧できることがあるが、念のためバックアップディスクを作成してから操作するとよい。特に、TRACEモードやCHAINモードは、クラスタを直接解析する場合には便利である。また、クラスタごとのチェック機能を利用すれば、ディスクの読み取りエラーなどに対処できる。通常はディレクトリモードを利用するのが無難であり、このモードにも削除ファイルの自動復活機能が用意されている。画面にはディスク上のファイル一覧が表示され、削除ファイルの先頭文字は「?」となっている。主なファイル操作としては、「名前変更」「削除」「コピー」「属性やタイムスタンプの変更」「外部ページャによる内容表示」などがある。

●バージョン:2.42 ●動作条件:PC-9801(MS-DOS Ver.3.1以上), IBM PC (IBM 英語 DOS Ver.3.x以上)

●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB6

*NECO242.LZHはPC-9801用、NECOP242.LZHはIBM PC用です

98
5-2
3.5-2IBM
5-5
3.5-5

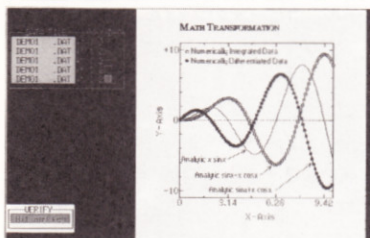
★複雑な2次元グラフを作図

Ngraph

NGRP531.LZH/ADDIN531.LZH/GRA2P532.LZH

98
5-3
3.5-3

石坂 智



メニュー形式の簡単操作で、複雑な2次元グラフが作図できる理工学用のグラフ作成ツール。

使用するデータには特殊なフォーマットは不要で、スペースやカンマでデータが区切られたテキストファイルを用意すればよい。データを画面にプロットするだけでなく、その結果を元にした解析作業に役立つ機能を数多く備えている。

データのプロットでは、スプライン曲線や最小二乗フィット法を使った近似が可能。また、指定した数式でデータを変換してからグラフにすることもできる。内部演算が倍精度で実行されるので、数値演算プロセッサを利用すると効果的である。

作成するグラフに対する各種の設定が可能で、複数のグラフを同じシート上に表示できる。矢印や注釈文を任意の位置に表示でき、制御文字を利用して上付・下付文字や異なる大きさの文字による装飾ができる。なお、グラフの印字には、プリンタドライバ (GRA2P532.LZH) の登録が必要。また、アドインプログラム (ADDIN531.LZH) を登録すれば、キーアサインの変更やマウスの利用などが可能となる。

●バージョン:5.31 ●動作条件:PC-9801 (MS-DOS Ver.3.1 以上) ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAP/LIB7

★フィルタタイプ文書整形プログラムの定番

ntf

NTF21FIX.LZH

PoorTom

MS-DOS
5-7
3.5-8

文書を整形するプログラムは大きく分けて2種類ある。

ひとつはお馴染みのワープロやエディタのように画面に表示された文書を目で確認しながらいちいち整形していくタイプ。もうひとつはテキストファイルに埋め込まれたコマンドで文書を整形するフィルタタイプである。

ntf は後者に属するテキスト整形ツールである。

派手な文字装飾などは使えないが、必要にして十分な機能はサポートされており、各機能を組み合わせてマクロ化することもできる。論文やレポートなど、大量の文書を一気に整形、出力するような処理ならワープロよりも使い勝手はいい。

ntf 自身はフィルタとしての機能しか持っていないため、文章の入力にはワープロやエディタを利用することになる。

一見使いにくそうだし、事実ある程度の慣れが必要だが、一度使いこなしてしまうと手放せなくなるソフトである。

●バージョン:2.1 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAP/LIB6

★各種マシン対応のテキスト印刷ソフト

PRT++

PRT546P.LZH/PRT546J.LZH/PRT546V.LZH/PRT546E.LZH/PRT546M.LZH

H.TOYO (豊嶋 久道)

98
5-3
3.5-3J31
5-3
3.5-3DOS/V
5-5
3.5-5IBM
5-5
3.5-5Manual
5-6
3.5-7

各種マシンで動作するテキスト印刷ソフト。対応しているプリンタは、PC-PR 系、PC-NM 系、ESC/P 系と互換性のあるもの。テキストファイルを読み込んで、各種プリンタ用に変換して出力できるほか、二段組印刷、縮小印刷、両面印刷、装飾印刷機能などが指定できる。ヘッダ/フッタの付加、禁則処理/ジャスティフィケーション/袋とじの指定などでもできる。また、装飾印刷ではテキストファイル内に装飾制御文字を指定することにより、横倍角、縦倍角、四倍角、アンダーライン、強調文字などワープロソフト並の印字が可能となる。オプションの指定などはメニュー形式になっており、カーソルキー、スペースキーなどで簡単に設定が可能となっている。出力内容は、プリンタだけでなく画面上に出力することも可能であり、プリンタ出力前に内容の確認も行なえる。また、実際にプリンタ出力されるページ数の確認なども簡単に行なえる。プリンタ設定などは自動的にファイルにセーブされ、次回起動時にはそれが読み込まれる。オンラインヘルプ機能も用意されているので、操作が判らなくなったら F1 キーを押せば良い。

●バージョン:5.46 ●動作条件:PC-9801、J-3100、DOS/V、IBMPc および互換機

●登録先 NIFTY-Serve:FGALSW/LIB6

* PRT546M.LZH は統一マニュアル。それ以外は順に対応機種専用版となっています

SHARE WARE

★アナログ4096色中の1色を背景色として表示

Resident BGPAL

RBGPAL.LZH

98
5-2
3.5-2

わかん (若林 泰志)

アナログ4096色中の1色を背景色として表示する常駐ソフト。

通常、98では黒をバックに白い文字が表示される。出荷時のディスプレイの設定は、店頭でも画面がくっきり見えるように、輝度やコントラストを必要以上に上げていることが多い。この設定のまま、長時間画面を眺めつづけていると目が疲れてしまう。

まずは、ディスプレイの輝度をできるだけ下げる。それでも、黒い背景に白い文字というのは元々コントラストが大きいので、(Resident BGPALを使って)背景色を設定して文字と背景とのコントラストを小さくする。これでかなり目の疲れが減るはずだ。

背景色としては、MIFESなどのようにブルーバックにするのもいいが、RGBの3色をまんべんなく使ったグレーバックの画面も見やすいので、個人的な好みで変えればよいだろう。

他のソフトによって背景色が消されてしまっても、SHIFT+GRPH+NFERキーで背景色が再表示され、画面右上の小さなウィンドウで背景色の設定を変更することができる。

●バージョン:1.28 ●動作条件:PC-9801(16色表示可能機種、ハイレ/可) ●登録先 アスキーネット:pool msdos

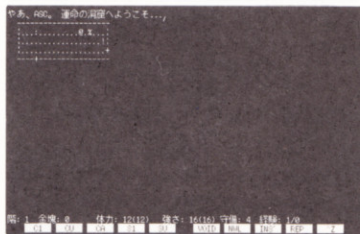
★UNIXで定評あるロールプレイングゲームのMS-DOS版

Rogue-clone II

JROG13AE.LZH/JROG13AS.LZH

MS-DOS
5-7
3.5-8

Tim Stoebr [原作]、太田 純 [移植]



日本語版ログ・クローン。

ログは、UNIXから発祥した歴史と由緒あるロールプレイングゲームである。地下迷宮の奥深くに存在するといわれるエンダーの魔除けを探し出し、それを地上まで持ち帰ることを目的とする。地下迷宮は各階ごとにいくつかの部屋とそれをつなぐ通路から構成されている。そこには、さまざまなモンスターが息息しており、モンスターと戦うことによって経験値を獲得して主人公を成長させなければいけない。また、部屋には食料や武器、鎧、魔法の巻物、薬、指輪、杖などが落ちており、これらを見つけたら、うまく活用することによりモンスターとの戦いを有利に進めていく。画面表示はキャラクタだけから構成されているため、最初は貧弱に感じられるが、ゲームに慣れるにつれて、臨場感溢れるものを感じられるようになるだろう。

なお、このログは、バークレイ版UNIXに含まれているログ5.3とほぼ同じ機能を持つクローンを日本語化したものである。わかりやすいドキュメントがついているので、初めての人でも安心して挑戦できるだろう。

●バージョン:J1.3a ●動作条件:MS-DOS ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAM/LIB5 junet:fj.sources, fj.binaries.msos

* JROG13AE.LZHは本体、JROG13AS.LZHはソースファイルです

★常駐プログラムの解除/組込みを簡単に行なう

rpm

RPM132.LZH

MS-DOS
5-6
3.5-7

jam (松田 理)

常駐プログラム(TSR)は、プログラムを起動すると同時にシステムに常駐し、さまざまな効果を及ぼすプログラムで非常に便利である半面、その性質上システムに常駐する順序や常駐を解除する順序に気をつけねばならない。

とくに、いくつもの常駐プログラムを常駐させた状態で、ひとつのプログラムを常駐解除したいときなどは、そのプログラム以降に常駐させたプログラム全部の常駐解除を行ない、該当プログラムの常駐を解除した後でまた常駐させてやらねばならない。

rpmは、これらの作業を簡単に行なえるようにするもので、ルールファイル内に常駐プログラムの名称とその常駐/解除方法を記述しておくことで、登録した常駐プログラムの名前を指定するだけで常駐/常駐解除作業を自動的にこなすものである。rpmを介してプログラムを常駐させた場合、その順番をrpmが記憶しているため、途中のプログラムだけを解除したい場合には、rpmが記憶している順序ののちとって、自動的に処理してくれる。また、常駐/常駐解除プログラム名の指定も、テキストファイルを使用してできる。

●バージョン:1.32 ●動作条件:MS-DOS(Ver.3.1以上) ●登録先 PC-VAN:PIG/フォーラム3 アスキーネット:pool msdos

★ JIS コード間の違いを統一するように入力文字を変換

rRegular

RREG110.LZH

Yamashin (山本 慎一)

MS-DOS
5-7
3.5-8

入力された文字を一定の規則によって正規化する常駐プログラム。

空白、英数字、記号、カナなど、JIS コード上には2種類以上の定義が行なわれているコードが存在するが、これらのコードを1種類に統一するように入力文字を変換する。

具体的には、(1) 2 バイトの英字→1 バイトの英字、(2) 2 バイトの¥→1 バイトの¥、(3) 2 バイトの空白→1 バイトの1 つあるいは2 つの空白、(4) 2 バイトの記号→1 バイトの記号、(5) 1 バイトのカナ→2 バイトのカタカナまたはひらがな、(6) 2 バイトの「"」→1 バイトの「"」または「"」があり、これらはオプション指定によって、別個に「変換をする/しない」を指定できる。また、ユーザーが定義した文字を変換させるようにすることも可能である。この場合は、rregular.com 自体を書き換える必要があるが、このために jperl で書かれたスクリプトファイルが付属している。

実際の変換は文字が CON デバイスを通過するときに行なわれるので、BIOS でキーを獲得するようなアプリケーションでは、rRegular は無効となる。

●バージョン:1.10 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★ 子プロセスのフリーメモリを拡大させる

RSWAP (Resident SWAP)

RSWAP119.LZH

k.mitobe

MS-DOS
5-7
3.5-8

子プロセス起動時に自動的に親プロセスを拡張メモリやディスクへ一時的に退避 (スワップ) させることによって、子プロセスのフリーメモリを拡大させる常駐プログラム。

親プロセスの退避先には、EMS メモリ、EMB (XMS) メモリ、ディスクが利用でき、EMB → EMS の順に拡張メモリが使われていく。拡張メモリがない、あるいは使い切った場合は、ディスクに退避するようにオプションで指定ができる。

また、一部に RSWAP と相性が悪く、スワップさせると正常に動作しないプログラムがいくつか存在するが、そのようなプログラムは RSWAP.CNF というテキストファイルで定義することによって、スワップの対象からはずすことができる。

多くのワープロソフトや表計算ソフトには、アプリケーションを終了させずに MS-DOS の command.com (子プロセス) を起動する機能があるものの、親プロセスの常駐領域が大きすぎてフリーエリアが少なく、子プロセスで起動できるプログラムがほとんどないということが多々ある。そのようなときに、この RSWAP を利用すると便利である。

●バージョン:1.19 [EMB] ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★ 高速 RAM ディスクドライバ

RZ3

RZ304.LZH

Hayami (速水 祐)

98
5-2
3.5-2

ほとんどあらゆる種類のメモリに対応した高速な RAM ディスクドライバ。

リセットしても内容が消えないウォームブートや、RAM ディスクのドライブ名を固定する機能、RZ3 自体の複数組み込み、関連ツール RZC による組みこみ後の容量変更、アクセスランプの画面表示など、「ツボ」を押さえた作りになっている。動作も高速で、RAM ディスクドライバにありがちな、高速通信時の文字落ちも見られない。

対応しているメモリは、EMS メモリ (仮想 EMS を含む)、バンクメモリ (IO データ方式)、プロテクトメモリ、メインメモリ、グラフィックメモリ、裏メモリの6種類。これらを組み合わせて利用することができる。

実際には、386 マシンの場合は主にメモリマネージャの仮想 EMS による EMS メモリを利用することになるだろう。

286 マシンではハードウェア EMS による EMS メモリか、IO データ方式の RAM ボードによるバンクメモリが主体となる。

●バージョン:3.04 ●動作条件:PC-9801 (VM 以降) ●登録先 ZOB Station BBS * ZOB Station BBS ●回線番号:0466-42-1066 ●入会方法:オンラインサインアップ (ゲスト利用:guest<パスワード無し>) ●料金:無料

★画面イメージを手軽にプリント出力

SCP SCP120.LZH

Hipo

98
5-1
3.5-1

テキストとグラフィックを合成してプリンタに出力（ハードコピー）する常駐ソフト。

SCP をメモリに常駐させ、ホットキー (SHIFT+COPY など) を押すと、モード選択画面が表示される。この画面で枠印刷やドット比率などの設定を行ない、リターンキーを押せばプリンタに出力が開始される。ホットキーの設定はオプションで変更可能だ。

ところで、通常のモノクロプリンタに対してテキストとグラフィックをそのままハードコピーすると、出力結果は真っ黒になってしまう。

そこで、モード選択画面でグラフィックやテキストの反転部分については輪郭だけを出力するよう設定することができる。

また、グラフィック画面は出力しないように設定することも可能だ。

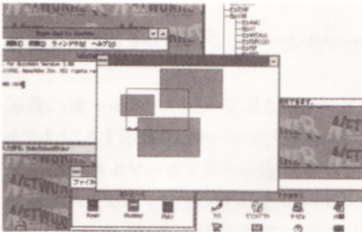
対応しているプリンタコードは、「ESC/P」「PC-PR」「NM」「ESC/Page」の4種類。既定値はESC/Pなので、PC-PR系のプリンタを使っている場合はオプションで指定する必要がある。

●バージョン:1.20 ●動作条件:PC-9801 (VM以降) ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★Windowsの画面が広がったかのように見せる

Scroller/nTaskMan SCRL021.LZH

なるい

Windows
5-8
3.5-10

Scroller は、ディスプレイの解像度を変えずに、あたかも Windows の画面が広がったかのように見せてくれるユーティリティ。起動すると画面が縦横 3 倍 (= 9 倍) に拡大され、実際のディスプレイにはその一部分が表示されるようになる。表示させる位置を変更するのは非常に簡単で、マウスカーソルをディスプレイの端へ持っていくだけでよい。するとその方向に画面がスルスルとスクロールしていく。また、Scroller 自身のウィンドウには、仮想画面中のすべてのウィンドウが縮図となって表示されており、現在の表示場所は黒い枠線で描かれている。画面を移動するには、この黒い枠線を直接ドラッグしてもよい。

「オプション設定」では、アイコンをスクロールさせずに常に同じ場所に表示させたり、Scroller 自身のウィンドウをいつもトップに表示させたり、スクロール時の移動ドット数の変更などができる。また、SHIFT キーあるいは CTRL キーを押している間だけ、表示領域を移動させるようにすることもできる。

なお、配布ファイルには、nTaskMan というタスクマネージャが付いてくる。Windows の標準の TASKMAN と比較して、起動すると実行中のプロセスの名前だけでなく、そのアイコンも表示してくれるので、より視覚的でわかりやすい。TASKMAN を nTaskMan に置き換えて使うと便利だろう。

●バージョン:2.1 ●動作条件:Windows ●登録先 NIFTY-Serve:FWINF/LIB5

★データ処理用簡易プログラム

sed SEDEXE.LZH

GNU [原作]、serow (田中 良知) [移植]

MS-DOS
5-7
3.5-8

sed とは、もともとは UNIX 上のコマンドで、入力データを指定された動作コマンドにしたがって編集して出力するプログラム。

このプログラムは、GNU で開発されたものを serow 氏が MS-DOS、Shift-JIS で動作できるように移植されたもの。

sed の動作を指定するコマンドは、プログラム起動時にオプションで指定することもできるが、通常はそれらをテキストファイルに記述しておき、そのファイル名を指定することで、コマンド群を実行する。用意されているコマンドには、置換/削除/格納/交換など入力したデータに対するものと、条件分岐やデータ入出力など実行に関するものに分けられる。また、出現パターンの指定には正規表現と呼ばれる、MS-DOS のワイルドカードに似た機能を指定することができる。正規表現の規則には、特定文字や文字列の指定、任意文字の指定、文字範囲の指定、それらの繰り返しの指定、先頭/末尾の指定、それらの組み合わせ指定が可能で、特殊な記述方法でさまざまな出現パターンを指定することができる。正規表現の学習に使うのも良いかもしれない。

●バージョン ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAP/LIB7

★ハードディスクの起動メニューをスキップ

SELAS

SELAS140.LZH

98

5-2

3.5-2

BON (坂田 治彦)

PC-9801シリーズでメモリスイッチの設定で起動装置を「標準」に設定している場合、ハードディスクを拡張フォーマットしていると、ハードディスクからの立ち上げ時に毎回ハードディスク起動メニューが表示され、起動するディスクを選択しなければならない。

このプログラムは、ハードディスクの起動プログラム領域を直接書き換えて、そのハードディスク起動メニューを自動的にスキップさせてしまうものである。ハードディスクはSASI、SCSIの両タイプに対応しており、キー入力待ち時間やキー操作を指定することができるので複数のハードディスクを接続している場合にも有効である。また、オリジナルのデータに書き換えることもできる。

ただし、このプログラムはその性質上、ハードディスク起動メニュー、MS-DOS、FORMAT.EXEのバージョンに強く依存しており、現在対応しているのは、MS-DOS 3.3B (FORMAT Ver.4.40、起動メニュー Ver.2.00)、MS-DOS 3.3C (同 Ver.4.60、Ver.2.10)、MS-DOS 3.3D (同 Ver.4.60、Ver.2.20)、MS-DOS 5.0 (同 Ver.5.00、Ver.2.20) のバージョンだけであることに注意が必要。

●バージョン1.4 ●動作条件:PC-9801

●登録先 NIFTY-Serve:FNEC98/LIB2 アスキーネット:pool msdos PC-VAN:NEC98/OSL3

★シンプルな画面の98用ファイラー

SeIDC

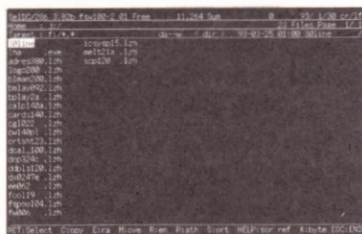
SELDC382.LZH

98

5-2

3.5-2

cr/lf (沖田 雅一)



シンプルな画面の PC-9801用ファイラープログラム。

起動すると指定したディレクトリやファイルの一覧を表示し、カーソルキーなどでファイルを選択して動作を指定することができる。

基本的な機能として、ファイルの複写/移動/削除/閲覧などが用意されている。ファイル一覧の表示の際には、タイムスタンプやサイズなどの詳細を表示したり、ファイル名などでソートして表示することもできる。ファイルの複写/移動などで移動先を指定する場合に、ディレクトリを表示させてカーソルキーで指定することができるようになっている。ファイルの複写/移動/削除/ファイル名変更などはプログラム内部で処理するが、閲覧機能は外部プログラムを呼び出すことで実現しており、環境変数で登録しておくことにより2種類のビューアが登録できる。デフォルトでは less.exe が起動されるが、2種類のビューアを用途によって使い分けることもでき、自分の使い慣れたものを登録しておくとうまいだろう。また、選択したファイルに対してコマンドを指定することができるので、基本機能として用意されていないものは外部プログラムで処理することができる。

●バージョン3.82b ●動作条件:PC-9801(ハイレゾ機を除く) ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★DOS/Vの日本語/英語モードとビデオモードの自動切り替え

setev(Auto CHEV & VMODE)

SETEV43.LZH

DOS/V

5-5

3.5-5

ない

起動するプログラムに応じて、DOS/Vの日本語/英語モードとビデオモードを自動的に切り替える常駐プログラム。DOS/Vでは、日本語モード↔英語モードと、標準VGA画面↔V-Text画面の切り替えによって、さまざまなMS-DOSの環境でアプリケーションを使うことができるが、アプリケーションによっては英語モードでしか使えなかったり、標準VGAでしか使えないものがある。こういう場合に、いちいちコマンドをタイプして動作モードを変更するのは大変面倒である。

setevを常駐させ、コンフィグレーションファイルに記述したアプリケーションを実行すると、定義した日英モードと画面モードに自動的に変更してから起動されるようになる。そして、アプリケーション終了後は、もとのモードに戻してくれる。また、プログラム名の指定にワイルドカード「*」を使うことができ、例えば、「C:\¥QEMMY¥ US 3」と指定すると、ディレクトリC:\¥QEMMYにあるプログラムはすべて英語モードで実行されるようになる(「*」を使った場合は、フルパス名による前方一致でファイル名がチェックされる)。

海外製のソフトウェアやV-Textの対応・未対応のソフトウェアを混在して使う人には、必携のソフトウェアである。

●バージョン4.3 ●動作条件:DOS/V ●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB8、FIBMPRO/LIB1

★シリアルポート/イベントタイマの機種依存を無くす

SIAM

SIAMSET1.LZH/SIAM14.LZH

98
5-8
3.5-8IBM
5-8
3.5-8

ESD (エンゲル係数向上委員会ソフトウェア分科会)/びん、Matchy、Horiyan、itojun、Santa、Ina、serow

本来ハードの差異により機種に依存するシリアルポート (RS-232C) とイベントタイマ部分に対して、あらかじめインターフェイスを規定したドライバ部分を機種別に用意することで機種依存性をなくすことを目的としたプロジェクト。現在の配布セットには、ドライバ部分として PC-9801シリーズ用と IBM PC/AT 用だけが同封されているが、ソースおよびインターフェイスが公開されているため、他機種に移植することも可能となっており、ドライバ部分さえ移植すれば、その他のユーティリティプログラムはそのまま動作するはずである。

配布されているドライバプログラムはシリアルポートの制御と、イベントタイマの制御を行なう。これらのドライバはデバイスドライバの形ではなく TSR (常駐プログラム) の形で供給されるので、システムへの組み込み/取り外しが容易である。

同時に配布されているユーティリティを組み合わせることで、通信ソフトとしても使用することが可能となっている。

●バージョン:1.4 ●動作条件:PC-9801、IBM PC および互換機 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★入力データをソートして出力

sortf

SORTF07A.LZH

MS-DOS
5-8
3.5-9

mtoyo

入力データをソートして出力するプログラム。

MS-DOS 付属の単純な SORT コマンドと違い、オプションでデリミタ (区切り文字) を定義することによって、フィールドをキーとするソートができる。キーは複数個指定でき、キーを単なる文字コードではなくて数値とみなしたソートも可能となっている。また、同一内容の行が続かないように行を省いてしまう UNIQ コマンドの機能も持つ。その他に、桁位置を指定したソート、仮名の辞書順ソート、複数行にわたるパラグラフソートが可能となっている。sortf は、メモリが足りない場合はディスクをワークエリアとして使用するため、大きなファイルであってもディスクの容量がある限りソートができるようになっている。

非常に高機能であるために、初心者には使いこなすのが難しいが、わかりやすいチュートリアルとサンプルデータが付属している。

各種 OS に対応した C 言語によるソースファイルが付属し、ユーザー自身の書いたプログラムから利用可能なソート関数も提供されている。

●バージョン:0.7a ●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN:ORIENT/OSL2

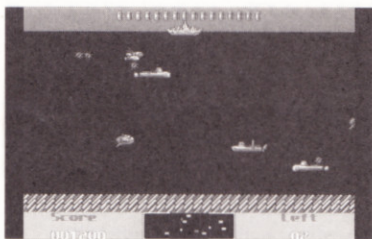
★海、空、宇宙を舞台にした戦艦シューティング

Super Depth

DEPTH100.LZH

98
5-3
3.5-3

Bio 100%/alty (森 栄樹)、tacox (二木 康夫)



爆雷、対空ミサイルを駆使して敵キャラクターを撃破し、最後のボスステージに到達するという、オーソドックスなアクションシューティングゲーム。ボスと対決するまでには海上対海中、海上対空中、宇宙空間と3つのステージをクリアしなければならず、プレイヤーが操る戦艦の動きも海上では左右、宇宙空間では上下左右と変化するようになっている。

もちろん特定のキャラクターを倒せばゲームを有利に進められるアイテムが出てくるという、シューティングゲームの基本もしっかり押さえられている。

同時に、こういうアイテムを取れば、その分敵の攻撃が激しくなるといった芸の細かさもそなえている。それぞれのステージをクリアするのはそれほど難しいようだが、高得点をあげるためには本格的なゲームなみの攻略法を考えなければならないかもしれない。

海面、空面、宇宙面、ボス面の4面のステージを3周 (つまり12面までクリア) すると全面クリアとなり、登場キャラが1つずつ紹介されるという感動のエンディングが待っている。ぜひ攻略してほしい!

●バージョン:1.00 ●動作条件:PC-9801 (VM 以降16色表示可能機種、MS-DOS Ver.3.3以降)

●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4 PC-VAN:NEC98/OSL5

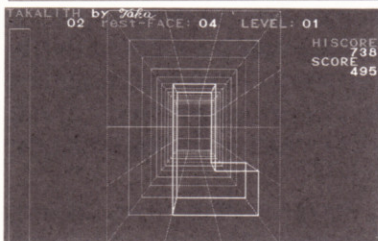
★3次元ブロックパズルゲーム

TAKALITH

TAKA400.LZH/WAKATAKALZH

98
5-3
3.5-3Windows
5-8
3.5-9

Taka [オリジナル]、さとお (佐藤 隆) [Windows 版]



ブロックを回転/移動させながら積み上げて消す3次元パズルゲーム。

ダンボール箱を真上から見た形のフィールドに、サイコロを組み合わせたような3次元のブロックを並べていく。落下中のブロックは枠線表示されるので、下のブロックの様子が透けて見えるようになっている。積み重ねたブロックは高さによって色分けされている。

平面をすべてブロックで埋めてしまえばその面のブロックが消え、それより上のブロックが一段下にずれる。まとめて2面以上消したり、フィールド中のブロックをすべて消すとボーナス点がもらえる。

設定された面数を消せばそのステージはクリア、逆にブロックがフィールドの最上部まで積まれるとゲームオーバーだ。ステージごとにフィールドの大きさや消さなければならない面数は異なっており、ブロックの形状も先に進むにしたがってより大きく、複雑になる。

Taka 氏によるオリジナルは98専用だが、さとお氏による Windows 版も収録してある。

●バージョン: (98版) 4.00/ (Windows 版) 2.01 ●動作条件: (98版) PC-9801 (VM以降)/ (Windows 版) Windows 3.0以降 ●登録先 (98版) NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4 (Windows 版) アスキーネット:pool windows

★起動時にタイトル画面を表示

TITLE

TITLE50.LZH/TITLE50G.LZH/TITLEPI.LZH

98
5-3
3.5-3

瑞紀 悠

起動時にタイトル画面を表示するデバイスドライバ兼ツール。

Macintosh や X68000 などのように、98の起動時にグラフィカルなタイトル画面を表示する。対応している画像フォーマットは、MAG形式とPI形式の2種類。画像ファイルの指定にワイルドカードを使えば、一致するファイルの中から毎回ランダムに選択される。

デバイスドライバとして CONFIG.SYS 中で実行すれば、MS-DOS の起動直後にタイトル画面を表示することができる。

また、コマンドラインから通常の実行ファイルとして起動することも可能。MAG/PI の画像ローダーとして使うこともできるが、実際には CONFIG.SYS 中の記述と組み合わせる使用が多い。

さらに、設定ファイル (TEG ファイル) にスクリプト (命令) を記述することにより、単に画像をロードして表示するだけでなく、各種動作スイッチの設定、画像のロード、フェードイン/フェードアウトなどの画像効果、テキスト出力などのさまざまな処理を行なうことができる。

●バージョン: 5.00 ●動作条件: PC-9801 (16色表示可能機種) ●登録先 PC-VAN: NEC98/OSL3

* TITLE50.LZH は本体、TITLE50G.LZH と TITLEPI.LZH はサンプル画像です

★起動時にその日に関するデータを表示

TODAY

TODAY29A.LZH

MS-DOS
5-8
3.5-9

森 佳史



コンピュータの内蔵時計から日付けを読み取り、その日に関するあらゆるデータを表示してくれるプログラム。MS-DOS の AUTOEXEC.BAT で起動するようにしておけば、これがそのままオープニングメッセージとなるシカケだ。

表示内容は太陽暦、太陰暦をはじめとして干支、九曜星など。データテーブルを用意しておけば、友人知人の誕生日といったパーソナルデータから雑誌の発刊日、歴史上の記念日まで、さまざまなデータに対応できる。各イベントを数日前から予告してくれる機能まであるため、簡単なスケジューラーとしても使えるだろう。

データテーブルは通常のテキストファイルなのでエディタやワープロがあれば簡単に作成できるが、付属しているサンプルが非常に凝っているのも、一度はインストールしてみることをお勧めしたい。

なお、カレンダー表示ソフト CALENDAR.EXE がおまけとして付属されており、単機能だがこれも便利だ。

●バージョン: 2.9 ●動作条件: MS-DOS (Ver.3.1以降) ●登録先 アスキーネット:pool msdos

*本書に収録されている TODAY.EXE は、差分ファイル TODAY29P.ISH により、Bug FIX & Version Up されたものです

★一度押した CTRL キーの状態を保持(DOS/V 用)

TOGGLE

TOGGLE.LZH

Baka-papa-ware/Hortense Endoh

DOS/V
5-5
3.5-5

SHIFT、CTRL、ALT などのシフトキー（シフト状態を保つキー）を一度押して離しても、そのシフト状態を保つようにする常駐プログラム。

TOGGLE が組み込まれていると、例えば ALT キーを押しながら X キーを押すという操作は、ALT キーを押して離して、次に X キーを押すという2ストロークで行なえるようになる。ただし、単純にシフト状態を保存するのではなく、例えばエディタの中で、CTRL キーを押しながら D キーを押してダイヤモンドカーソルの移動を行なうような場合、すなわち長時間シフトキーを押してからキーを離した場合は、そのシフト状態は解除される。

また、2回早くシフトキーをタイプすると、次回にそのキーを押すまで、そのシフト状態が継続する。

シフトキーのシフト状態は、デフォルトで画面の右下に標示される。オプション指定によって、標示の位置を変更したり、標示させなくすることが可能。また、CTRL キーと CAPS キーを入れ替えることもできる。

片手でおせんべいを食べながらキーボードをタイプしたいというものぐさな目的にも使えるが、手の不自由な人がコンピュータを扱いやすくするという高尚な一面も持っている。

●バージョン:2.0 ●動作条件:DOS/V ●登録先 アスキーネット:pool ibm NIFTY-Serve:FASCII/LIB3

★ファイルのタイムスタンプを変更

TOUCH

TOUCH101.LZH

Angie (水居 淨)

MS-DOS
5-7
3.5-8

ファイルのタイムスタンプを変更するプログラム。

指定したファイルのタイムスタンプを現在あるいは指定した日付/時間に変更する機能を持ち、もともとは UNIX の TOUCH コマンドを MS-DOS 上で実現したものである。

これまでも MS-DOS 上で動作するフリーの TOUCH コマンドがいくつか存在したが、この TOUCH では、サブディレクトリやボリュームラベルのタイムスタンプを更新することができ、また LHA や ARC、PKZIP などのアーカイブファイルのタイムスタンプをその中で格納されているファイルのタイムスタンプの中で最も新しいものに変更することができる。既存のファイルからタイムスタンプだけをコピーすることが可能、といった点で他の TOUCH コマンドと一線を画している。

変更の対象となるファイルは、ワイルドカードを使った複数個の指定が可能であり、オプションの指定によってサブディレクトリの配下のファイルを再帰的に処理することができる。その他にも、より細かい処理を指定する多数のオプションが用意されている。

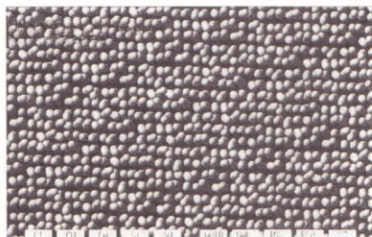
●バージョン:1.01 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos 日経 MIX:long3/7soft

★画面表示を「うねうね」させる

UNEUNE

UNE20.LZH

Y.Yamasaki(YAMATY) & NEZU

98
5-2
3.5-2

まさしく「うねうね」という動きをする物体が画面一面に表示される。

起動後しばらくするとメモリに常駐し、アプリケーションによってメモリ不足で起動できないものもあるので注意する。常駐を解除するには MS-DOS のコマンドレベルで「EXIT」と入力する。

起動時オプションとして、「物体の色を変える(C オプション)」「動きのスピードを変える(S オプション)」「太さ(半径)を変える(R オプション)」などがあり、これらを組み合わせて指定することで多様なバリエーションが実現できる。何かの役に立つというプログラムではないが、一度見たら、その異様な動きは眼にやきついてはなれないことだろう。

Ver.1.3より、ユーザーが物体の形を変更することが可能になった。「UNEUNE.DAT」というデータファイルに、物体のパターンを20×20のドットデータとして登録し、これを起動時のカレントディレクトリに置くことで物体の基本パターンを変えることができる。この際、ドットごとの輝度を16段階に指定することができるため、きわめて繊細な動きを表現することができる。

●バージョン:2.0 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★ 消去したファイルの復活

unrm UNRM132.LZH

Micky (中尾 幹彦)

MS-DOS
5-7
3.5-9

間違えて消してしまった MS-DOS のファイルを自動的に復活させたり、対話式に手動で復活させることができるプログラム。うっかりミスなどで必要なファイルを消去して泣いたことがある方には必携のプログラム。

MS-DOS ではファイルを管理する場合、管理情報としてファイル名とともに、ディスクのどの位置に先頭のデータが格納されているかの情報と、その後のデータの繋がり方を記憶して管理している。ファイルを削除した場合には管理領域の一部とデータの繋がり方の部分を書き換えて、それ以後見えなくしてしまう方法がとられているため、消去してしまったファイルの実体はディスク内に残されている。また管理情報部分も、その一部が残されているため、削除した直後の状態であれば、それらの情報を基にしてファイルを復活させることが可能である。unrm では、ディスクの一管理領域よりも小さいファイルであれば確実に、またそれ以上のファイルであっても、オプション指定などで復活させることができる。ただし、万能ではないのでご注意ください。

●バージョン:1.32 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 PC-VAN:NEC98/OSL3 アスキーネット:pool msdos

★ ZIP 形式のアーカイブファイルからファイルを展開

UnZip UNZ50P1.EXE *実行形式の UNZIP.EXE は、ZIP 形式でアーカイブされたファイルがあるすべてのディスクに収録されています

Samuel H.Smith [原作]、Info-Zip [管理]

MS-DOS
5-6
3.5-6

ZIP 形式のアーカイブファイルからファイルを展開するプログラム。

海外製のフリーソフトウェアでは、アーカイブファイルの名前に、ZIP の拡張子がついたものが多い。これは、PKware 社の PKZIP というアーカイブでアーカイブされていることを意味する。一般にこのファイルを展開するには同社の PKUNZIP というプログラムを使わなければならないが、困ったことに PKZIP/PKUNZIP はシェアウェアであるために、継続して使用するにはドネーションを送らなければならない。ことに PKware 社は米国にあるために、日本にいる人はドネーションを払う気があっても送金が面倒である。

そこで PKUNZIP を使わずに、ZIP ファイルを展開できるようにするのが、UnZip である。UnZip はフリーソフトウェアであるので、ドネーションは不要である。UnZip は、本来は UNIX 版として登場し、多くの作者の手を経て、MS-DOS をはじめとするさまざまな OS に移植されている。展開するファイルの名前として正規表現が使えるところに、UNIX の文化を感じさせる。

●バージョン:5.0p1 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 NIFTY-Serve:FIBMPRO/LIB1

*なお、UnZip のソースコードは NIFTY-Serve では FGALBT/LIBX に、アスキーネットでは POOL UNIX に登録されている。

Info-Zip への問い合わせは Internet で zip-bugs%wkvx1.bitnet@ukcc.uky.edu まで

★ コンピュータウイルスの発見/除去/防御

VIRUSCAN/CLEAN-UP他 SCANV100.ZIP/CLEAN100.ZIP/VSHLD100.ZIP/EASYMANU.LZH/R12.LZH

McAfee Associates [VIRUSCAN/CLEAN-UP/VSHIELD]、(株)リンク [R12]

98 5-5 3.5-4&5	&	IBM 5-5 3.5-4&5	Manual 5-5 3.5-4&11
----------------------	---	-----------------------	---------------------------

コンピュータウイルスの発見/除去/防御プログラム。VIRUSCAN が感染の検査を、CLEAN-UP がウイルスの除去を、VSHIELD が防御を担当する。IBM PC で発見された多くのウイルスに対応しており、定期的にバージョンアップされているため、ほとんどのウイルスに効果を現わす。基本的には VIRUSCAN でウイルスへの感染が確認されたら、CLEAN-UP で処置を施すことになるが、VIRUSCAN で発見された場合には該当ファイルを消去した後、オリジナルファイルから復旧する方が安全だろう。

なお、EASYMANU.LZH は日本コンピュータ・ウィルス協会 (JCVA) による、これらのプログラムの日本語簡易マニュアルである。

また、これらのプログラムは基本的には IBM PC 用であるが、R12.LZH に同封されている R12.COM を使用することで PC-9801 で VIRUSCAN、CLEAN-UP を使用することができるようになる。

なお、このプログラツは個人用であり、会社・団体・教育機関では評価用サンプルとしての使用は認められるが、実際の使用には必ずサイトライセンスが必要になる。

●バージョン:(VIRUSCAN)9.11V100/(CLEAN-UP)9.11V100/(VSHIELD)5.2V100 ●動作条件:IBM PC/AT および互換機、一部 PC-9801 (R12.COM が必要) ●登録先 NIFTY-Serve:FGALSV/LIB4 PC-VAN:CSEC JCVA-NET

SHARE WARE

■連絡先

株式会社リンク内 日本コンピュータ・ウィルス協会 (JCVA)
〒141 東京都品川区西五反田8-8-14
ローズベイ五反田ビル10F
TEL:03-3493-4060 FAX:03-3493-5188
BBS: 03-3493-9739 (SYSOP-ID:JCVA0001/
GUEST-ID:GUEST)

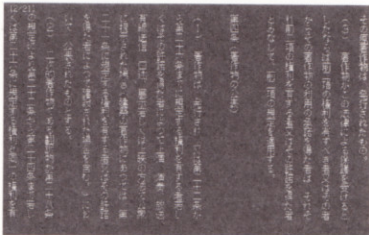
JCVA は日本国内の代理店。使用規定、ユーザー登録は EASYMANU.LZH を参照のこと。

★テキストファイルの内容を画面で縦書き表示

VTP98

VTP98553.COM

深井 美晴

98
5-3
3.5-3

指定したテキストファイルの内容を、画面で縦書き表示にするプログラム。

文字が表示されていく方向を変えるだけではなく、かっこや句読点などは個々に90度回転して表示され、促音や拗音などは適当に右寄せして表示されるため、より自然な縦書き表示になる。エディタの子プロセスとして起動すれば、ワンタッチで縦書きのイメージを確認できる。起動時にユーザー定義文字を外字エリアに自動登録し、外字エリア上の既存データは自動的に退避され、終了時には元の状態に復旧される。また、画面に忠実なハードコピーをとるために、プリンタへの外字登録機能も備わっている。1行の表示文字数や1ページの表示行数を指定することが可能で、決められた書式による画面表示をページ単位でハードコピーできる。

この他に、「アラビア数字→漢数字」や「半角の ANK 文字→全角文字」といった変換機能が起動時オプションで指定できる。背景に原稿用紙の升目を表示するオプションを指定すれば、縦書き原稿用紙の趣が感じられる(ただし、升目をハードコピーすることはできない)。文字表示にあたっては、禁則処理まで行なわれる。

●バージョン:5.53 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALBT/LIB5

★ MS-DOS の文字表示速度のスピードアップ

VTZ

VTZ105B.LZH

Hayami (遠水 祐)

98
5-2
3.5-2

MS-DOS のコンソール出力速度、つまり文字を表示する速度を上げるための常駐型プログラム。巨大なテキストファイルの表示には絶大な威力を発揮する。本来 MS-DOS が担当している文字出力を横取りし、より高速に表示するように処理しているわけだが、なぜかマシンそのものが速くなったように思えてしまうという不思議なソフトである。

標準的なモード以外にも MS-DOS の文字表示機能をすべてサポートしたコンパチブルモードや、処理を簡略化してさらに高速化するターボモードが用意されている。エスケープシーケンスを利用して表示色を変更するのももちろん、myfont のようなフォント変更ユーティリティ用のフォントファイルを読み込んで表示したり、新しく JIS で定義された漢字を表示するといったことも可能。表示させる文字は文字変換定義ファイルで細かく設定することができる。

●バージョン:1.05 ●動作条件:PC-9801 ●登録先:ZOB Station BBS

* ZOB Station BBS ●回線番号:0466-42-1066 ●入会方法:オンラインサインアップ (ゲスト利用:guest<パスワード無し>)

●料金:無料

★ MS-DOS の標準入力ヘデータを出力

WCD (Word Cutter Daemon)

WCD200E.LZH

くわじ

MS-DOS
5-7
3.5-7

MS-DOS の標準入力ヘデータを出力するようにするデバイスドライバ。

WCD.SYS を組み込むと「\$\$WCD」というデバイスが利用できるようになり、例えば、コマンドラインから、このデバイスに対して「ECHO dir > \$\$WCD」のようにデータを書き込むと、次の瞬間にはあたかもキーボードから「dir」と打ち込んだかのように、入力・実行が行なわれる。また、エディタの中から、この\$\$WCD にファイルをセーブすると、まったく同じ内容のデータがエディタに入力される。このように、\$\$WCD に書き込んだデータは、MS-DOS の標準入力へと出力されるようになるわけである。

組み込み時のオプションで WCD.SYS に書き込み可能なバッファの大きさを指定できる。また他の常駐プログラムなどから、WCD.SYS にデータを書き込めるようにする API が提供されている。WCD.SYS は単体でも十分に便利であるが、WCD.SYS の API を利用して、他のアプリケーションを使っている最中にホットキーによって起動して、なにかの有用なデータを元のアプリケーションへ出力するといった、フリーソフトウェアがいくつか存在している。

●バージョン:2.00e ●動作条件:MS-DOS

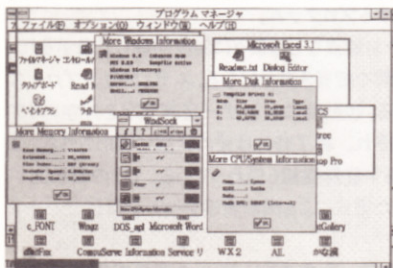
●登録先 NIFTY-Serve:FGALST/LIB8 コヒ・ネット:LIB2 Banana-NET:LIB19

★ Windows のベンチマーク・プログラム

WindSock

WSK310.ZIP

Cris Hewitt

Windows
5-9
3.5-10

Windows のベンチマーク・プログラム。

Windows の API 呼び出しを行なって、CPU、ビデオ、ディスク、メモリ、総合の各性能を測定して表示する。結果は、数値とともに、Poor、OK、Good、Great、Superb の評価が表示される。ここを見ることによって、自分のマシンが速いか遅いかの目安がわかるだろう。

CPU 性能については、オリジナルの評価方法以外に、オプションでインテルが提唱する iCOMP という評価基準で測定・表示できる。iCOMP は 486SX/25MHz の処理速度を 100 と評価するものである。

当然、ベンチ結果はファイルに保存することができる。また、オプション・ボタンをクリックすることによって、起動時に全テストを実行するようにしたり、常にウィンドウをトップに浮かび上がるようにしたり、モノクロディスプレイで結果が見やすいように数値を白黒で表示させる、といった設定が可能である。

WindSock は、アスキーから発行されている「ウィンズマガジン」をはじめとして、多くのパソコン雑誌で Windows のベンチマークテストの際に利用されているので、Windows を使っている人はインストールしておいても損はないだろう。

●バージョン:3.1 ●動作条件:Windows (Ver.3.0以上) ●登録先 CompuServe:WINADV

★ ファイラー機能付きテキストファイル高速ビューア

wlook

WLOOK113.LZH

metys (竹越 毅)

98
5-3
3.5-3

ファイラー機能を有したテキストファイル高速ビューアプログラム。ページャとしては、両方向検索/再検索、文頭/文末/指定行ジャンプなどの基本機能を備え、スムーズスクロール機能（速度は5段階に変更可）も備えている。

また、画面表示行数を25行モードと38行モードに切り替えることが可能で、38行モードの場合には通常の半分のサイズのフォントを使って一度に大量の行数を表示させることが可能となっている。また、最大10ファイルを同時にオープンすることができる。

プログラム起動時、ファイル名にワイルドカードが指定された場合などにはファイラーメニューが表示される。この画面では、カーソルキーなどを使用して選択したファイルに対して閲覧/コピー/移動/実行などの操作を指示したり、ディレクトリを変更したりすることができる。実行に関しては、ファイルの拡張子に応じて動作させるコマンドを指示することが可能であり、これらは定義ファイルで変更することも可能である。また、アーカイブファイル (LZH) 内のファイルを直接実行したり、アーカイブファイル内の特定のファイルだけをコピーしたりすることもできる。

●バージョン:1.13 ●動作条件:PC-9801 (VM 以降、16色表示可能機種) ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★ ランダムなタイミングで文字列を画面に表示

wonderful backers/WBSS

WB114NW.LZH/WBSS100.LZH

mau (平野 正喜)/英館 [wonderful backers], guri (持田 直穂)/英館 [WBSS]

98
5-7
3.5-9MS-DOS
5-7
3.5-9

wonderful backers (WB) は、ランダムなタイミングで文字列を画面に表示するプログラムで、スクリーンセーバーの代りにも使用できる。画面表示のタイミングはオプション指定で変更することが可能。表示メッセージはファイルに設定しておくことができ、そのファイルを指定することで表示メッセージを変更することができる。メッセージデータはテキスト形式なので通常のエディタなどで簡単に作成することができる。配布されているアーカイブファイル内には23種類のデータファイルが同封されており、どれも秀逸でできと言える。

WBSS は、WB 用のメッセージファイルをランダムに起動するもので、メッセージファイルがあるディレクトリを指定するか、テキストファイル内に使用したい WB 用のメッセージファイルを記述して、そのファイル名を指定するだけでよい。

とりえず一度実際に動作させてみることをお勧めする。このプログラムの楽しさは動作させてみないとには味わえないだろう。

●バージョン:(WB)1.14/(WBSS)1.00 ●動作条件:PC-9801、MS-DOS (ANSI エスケープシーケンスが使用可能なマシン)

●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAM/LIB7

★イモムシが画面の文字を食い荒らす

WORRRRRM

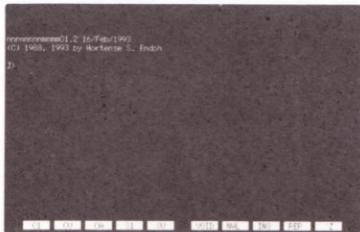
WORRRRRM.LZH

Baka-papa-ware/Hortense Endoh

98

5-3

3.5-3



イモムシが文字を食い荒らす常駐型のスクリーンセーバー。

ファンクションキー表示のように、画面の同じ場所に同じ文字が長時間表示されていると、CRTの性質上その文字が焼き付いてしまうことがある。これを防ぐのがスクリーンセーバー(CRTシャッター、スクリーンシャッターなどと呼ばれる)で、一定時間キー入力や、画面出力がなかったときに、自動的に現在の画面表示を一時停止するというものだ。

表示を停止しているときには、画面は真っ黒でもいいわけだが、それではつまらないので、いろいろな動きのある(焼き付かないような)画面を表示するスクリーンセーバーが作られている。

WORRRRRMでは、1分間キー入力などがないと、画面左上からイモムシが登場して、画面上の文字を食べていき、適当なところでメッセージを吐きだす。動作するまでの時間やメッセージの内容は、オプションで指定することができる。

イモムシのパターンをファイルから読みこむことも可能で、さまざまなパターンファイルが入っている。何かキーを押すか、画面に文字が表示されると元の画面に戻る。

●バージョン:1.2p ●動作条件:PC-9801 ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★プロテクトメモリを統合的に管理

XMZ (XMs driver Zobplus)

XMZ102.LZH

Hayami (速水 祐)

98

5-3

3.5-3

プロテクトメモリを統合的に管理するXMSドライバ。

XMZには次のような特徴がある。

- (1) MS-DOS Ver.5.0付属のXMSドライバであるHIMEM.SYSに対して上位互換
- (2) i386、486専用版(XMZ.SYS)と80286専用版(XMZ286.SYS)に分かれている
- (3) EMM386.EXEとの整合性が確保されている
- (4) ソースファイルが付属しているためXMS対応アプリケーションを開発する際に理解の助けになる
- (5) 拡張ファンクションを提供

なお、XMZを組み込んである場合は、同作者によるZMAPを実行したときに、より詳細なメモリの使用状況が表示されるようになる。

●バージョン:1.02 ●動作条件:PC-9801(ハイレゾ可) ●登録先 ZOB station BBS アスキーネット:pool msdos

* ZOB Station BBSは、旧アスキーネットPCSの魅力を引き継ぐことを目標とし、プログラム技術向上のための情報交換の場として運営されています。●回線番号:0466-42-1066 ●入会方法:オンラインサインアップ(ゲスト利用:guest<パスワード無し>)

●料金:無料

★ファイルから読み込んだテキストを正規化して出力

yar

YAR_V10.LZH

AssistantIO

MS-DOS

5-8

3.5-9

ファイル(または標準入力)から読み込んだテキストを正規化して出力するフィルタ。

日本語MS-DOSで使われている文字コードでは、英数記号やカナが1バイトコードと2バイトコードの両方に割りふられている。

これらがファイル中に混在していると、文字列の検索などを行なう際に不都合が生じる。そこで、yarを使ってこうした文字をどちらかに統一してから検索などを行なうわけだ。具体的には、英数記号は1バイトコードに、カナ文字は2バイトコードに変換する。出力は標準出力に対して行なわれるので、ファイルに保存する場合にはリダイレクト(>)を利用する。

同種のフィルタとしてregular(八丁堀氏作)があるが、YARの特徴は整形された文書のフォーマットをできるかぎり保存すること。

例えば、罫線で囲まれた部分の文字が変換されても、適当な位置に空白を挿入することによって罫線が崩れないようになっている。

このほか、キー入力時に正規化を行なうrRegular(Yamashin氏作)もある。

●バージョン:1.00 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★ MS-DOS の XCOPY コマンドをパワーアップさせた多機能 COPY コマンド

ZCOPY ZCOPY.LZH

c.mos

MS-DOS
5-7
3.5-7

ZCOPY は、MS-DOS の XCOPY コマンドをパワーアップさせた多機能 COPY コマンドだ。まず、コピー元としてディレクトリや「*.exe」などのファイルマスク（排他指定可）を複数個指定できる。また、ディレクトリを一括コピーするときに、ディレクトリ位置を保存したり、ディレクトリのタイムスタンプをオリジナルのものと一致させることができる。さらに複数のディレクトリ中のファイルを 1 か所にコピーすることも可能だ。

面白い機能としては、送り先よりも送り元のファイルのサイズが大きい場合にファイルの末尾を比較して、一致した場合には追加された部分だけをコピーさせることができる。たとえばサイズが大きく、後ろに追加されていくだけのパソコン通信のログファイルをバックアップするときに便利である。

その他にコピー機能を離れて、ディレクトリ／ファイルの一括移動・一括削除ができたり、送り元と送り先のファイルの内容を比較することもできる。また、独自の「マルチ・ライトオープン方式」によって高速コピーを実現しているのが特徴。

作者はあの V_Z エディタの c.mos 氏だけあって、多彩な機能の割に、プログラムサイズは非常にコンパクトである。

●バージョン:1.07●動作条件:MS-DOS ●登録先 日経 MIX:v.c./lib アスキーネット:pool msdos

★ MS-DOS のメモリの管理状況を表示

ZMAP (Zobplus memory MAP) ZMAP104.LZH

Hayami (速水 祐)

MS-DOS
5-7
3.5-8

```

009:0000 0016 buffers: 0 [0x1]
010:0000 2106 (linker)0x0: Z
011:0000 5040 (link)
012:0000 22 29 24 2E
013:0000 0000 (shell)0x0:
014:0000 4000 (link)
015:0000 15 f8 65 10
016:0000 0000 (link)
017:0000 00 00 10
018:0000 2106 7000 (system)
019:0000 720 (character-device)
020:0000 770 (character-device)
021:0000 1400 (character-device)
022:0000 2000 (character-device)
023:0000 1400 (character-device)
024:0000 512 0x0
025:0000 512 0x0
----- LSP Memory area -----
026:0000 0000 (link)
027:0000 0000 (link)
028:0000 0000 (link)
029:0000 0000 (link)
030:0000 0000 (link)
031:0000 0000 (link)
032:0000 0000 (link)
033:0000 0000 (link)
034:0000 0000 (link)
035:0000 0000 (link)
036:0000 0000 (link)
037:0000 0000 (link)
038:0000 0000 (link)
039:0000 0000 (link)
040:0000 0000 (link)
041:0000 0000 (link)
042:0000 0000 (link)
043:0000 0000 (link)
044:0000 0000 (link)
045:0000 0000 (link)
046:0000 0000 (link)
047:0000 0000 (link)
048:0000 0000 (link)
049:0000 0000 (link)
050:0000 0000 (link)
051:0000 0000 (link)
052:0000 0000 (link)
053:0000 0000 (link)
054:0000 0000 (link)
055:0000 0000 (link)
056:0000 0000 (link)
057:0000 0000 (link)
058:0000 0000 (link)
059:0000 0000 (link)
060:0000 0000 (link)
061:0000 0000 (link)
062:0000 0000 (link)
063:0000 0000 (link)
064:0000 0000 (link)
065:0000 0000 (link)
066:0000 0000 (link)
067:0000 0000 (link)
068:0000 0000 (link)
069:0000 0000 (link)
070:0000 0000 (link)
071:0000 0000 (link)
072:0000 0000 (link)
073:0000 0000 (link)
074:0000 0000 (link)
075:0000 0000 (link)
076:0000 0000 (link)
077:0000 0000 (link)
078:0000 0000 (link)
079:0000 0000 (link)
080:0000 0000 (link)
081:0000 0000 (link)
082:0000 0000 (link)
083:0000 0000 (link)
084:0000 0000 (link)
085:0000 0000 (link)
086:0000 0000 (link)
087:0000 0000 (link)
088:0000 0000 (link)
089:0000 0000 (link)
090:0000 0000 (link)
091:0000 0000 (link)
092:0000 0000 (link)
093:0000 0000 (link)
094:0000 0000 (link)
095:0000 0000 (link)
096:0000 0000 (link)
097:0000 0000 (link)
098:0000 0000 (link)
099:0000 0000 (link)
100:0000 0000 (link)
101:0000 0000 (link)
102:0000 0000 (link)
103:0000 0000 (link)
104:0000 0000 (link)
105:0000 0000 (link)
106:0000 0000 (link)
107:0000 0000 (link)
108:0000 0000 (link)
109:0000 0000 (link)
110:0000 0000 (link)
111:0000 0000 (link)
112:0000 0000 (link)
113:0000 0000 (link)
114:0000 0000 (link)
115:0000 0000 (link)
116:0000 0000 (link)
117:0000 0000 (link)
118:0000 0000 (link)
119:0000 0000 (link)
120:0000 0000 (link)
121:0000 0000 (link)
122:0000 0000 (link)
123:0000 0000 (link)
124:0000 0000 (link)
125:0000 0000 (link)
126:0000 0000 (link)
127:0000 0000 (link)
128:0000 0000 (link)
129:0000 0000 (link)
130:0000 0000 (link)
131:0000 0000 (link)
132:0000 0000 (link)
133:0000 0000 (link)
134:0000 0000 (link)
135:0000 0000 (link)
136:0000 0000 (link)
137:0000 0000 (link)
138:0000 0000 (link)
139:0000 0000 (link)
140:0000 0000 (link)
141:0000 0000 (link)
142:0000 0000 (link)
143:0000 0000 (link)
144:0000 0000 (link)
145:0000 0000 (link)
146:0000 0000 (link)
147:0000 0000 (link)
148:0000 0000 (link)
149:0000 0000 (link)
150:0000 0000 (link)
151:0000 0000 (link)
152:0000 0000 (link)
153:0000 0000 (link)
154:0000 0000 (link)
155:0000 0000 (link)
156:0000 0000 (link)
157:0000 0000 (link)
158:0000 0000 (link)
159:0000 0000 (link)
160:0000 0000 (link)
161:0000 0000 (link)
162:0000 0000 (link)
163:0000 0000 (link)
164:0000 0000 (link)
165:0000 0000 (link)
166:0000 0000 (link)
167:0000 0000 (link)
168:0000 0000 (link)
169:0000 0000 (link)
170:0000 0000 (link)
171:0000 0000 (link)
172:0000 0000 (link)
173:0000 0000 (link)
174:0000 0000 (link)
175:0000 0000 (link)
176:0000 0000 (link)
177:0000 0000 (link)
178:0000 0000 (link)
179:0000 0000 (link)
180:0000 0000 (link)
181:0000 0000 (link)
182:0000 0000 (link)
183:0000 0000 (link)
184:0000 0000 (link)
185:0000 0000 (link)
186:0000 0000 (link)
187:0000 0000 (link)
188:0000 0000 (link)
189:0000 0000 (link)
190:0000 0000 (link)
191:0000 0000 (link)
192:0000 0000 (link)
193:0000 0000 (link)
194:0000 0000 (link)
195:0000 0000 (link)
196:0000 0000 (link)
197:0000 0000 (link)
198:0000 0000 (link)
199:0000 0000 (link)
200:0000 0000 (link)
201:0000 0000 (link)
202:0000 0000 (link)
203:0000 0000 (link)
204:0000 0000 (link)
205:0000 0000 (link)
206:0000 0000 (link)
207:0000 0000 (link)
208:0000 0000 (link)
209:0000 0000 (link)
210:0000 0000 (link)
211:0000 0000 (link)
212:0000 0000 (link)
213:0000 0000 (link)
214:0000 0000 (link)
215:0000 0000 (link)
216:0000 0000 (link)
217:0000 0000 (link)
218:0000 0000 (link)
219:0000 0000 (link)
220:0000 0000 (link)
221:0000 0000 (link)
222:0000 0000 (link)
223:0000 0000 (link)
224:0000 0000 (link)
225:0000 0000 (link)
226:0000 0000 (link)
227:0000 0000 (link)
228:0000 0000 (link)
229:0000 0000 (link)
230:0000 0000 (link)
231:0000 0000 (link)
232:0000 0000 (link)
233:0000 0000 (link)
234:0000 0000 (link)
235:0000 0000 (link)
236:0000 0000 (link)
237:0000 0000 (link)
238:0000 0000 (link)
239:0000 0000 (link)
240:0000 0000 (link)
241:0000 0000 (link)
242:0000 0000 (link)
243:0000 0000 (link)
244:0000 0000 (link)
245:0000 0000 (link)
246:0000 0000 (link)
247:0000
```

MS-DOS のメモリの管理状況を表示するプログラム

具体的にはコンベンショナルメモリ、UMB、XMS、EMS、I-O バンクメモリ(BMS)、VCPI の使用状況を表示する。同種のプログラムと比較して、以下のような特徴がある。

(1) デバイスドライバのメモリに占めるサイズと割り込みベクタを表示し、ADDDRV 等でメインメモリや UMB に組み込まれたデバイスドライバでも正しい情報が得られる、(2) UMB 関連のツールや DO-SHGH などを使って、BUFFERS、FILES、FCBS、LASTDRIVE が UMB や HMA に移動していても正しい情報を表示する、(3) 同作者による XMS ドライバである XMZ を使っている場合、より詳細な XMS の情報 (EMB 関連) を表示できる、(4) VCPI に対応し、VCPI の情報と共に仮想 86 モードにおける論理ページと対応する物理ページのアドレスを表示する。

実行時のオプション指定によって、どの情報を表示するのか選択することができる。

●バージョン:1.04 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 ZOB Station BBS アスキーネット:pool msdos *ZOB Station
BBS ●回線番号:0466-42-1066 ●入会方法:オンラインサインアップ (ゲスト利用:guest<パスワード無し>) ●料金:無料

★環境変数の内容をエディタのように編集

環境変数エディタ(EE) EE112.LZH

vikke (水谷 嘉男)

98
5-8
3.5-8

MS-DOS
5-8
3.5-8

[illegible]

環境変数の内容をエディタのように編集するツール。

EEを起動すると、スクリーンエディタのような画面に環境変数の一覧が表示される。

カーソル移動などのキー操作もテキストエディタによく似ていて、カーソルを移動させて削除や挿入などの編集を行なう。既存の環境変数の内容を編集するだけでなく、新たな環境変数を設定したり、環境変数そのものを削除することも可能だ。

編集を終了するにはESCキーを押す。内容に変更があった場合は「保存しますか?」と聞かれるので、yかnで答えればいい。

このほか、オプション指定によって、ファイルから読み込んだ環境変数を登録したり、登録されている環境変数をファイルへ書き込んだりすることもできる。

98専用版とMS-DOS汎用版が用意されている。98専用版は画面表示が高速で、カーソルキーなどの特殊キーがサポートされている。

●バージョン1.12●動作条件:PC-9801,MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos

★アイデア命の一発勝負の世界

低レベルソフトウェア研究所作品集 1

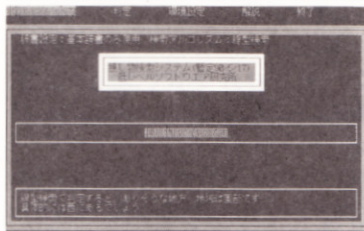
N_WORK 1.LZH

98

5-4

3.5-4

丹羽 信夫/低レベルソフトウェア研究所



この作品集には15本のプログラムが含まれている。

ゲームあり占いありシミュレーションありと、バラエティーに富んだ内容だが、あなどってはいけな。これは低レベルソフトウェア研究所の作品集なのである。文字通り低レベルなソフトウェアというコンセプトが随所に活かされている。

はっきりいってしまえば、どれもアイデアが命の一発勝負。プログラムを起動した瞬間に笑い出す人もいるだろうし、中には怒り出してしまっている人もいられるかもしれない。しかし、これが低レベルソフトウェア研究所の思想なのだ。

見たままを素直に受けとめるべきなのである。

低レベルを売り物にしたソフトウェアとはいえ、ここまでくれば独自の世界を構築しているといっている。一般的なジョークプログラムとは少し違う雰囲気を持った作品群である。とにかく起動して、不条理な一瞬芸の世界を堪能していただきたい。

●バージョン:第1巻●動作条件:PC-9801●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAM/LIB7

★パソコンが詠む五七五

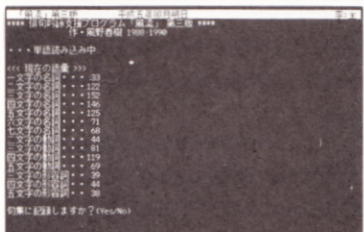
風流 FURYU.LZH

戦毛亭 (風野 春樹)

98

5-3

3.5-3



俳句を自動生成するジョークソフト。

適当なキーを押すたびに、「三日月は儚き恋を捨て去る目」などの格調高い(?)句から、「来る熊も手に取り刻むファミコンか」のようなへんな句まで、さまざまな俳句が次々に自動生成される。

実際には、名詞・動詞・形容詞のデータがそれぞれ文字数別にファイルに記録されており、それらを文型データに従って組み合わせただけだ。もちろん、季語は必ず含まれるようになっているし、動詞の接続や形容詞の活用なども考慮されている。

さらに、キー操作によって、ある季節だけの句を生成したり、キーボードから入力した「お題」を含む句だけを生成することも可能になっている。また、詠まれた句の季語と季節を表示したり、句の一部を変更することもできる。

気に入った句を句集ファイルに保存したり、その場でプリンタで印刷したりすることも可能なので、あなただけの句集が作れるかも(笑)。

●バージョン:第三版乙●動作条件:PC-9801●登録先 NIFTY-Serve:FQUIZ/LIB3, FGALAM/LIB6

★ボールの動きに重力がかかるブロック崩し

ぶろっくでポン

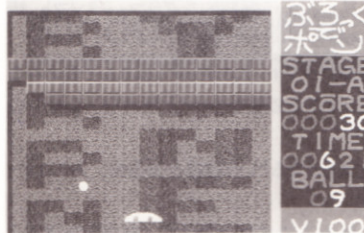
BRPN100.LZH/KON-KON.LZH/ENPEROR.LZH/SUIZOKU.LZH/PON_DAT2.LZH/PON_DAT3.LZH

98

5-4

3.5-4

YONE [本体]、てこどん、遠藤 祐一、りんりん、PON [面データ]



いわゆるブロック崩しゲーム。

キーボードの他にマウスによる操作に対応しており、マウスの方が明らかに操作しやすい。また、FM音源もサポートしている。

従来のブロック崩しに重力の概念が加えられており、ボールは放物線を描いて飛んでいく。また、反射パドルもマウスの左ボタンによって上下し、ボールに変化を与えることができる。ミスしてもよいボールは各面ごとに10個となっており、無事クリアするまで安心して(?)ボールをミスすることができる。また、マウスの右ボタンによってボールを出す、残りの数がある限り、何個でも同時にボールを出すことが可能である。さらに、面によっては、ボールを増殖するブロックがあり、ここに当てると画面を無数のボールが飛び交って壮観である。消去可能なブロックをすべて消すと出口のブロックが2つ出現し、どの出口にボールが当たるかによって次のステージが変わってくる。ステージファイルはテキスト形式になっており、普通のエディタで編集が可能であるため、さまざまな面データが作られている(専用エディタもフリーソフトウェアで存在する)。アイデア次第でブロック崩しがこんなに面白くなることを認識させてくれる、とにかくお勤めのゲームである。

●バージョン:1.00●動作条件:PC-9801●登録先 NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4

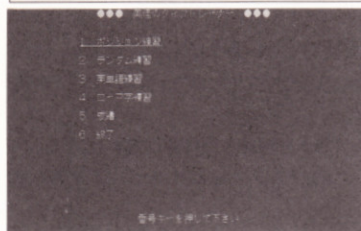
★エスケープシーケンスを利用したタイプ練習

美佳のタイプトレナー

MIKATYPE.LZH

MS-DOS
5-8
3.5-9

今村 二朗



エスケープシーケンスを利用した簡易グラフィックス版のタイプ練習プログラム。多くのメニューが用意されているため、初心者ホームポジションの習得から、熟練者のタイピング技術の向上まで幅広く使用できる。

用意されているメニューとしては、ポジション／ランダム／英単語／ローマ字などが用意されており、それぞれいくつかに細分化されている。

単に無意味なキー入力だけを行なうだけでなく、MS-DOSのコマンドなども練習の課題として出力されるので、より実践的に練習が可能。また、かな入力タイピングの練習プログラムも同時に配布されており、基本操作は英語版と同様。単語はカタカナで表示される。

練習時間の合計を表示することもでき、ポジション練習以外では入力文字数の記録が格納され、それらを成績として表示させることができる。これらの情報は、プログラム終了時にファイルに出力されるので次回に引き継ぐことができるようになっている。成績が残せるので、練習にも身が入るだろう。また、練習内容を記録に取ることもできる。

●バージョン:1.03 ●動作条件:MS-DOS ●登録先 アスキーネット:pool msdos NIFTY-Serve:FGALAP/LIB8

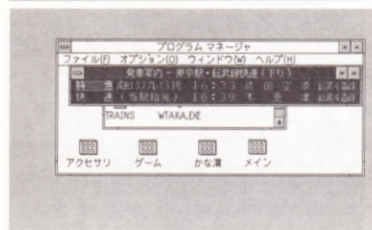
★駅の列車発車時刻案内板を Windows 上でシミュレート

列車発車時刻案内板 II

WTRN309.EXE

Windows
5-8
3.5-10

ESPRIT (南川 宏)



列車発車時刻案内板を Windows 上でシミュレートするアプリケーション。

特定の駅の線区の下り(または上り)の一日分のデータが格納された列車情報ファイルを基に、駅の構内に設置されている案内板をシミュレートする。このソフトのアーカイブには30個を超える列車情報ファイルが同梱されている。

対象とする列車情報ファイルを起動時のダイアログで選択すると、これから発車する列車の種別／列車名／発車時刻／行き先／のりばを記した案内板が表示される。最初は2本分の情報しか表示されないが、ウィンドウサイズを変更することにより最大10本分まで表示可能だ。もちろん、このソフトを複数起動すれば、それぞれ別の駅／線区の案内板を表示することができる。

実際の案内板と同様、発車1分前になると表示が点滅し、発車後は表示が緑り上がる。また、コントロールメニュー内の「字幕表示」を選択すると、さらに詳しい列車案内の字幕をスクロール表示することができる。

●バージョン:3.09 ●動作条件:Windows (Ver.3.0) ●登録先 NIFTY-Serve:FTRAIN/LIB7, FWINF/LIB3

★2次元画像を3次元に見せる

六角大王

ROKU24.LZH

98
5-4
3.5-4

S.Furushima



画面上の2次元画像がリアルタイムに方向を変え、3次元的に見えるという画期的なグラフィックソフト。精密なレイタレーシング画像ではなく、手描きのラフなイラストが立体化してしまうのである。

あまり精密な絵を描くことはできないが、操作はドロー系の簡易グラフィックエディタとほとんど変わらない。大きく違うのは、対応する2点と中心になる点をいくつか指定してやる必要があることだけだ。この中心点と対称点をもとに立体像を計算しているのである。

このため、ある程度対称性を持った図形でなければ立体に見えなくなるという制限があるが、あとはまったくの自由。ベタファイルを読み込むこともできる。

たとえば、漫画のキャラクターをスキャナなどで読み込み、六角大王で立体化させて、自由な角度から見るといったことも可能なのだ(もっとも、漫画のキャラには、右から見た顔と左から見た顔が違うのもありするが……)。

やっていることはちょっと難しそうだが、誰にでも楽しめるエンターテインメントに仕上がっている。イラストはちょっと苦手というユーザーでも気軽に遊べるソフトだ。

●バージョン:2.4 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FGALAV/LIB6

画像サンプルデータについて

5インチでは No.9、3.5インチでは No.11のディスクに収録されています

本書に収録したプログラムには、画像を表示するものがいくつかあります。

具体的には、AWC、bmlay、GV、JLD、Magd、MAGLV、TITLE の 7 本がそれにあたります。

このうち、TITLE の場合には、専用の画像データとして TITLE50G.LZH と TITLEP1.LZH が同一作者のもので収録できました。

この他では、AWC、bmlay が Windows の壁紙データ、JLD が JPEG 形式の画像データ、Magd、MAGLV が MAG 形式の画像データ、GV がこれらのどのデータでも表示可能です。それぞれ対応する形式の画像データを確認のうえ、サンプル画像をお楽しみください。

それ以外は、編集部の方で著作権に抵触しない内容のものを収録させていただきました。

MAG 形式の画像データサンプルについて

特に、MAG 形式の画像サンプルデータについては、wakachan 様のご協力をいただき、JAZPIANO.MAG/工房少女、MAG/JAZZSAX.MAG/MSBLADY.MAG/ALLOFME.MAG を収録させていただきました。

これらのデータファイルとディスクに収録されているアーカイブファイル名の関係は以下の表のような対応になっています。

データ名	アーカイブ名
JAZPIANO.MAG	JAZPIANO.LZH
工房少女.MAG	工房少女.LZH
JAZZSAX.MAG	JAZZSAX.LZH
MSBLADY.MAG	MSBLADY.LZH
ALLOFME.MAG	ALLOFME.LZH

wakachan 様の画像データは NIFTY-Serve、日経 MIX で入手が可能です。

Windows の壁紙データ、JPEG 形式の画像データについて

これ以外に、Windows の壁紙データ、JPEG 形式の画像データは、編集部で作成、あるいは著作権者の許可を得て収録したものです。

Windows の壁紙データとしては、NWMLOGO.BMP と ASTRO.BMP が収録されています。

NWMLOGO.BMP は、ネットワーカーマガジン編集部が作成したもので、著作権は同編集部にあります。

ASTRO.BMP は、株式会社アストロアーツが作成したもので、著作権は同社にあります。

JPEG データとしては、ZOU が収録されています。このデータは、アスキー第一雑誌編集部が作成したもので、著作権はアスキー第一雑誌編集部にあります。

これらのデータファイルとディスクに収録されているアーカイブファイル名の関係は以下の表のような対応になっています。

データ名	アーカイブ名
ZOU	JPEGSMP.LZH
NWMLOGO.BMP	BMPSMPL.LZH
ASTRO.BMP	BMPSMPL.LZH

■執筆

東 功

大池 浩一

小泉 力一

斉藤 重喜

■編集協力

石島 鉄朗

秀作フリーソフトウェア 100 選 PART2

3.5 インチユーザー版

1993 年 6 月 10 日 初版発行

定価 5,800 円 (本体 5,631 円)

編 者 ネットワーカーマガジン編集部／月刊アスキー編集部

発行者 藤井章生

編集人 遠藤 諭

発行所 **株式会社アスキー**

〒 107-24 東京都港区南青山 6-11-1 スリーエフ南青山ビル

振 替 東京 4-161144

TEL (03)3486-7111 (太代表)

出版営業部 TEL (03)3486-1977 (ダイヤルイン)

編集部 TEL (03)3797-6232 (ダイヤルイン)

●本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について（ソフトウェアおよびプログラムを含む）、株式会社アスキーから文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。ただし、フリーソフトウェアおよびシェアウェアについては、各ソフトウェアの配布規定に従って再配布できます。

●付属ディスクに収録したフリーソフトウェアは、その性質上、ソフトウェア著作者によるプログラム改修などの保障義務が免除されています。また、ソフトウェアの実行結果について、ソフトウェア著作者および株式会社アスキーは責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●落丁本・乱丁本は、お手数ですが小社出版営業部までお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。

●本書の内容に関するご質問は、小社第一雑誌編集部まで封書（返信用切手同封）にてお送りください。電話によるお問い合わせはお受けしておりません。また、本書の範囲を超えるご質問にはお答えできかねる場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

編 集 春田 佳紀／本城 剛史

デザイン 杉山剛大

印 刷 共同印刷株式会社

ISBN4-7561-0541-6

Printed in Japan



maxell



MF2-HD

maxell



MF2-HD

秀作
フリーソフトウェア

100²
PART 2
選

D I S K

2
2HD
(1.2Mバイト)

3.5インチユーザー版

秀作
フリーソフトウェア

100²
PART 2
選

D I S K

1
2HD
(1.2Mバイト)

3.5インチユーザー版

maxell



MF2-HD

maxell



MF2-HD

秀作
フリーソフトウェア

100²
PART 2
選

D I S K

4
2HD
(1.2Mバイト)

3.5インチユーザー版

秀作
フリーソフトウェア

100²
PART 2
選

D I S K

3
2HD
(1.2Mバイト)

3.5インチユーザー版

maxell



MF2-DD

maxell



MF2-HD

秀作
フリーソフトウェア

100²
PART 2
選

D I S K

6
2DD
(720Kバイト)

3.5インチユーザー版

秀作
フリーソフトウェア

100²
PART 2
選

D I S K

5
2HD
(1.44Mバイト)

3.5インチユーザー版

maxell



MF2-DD

maxell



MF2-DD

秀作
フリーソフトウェア

D I S K

8

2DD

(720Kバイト)

100 PART 2 選

3.5インチユーザー版

秀作
フリーソフトウェア

D I S K

7

2DD

(720Kバイト)

100 PART 2 選

3.5インチユーザー版

maxell



MF2-DD

maxell



MF2-DD

秀作
フリーソフトウェア

D I S K

10

2DD

(720Kバイト)

100 PART 2 選

3.5インチユーザー版

秀作
フリーソフトウェア

D I S K

9

2DD

(720Kバイト)

100 PART 2 選

3.5インチユーザー版

maxell



MF2-DD

秀作
フリーソフトウェア

D I S K

11

2DD

(720Kバイト)

100 PART 2 選

3.5インチユーザー版